

2018 年 3 月分新聞書評



自衛戦力と交戦権を肯定せよ(自由社ブックレット 12)

小山 常実 著

自由社

このままでは日本は滅亡する! 「ダチョウの平和」に浸る日本への緊急提言。憲法 9 条を読み解き、自衛戦力と交戦権の否定の意味を探ったうえで、両者を肯定する国内法を確立する方策を説く。

2017:10./ 107p

978-4-908979-07-1

本体 ¥700+税



産経新聞 2018/03/03



半分生きて、半分死んでいる(PHP 新書 1132)

養老 孟司 著

PHP研究所

「もう死んだと思ってました」と学生に話しかけられた養老孟司。「要するにすでに死亡済み」と嘯き、超越した視点で「意識」が支配する現代社会の諸相を見つめる。『Voice』連載を書籍化。

2018:3./ 221p

978-4-569-83756-7

本体 ¥860+税



産経新聞 2018/03/03



極夜行

角幡 唯介 著

文藝春秋

暗闇のなか、氷床を歩き続け 3 カ月ぶりに太陽を見た時、人は何を思うのか。太陽が昇らない冬の北極を、一頭の犬とともに命懸けで体感した探検家がつづる冒険ノンフィクション。『文春オンライン』連載に加筆修正。

2018:2./ 333p

978-4-16-390798-7

本体 ¥1,750+税



産経新聞 2018/03/03、朝日新聞 2018/03/04、毎日新聞 2018/03/25



情熱の哲学～ウナムーノと「生」の闘い～

佐々木 孝、執行 草舟 著

法政大学出版局

生きるとは何か、死ぬとは何か、燃えさかる魂とは。スペインの哲学者ミゲル・デ・ウナムーノの思想とその生涯を紹介する。ウナムーノと夏目漱石を比較した論考なども収録。

2018:1./ 14p,337p,3p

978-4-588-13023-6

本体 ¥2,500+税



産経新聞 2018/03/04



東京裁判をゼロからやり直す(小学館新書 323)

ケント・ギルバート、井上 和彦 著

小学館

1948 年 11 月、東京裁判の判決がくだり、翌月に A 級戦犯が処刑された。米国代表と日本代表の著者 2 人が、日本の歴史観を歪ませ、反日勢力に利用されてきたこの不当な裁判を徹底討論する。「日本軍=悪」の洗脳を解く対論。

2018:2./ 220p

978-4-09-825323-4

本体 ¥780+税



産経新聞 2018/03/04

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2018 年 2 月時点での税抜価格です。



最高のおもてなし!

竹田 新 著

幻冬舎

最高峰のサービスを提供し続けた、戦前の日本が誇る豪華客船「竜王丸」。1942年、敵の魚雷により沈没するも乗組員と客のほぼ全員が無事だった。以来、奇跡の船として語り継がれ…。劇団「ゴツプロ!」の同名公演を小説化。

産経新聞 2018/03/04

2018:1./ 286p

978-4-344-03241-5

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 3 4 4 0 3 2 4 1 5 *



80's〜ある80年代の物語〜

橘 玲 著

太田出版

日本が1番きらきらしていた時代、ひたすら地に足をつけたいと願った著者。パプルの足音からその絶頂、そして崩壊まで、著者の青春時代だった長い“80年代”を綴る。1995?2008年の「後日談」も収録。

産経新聞 2018/03/04

2018:1./ 275p

978-4-7783-1614-3

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 7 7 8 3 1 6 1 4 3 *



原発事故と「食」〜市場・コミュニケーション・差別〜(中公新書 2474)

五十嵐 泰正 著

中央公論新社

農水産物の一大供給地であった福島は、3・11以後、「デマ」や風評によって、苦しい状況に追い込まれている。流通や市場の課題、消費者とのコミュニケーション、差別の問題等から「食」を多面的に論じ、残る課題を考える。

産経新聞 2018/03/04

2018:2./ 6p,220p

978-4-12-102474-9

本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 4 7 4 9 *



心のごちそう帖お寺ごはん

野々部 利弘 著

アスコム

「五感をひらいて」食事をいただければ、普段は気づかない幸せが見つかります。野菜を中心に四季折々の旬の食材を使い、塩分・糖分・油分などを控えめにした、食材本来の旨味を感じられる「お寺ごはん」のレシピを紹介します。

産経新聞 2018/03/04

2018:3./ 111p

978-4-7762-0966-9

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 7 7 6 2 0 9 6 6 9 *



やくそくの「大地踏」〜山形県黒川能の王祇祭〜(えほん・こどものまつり)

つちだ よしはる 著

リーブル

こう太は運動が苦手な男の子。そんなこう太が、2月の王祇祭で「大地踏」を舞うことに決めました。それは、亡くなったお父さんの希望で…。黒川の守護神春日神社で行われる王祇祭で子どもが演じる「大地踏」を描いた絵本。

産経新聞 2018/03/04

2018:2./ 35p

978-4-947581-88-4

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 9 4 7 5 8 1 8 8 4 *



新・日本の階級社会(講談社現代新書 2461)

橋本 健二 著

講談社

豊かな人はより豊かに、貧しい人はより貧しく…。日本はすでに「階級社会」になっている! SSM 調査(社会階層と社会移動全国調査)データと 2016 年首都圏調査データを中心に、現代日本の実情を明らかにする。

産経新聞 2018/03/04、東京・中日新聞 2018/03/18

2018:1./ 305p

978-4-06-288461-7

本体 ¥900+税



* 9 7 8 4 0 6 2 8 8 4 6 1 7 *



されど愛しきお妻様～「大人の発達障害」の妻と「脳が壊れた」僕の 18 年間～

鈴木 大介 著

講談社

脳梗塞で倒れ、リハビリの末に現場復帰したルポライター。その闘病生活を支えた「お妻様」は、実は「大人の発達障害さん」でした。悪戦苦闘しつつ「超動けるお妻様」と「妻を理解できる夫」になった 2 人の 18 年間を綴る。

2018:1./ 230p

978-4-06-220888-8

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/03/10



死の貌(かたち)～三島由紀夫の真実～

西 法太郎 著

論創社

果たされなかった遺言、自身がモデルのブロンズ裸像、「花ざかりの森」自筆原稿発見、楯の会突入メンバーの想い、川端康成との確執…。驚愕の事実を明らかにし、三島由紀夫研究に新たな一石を投じる書。

2017:12./ 300p

978-4-8460-1669-2

本体 ¥2,800+税



産経新聞 2018/03/11



サイバー攻撃～ネット世界の裏側で起きていること～(ブルーバックス B-2045)

中島 明日香 著

講談社

あらゆる機器がネットワークにつながるようになった今、誰しもサイバー攻撃と無関係ではいられない。国際的に活躍する情報セキュリティ研究者が、ソフトの脆弱性を突くサイバー攻撃の原理・方法を平易に解説する。

2018:1./ 252p

978-4-06-502045-6

本体 ¥1,000+税



産経新聞 2018/03/11



たくさんのドア

主婦の友社

子どもたちの前にならぶ未来へのドア。あけるのが待ちきれないドア、ずっとひらくドア、重たくてきしむドア。その向こうに広がっているのは…。新しい世界への扉をあけようとしているすべての人に贈る絵本。

2018:1./ 32p

978-4-07-426472-8

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2018/03/11



健康という病(幻冬舎新書 い-5-5)

五木 寛之 著

幻冬舎

健康を過度に気遣うことは、深刻な病気である！正しい情報を見つけ出すヘルスリテラシーのすすめから、養生の作法、医療との付き合い方まで、健康ストレスがみるみる解消する新・健康論を紹介する。

2017:12./ 204p

978-4-344-98480-6

本体 ¥760+税



産経新聞 2018/03/11



みんなの家、その先へ

伊東 豊雄 編

LIXIL出版

東日本大震災の被災者をサポートするためにつくられ、現在までに東北に 16 棟、熊本県内にはおよそ 90 棟が完成した「みんなの家」。様々な造形の、各地の「みんなの家」を紹介しながら、その意義などについて考える。

2018:1./ 150p

978-4-86480-033-4

本体 ¥2,500+税



産経新聞 2018/03/11



雲上雲下

朝井 まかて 著
徳間書店

俺たち、本当に存在しているんですか？ 子狐に山姥、乙姫に天人、そして龍の子ら民話の主人公たちが笑い、苦悩し、闘う。やがて物語が交錯し、雲上雲下がひずみ始め…。『日本農業新聞』連載を改題、加筆して単行本化。

産経新聞 2018/03/11

2018:2./ 438p
978-4-19-864559-5
本体 ¥1,700+税



グリーンの上の政治家たち

石井 一 著
産経新聞出版

ゴルフの魅力に取りつかれた元国会議員、石井一。ゴルフを通して垣間見た戦後日本の政治家、ゴルフが生んだ政治史上のユニークなエピソード、世界 50 の国と地域でプレイした「世界ゴルフ風土記」をまとめる。

産経新聞 2018/03/11

2018:2./ 269p
978-4-86306-131-6
本体 ¥1,400+税



福島はあなた自身～災害と復興を見つめて～

一ノ瀬 正樹、福島民報社 編
一ノ瀬 正樹 著
福島民報社

東日本大震災と原発事故は「福島」の問題ではない。2017 年 3 月に開催された、「福島に暮らす」「福島の子ども」「被災動物」などをテーマにしたシンポジウムから生まれた書。災害・事故を風化させないための教訓集。

産経新聞 2018/03/11

2018:2./ 191p
978-4-904834-39-8
本体 ¥2,000+税



牛天神(損料屋喜八郎始末控え)

山本 一力 著
文藝春秋

不況の嵐が吹き荒れる江戸。同心を辞し、庶民相手に鍋釜や小銭を貸す「損料屋」として暮らす喜八郎の地で、いきなり大工事が始まった。危機感をつのらせる住人たちに喜八郎は…。『オール讀物』連載を単行本化。

産経新聞 2018/03/18

2018:1./ 292p
978-4-16-390733-8
本体 ¥1,700+税



超動く家にて～宮内悠介短編集～(創元日本 SF 叢書 08)

宮内 悠介 著
東京創元社

吉川英治文学新人賞、三島由紀夫賞などを受賞した、俊英・宮内悠介による初の自選短編集。雑誌『トランジスタ技術』を「圧縮」する謎競技をめぐる「トランジスタ技術の圧縮」など、全 16 編を収録する。

産経新聞 2018/03/18

2018:2./ 330p
978-4-488-01826-9
本体 ¥1,700+税



絶滅の人類史～なぜ「私たち」が生き延びたのか～(NHK 出版新書 541)

更科 功 著
NHK出版

ホモ・サピエンスは他の人類のいいとこ取りをしながら生き延びた!? 初期人類の謎から他の人類との交雑まで、常識を覆す人類史研究の最前線をエキサイティングに描き出す。

産経新聞 2018/03/18

2018:1./ 249p
978-4-14-088541-3
本体 ¥820+税





経済で謎を解く関ヶ原の戦い(青春新書 INTELLIGENCE PI-532)

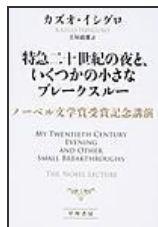
武田 知弘 著
青春出版社

家康がわずか数時間で大勝した本当の理由とは? なぜ家康は三成に挙兵する隙を与えたのか? 家康がギリギリまで動かなかった理由は? 日本史最大のミステリーである関ヶ原の戦いの謎を、「経済」の視点で読み解く。

2018:2./ 185p
978-4-413-04532-2
本体 ¥920+税



産経新聞 2018/03/18



特急二十世紀の夜と、いくつかの小さなブレイクスルー～ノーベル文学賞受賞記念講演～

カズオ・イングロ、土屋 政雄 著
早川書房

世界的作家の知られざる若き日々、音楽から得たインスピレーション、創作に対する考え、そして文学の未来-。2017 年のノーベル賞作家、カズオ・イングロの受賞記念講演を、英文と日本語訳で完全収録。

2018:2./ 99p
978-4-15-209747-7
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2018/03/18



日本画とは何だったのか～近代日本画史論～(角川選書 596)

古田 亮 著
KADOKAWA

伝統絵画と西洋画の接触が産み落とした近代日本画。それは明治以後の画家たちに、近代とは、西洋とは何かという不断の問いを突きつけることとなった。近代日本画の成り立ちと多様性を時代ごとの様式の変遷から描く百年史。

2018:1./ 413p 図版 16p
978-4-04-703625-3
本体 ¥2,400+税



産経新聞 2018/03/18、東京・中日新聞 2018/03/18



「先見力」の授業～AI 時代を勝ち抜く頭の使い方～

掛谷 英紀 著
かんき出版

先回りして未来を予測せよ! メディアや知識人の「ウソ」を見抜き、一人勝ちする方法を、筑波大学の先生が伝授。大学や大学院での講義等の中から、お金の損得に結びつく「先見力」を養うのに役立つ話を抜粋してまとめたもの。

2018:2./ 255p
978-4-7612-7322-4
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/03/18、毎日新聞 2018/03/25



リスクと生きる、死者と生きる

石戸 諭 著
亜紀書房

東日本大震災、原発事故をテーマに取材を続けてきた若き記者が、震災や原発事故を自分のこととして捉え、考えている人たちの声に近づき、彼らの揺らぎに接近する。『BuzzFeed News』掲載を大幅に加筆。

2017:8./ 279p
978-4-7505-1520-5
本体 ¥1,700+税



産経新聞 2018/03/24



教養としてのテクノロジー～AI、仮想通貨、ブロックチェーン～(NHK 出版新書 545)

伊藤 穰一、アンドレー・ウール 著
NHK出版

AI やロボットは人間の労働を奪うのか? 仮想通貨は国家をどう変える? ブロックチェーンがもたらす金融・経済への影響は? 米国 MIT でメディアラボ所長を務める著者が、経済・社会・日本の3つの視点で未来を見通す。

2018:3./ 193p
978-4-14-088545-1
本体 ¥780+税



産経新聞 2018/03/24



かぶきわらしの義経千本桜

庄司 三智子 著

出版ワークス

おどろきと感動がいっぱいの歌舞伎の舞台を、「かぶきわらし」がご案内。人気演目「義経千本桜」全五段のうち二段目と四段目を中心に、名場面の「けれん」や名ぜりふなどを紹介するしかけ絵本。折り込みページあり。

産経新聞 2018/03/25

2018.2./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-907108-19-9

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 9 0 7 1 0 8 1 9 9 *



そして、バトンは渡された

瀬尾 まいこ 著

文藝春秋

血の?がらない親の間をリレーされ、4 回も名字が変わった森宮優子、17 歳。父親が 3 人、母親が 2 人。だけどいつでも両親を愛し、愛されていた。身近な人が愛おしくなる、優しい物語。

産経新聞 2018/03/25

2018.2./ 372p

978-4-16-390795-6

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 1 6 3 9 0 7 9 5 6 *



長く高い壁

浅田 次郎 著

KADOKAWA

日中戦争の最中。従軍作家として北京にいた流行探偵作家の小柳逸馬は、突然の要請で前線へ向かうことに。万里の長城、張飛嶺で待っていたのは、分隊 10 名全員死亡という大事件だった。『小説野性時代』掲載を単行本化。

産経新聞 2018/03/25

2018.2./ 298p

978-4-04-104829-0

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 0 4 1 0 4 8 2 9 0 *



師匠、御乱心!(小学館文庫 さ 30-1)

三遊亭 円丈 著

小学館

昭和 53 年、名人・三遊亭円生が、落語協会の方針に異を唱え、一門を率いて協会を脱退した。弟子たちに広がる疑心暗鬼、崩壊する師匠との絆…。落語界の一大騒動を内側から描く。後日譚、三遊亭円楽・小遊三との鼎談も収録。

産経新聞 2018/03/25

2018.3./ 317p

978-4-09-406499-5

本体 ¥630+税



* 9 7 8 4 0 9 4 0 6 4 9 9 5 *



ヌーヴェル・ヴァーグの世界劇場～映画作家たちはいかに演劇を通して映画を再生したか～

矢橋 透 著

フィルムアート社

ヌーヴェル・ヴァーグの映画たちは、いかに演劇/劇場としての世界を生きたのか? レネ、ゴダールら 7 人の映画作家たちをめぐる、映画と演劇の交錯を問い直す評論集。『文学界』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

産経新聞 2018/03/25

2018.2./ 312p, 11p

978-4-8459-1714-3

本体 ¥3,100+税



* 9 7 8 4 8 4 5 9 1 7 1 4 3 *



立憲君主制の現在～日本人は「象徴天皇」を維持できるか～(新潮選書)

君塚 直隆 著

新潮社

21 世紀の今、なぜ「君主制」が評価されるのか? 立憲君主制の歴史から、君主制が民主主義の欠点を補完するメカニズムを解き明かし、日本の天皇制が「国民統合の象徴」であり続けるための条件を問う。

産経新聞 2018/03/25、読売新聞 2018/03/25

2018.2./ 299p

978-4-10-603823-5

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 1 0 6 0 3 8 2 3 5 *



夢を生きる

羽生 結弦 著
中央公論新社

世界の頂点に立ち、史上最高の演技を究め続けた 2015-18 年。その成長の軌跡を羽生結弦本人が語り尽くす、唯一無二のインタビュー集。カラー写真も豊富に収録。『Ice Jewels』連載に加筆し単行本化。

産経新聞 2018/03/31

2018:3./ 230p
978-4-12-005049-7
本体 ¥1,500+税



口笛の上手な白雪姫

小川 洋子 著
幻冬舎

劇場で、病院で、公衆浴場で。<声>によってよみがえる、大切な死者とかけがえない記憶。全 8 編を収めた、切なく心揺さぶる短編集。『GINGER L。』『小説幻冬』掲載に加筆修正して書籍化。

産経新聞 2018/03/31

2018:1./ 229p
978-4-344-03245-3
本体 ¥1,500+税



苦海浄土〜わが水俣病〜 新装版(講談社文庫)

石牟礼 道子 著
講談社

工場廃水の水銀が引き起こした文明の病・水俣病。この地に育った著者は、患者とその家族の苦しみを自らのものとして、壮絶かつ清冽(せいれつ)な記録を綴った。末永く読み継がれるべき<いのちの文学>の新装版。

朝日新聞 2018/03/04

2004:7./ 416p
978-4-06-274815-5
本体 ¥690+税



非・バランス(講談社文庫)

魚住 直子 著
講談社
0

朝日新聞 2018/03/04

2006:5./ 194p
978-4-06-275391-3
本体 ¥448+税



あやとりの記(福音館文庫)

石牟礼 道子 著
福音館書店

不知火の海と山に抱かれながら、「すこし神さまになりかけて」いるひとたちと楽しみ、悲しみ、宇宙のはからいを知る幼いみっちんの四季を描く。個人的な体験を超えた、自然と人間の復権の書。

朝日新聞 2018/03/04

2009:3./ 363p
978-4-8340-2415-9
本体 ¥750+税



湯神くんには友達がいない<1>(少年サンデーコミックス)

佐倉 準 著
小学館
0

朝日新聞 2018/03/04

2012:11./ 144p
978-4-09-124020-0
本体 ¥419+税





石牟礼道子全集・不知火<第 16 巻> 新作 能・狂言・歌謡ほか

石牟礼 道子 著

藤原書店

新作能「不知火」、戯曲「草の砦」「沖宮」ほか、関連エッセイ、1999?2000 年のエッセイ・講演・対談を収録する。土屋恵一郎の解説「石牟礼道子の能と内海のモラル」も収載。

2013:2./ 756p

978-4-89434-897-4

本体 ¥8,500+税



朝日新聞 2018/03/04



怒りの葡萄<上>(新潮文庫 ス-4-4)

スタインベック 著

新潮社

大銀行に土地を奪われたオクラホマ州の農民たちは、新天地カリフォルニアを目指したが…。ジョード一家に焦点をあて、1930 年代のアメリカ大恐慌期に苦境を切り抜けようとする情愛深い家族の姿を描いた、不朽の名作。

2015:10./ 497p

978-4-10-210109-4

本体 ¥750+税



朝日新聞 2018/03/04



怒りの葡萄<下>(新潮文庫 ス-4-5)

スタインベック 著

新潮社

カリフォルニアを目指す旅を続けるジョード一家。希望に満ちて“約束の地”に到着した彼らを待っていたのは…。1930 年代のアメリカ大恐慌期に、苦境を切り抜けようとする情愛深い家族の姿を描いた、不朽の名作。

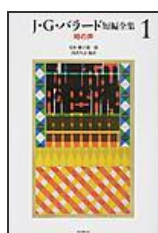
2015:10./ 474p

978-4-10-210110-0

本体 ¥710+税



朝日新聞 2018/03/04



J・G・バラード短編全集<1> 時の声

J.G.バラード、柳下 毅一郎、浅倉 久志 著

東京創元社

叙事的な文体で 20 世紀 SF に独自の境地を拓いた鬼才で、英国を代表する作家、J・G・バラードの全短編を発表年代順に収録する。1 は、代表短編「時の声」など 15 編と序文 2 編を収録。

2016:9./ 414p

978-4-488-01058-4

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2018/03/04



神田神保町書肆街考～世界遺産的“本の街”の誕生から現在まで～

鹿島 茂 著

筑摩書房

稀代の古書店街、神田神保町はいかにして出来上がったか。そこに蛸集した書店、出版社、取次、大学、語学学校、映画館など、様々な記憶と記録を召喚し、日本近代を育んだ“特異点”の全貌を描く。『ちくま』連載を単行本化。

2017:2./ 556p,6p

978-4-480-81532-3

本体 ¥4,200+税



朝日新聞 2018/03/04



完本春の城

石牟礼 道子 著

藤原書店

天草生まれの著者が、十数年かけた徹底した取材調査ののち完成させた、天草・島原の乱を描いた最高傑作「春の城」。取材紀行文「草の道」、多彩な執筆陣による解説、地図、年表、登場人物紹介、系図、関係図等を附した完全版。

2017:7./ 899p

978-4-86578-128-1

本体 ¥4,600+税



朝日新聞 2018/03/04



金時鐘コレクション<2> 幻の詩集、復元にむけて

金 時鐘 著
藤原書店

植民地下朝鮮から「在日」を生きぬく詩人であり思想家、金時鐘の思索の全てを集成。2 は、第 2 詩集「日本風土記」、出版かなわぬまま途絶し散逸した「日本風土記II」を復元し、著者インタビューとともに収録する。

2018:1./ 394p
978-4-86578-148-9
本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/03/04



こころの病に挑んだ知の巨人〜森田正馬・土居健郎・河合隼雄・木村敏・中井久夫〜(ちくま新書 1303)

山竹 伸二 著
筑摩書房

森田正馬、土居健郎、河合隼雄、木村敏、中井久夫。日本の文化に合った精神医療、心の治療の領域を切り開いてきた 5 人を取り上げ、その理論の本質と功績をわかりやすく解説する。

2018:1./ 302p
978-4-480-07118-7
本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/03/04



アルテミス<上>(ハヤカワ文庫 SF 2164)

アンディ・ウィアー、小野田 和子 著
早川書房

人類初の月面都市アルテミスで、合法・非合法の品物を運ぶポーターとして暮らす女性ジャズ・バシヤラは、大物実業家から謎の仕事の依頼を受ける。それは都市の未来を左右する陰謀へと?がっていた。「火星の人」に続く第 2 作。

2018:1./ 279p
978-4-15-012164-8
本体 ¥640+税



朝日新聞 2018/03/04



アルテミス<下>(ハヤカワ文庫 SF 2165)

アンディ・ウィアー、小野田 和子 著
早川書房

破格の報酬に目がくらみ、企業買収が絡んだ破壊工作を引き受けたジャズ。友人の凄腕科学者スヴォボダの助けを借り、ドーム外での作業計画を練るが…。地球の 6 分の 1 の重力下での不可能ミッションを描くサスペンス SF。

2018:1./ 282p
978-4-15-012165-5
本体 ¥640+税



朝日新聞 2018/03/04



J・G・バラード短編全集<5> 近未来の神話

J.G. バラード 著
東京創元社

叙事的な文体で 20 世紀 SF に独自の境地を拓いた鬼才で、英国を代表する作家、J・G・バラードの全短編を発表年代順に収録する。5 は、「戦争熱」「第三次世界大戦秘史」など全 24 編を収録。完結。

2018:1./ 420p
978-4-488-01062-1
本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2018/03/04



茶と琉球人(岩波新書 新赤版 1700)

武井 弘一 著
岩波書店

大国の狭間で翻弄されつつも、日常的に茶をたしなみ、ゆたかに農業型社会を築いていた琉球国の人びと。庶民の姿と多様な地域性に焦点を当て、“茶”というモノを手がかりに、「薩摩の世」時代の琉球の自立を問う。

2018:1./ 13p,202p
978-4-00-431700-5
本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/03/04



おかげさまで、注文の多い笹餅屋です〜笹探りも製粉もこしあんも。年 5 万個をひとりで作る 90 歳の人生〜

桑田 ミサオ 著

小学館

75 歳で笹餅屋を起業し、90 歳を過ぎた今も 1 年で 5 万個の笹餅を作っている津軽の名物おばあちゃんが、60 歳で本格的な餅作りを始めてからのことと、これまでの人生について語る。レシピも掲載。

朝日新聞 2018/03/04

2018:1./ 157p

978-4-09-388598-0

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 0 9 3 8 8 5 9 8 0 *



数をかぞえるクマ サーフィンするヤギ〜動物の知性と感情をめぐる驚くべき物語〜

ベリンダ・レシオ、中尾 ゆかり 著

NHK出版

おしゃべりするプレーリードッグ、仲間を助けるネズミ、葬式をするカササギ、人間と駆け引きするイルカ…。動物たちの感性や理性、芸術性のすばらしさを伝える選りすぐりの実話を、百点以上の表情豊かな写真とともに紹介する。

朝日新聞 2018/03/04

2017:12./ 246p

978-4-14-081729-2

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 1 4 0 8 1 7 2 9 2 *



トラットリア・ラファエーノ(ハルキ文庫 う5-5)

上田 早夕里 著

角川春樹事務所

神戸・元町にあるイタリア料理店でホール係をする僕。高校の同窓生・優奈が何度か通ってくるようになった頃、ソフトテニス仲間・伸幸が店にやって来て…。美味しい料理と、友情と恋愛の間で揺れ動く男女の心と人生を描く物語。

朝日新聞 2018/03/04

2017:12./ 201p

978-4-7584-4134-6

本体 ¥580+税



* 9 7 8 4 7 5 8 4 4 1 3 4 6 *



現代語訳銀行業務改善隻語

一瀬 栄吉 編

長野 聡 著

近代セールス社

時代を超えて読み継がれてきた金融機関のバイブル「銀行業務改善隻語」を、原著の文章がもつ格調を残しつつ、読みやすいよう現代語訳。理解が深まる解説も収録する。

朝日新聞 2018/03/04

2018:1./ 430p

978-4-7650-2089-3

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 7 6 5 0 2 0 8 9 3 *



花田達朗ジャーナリズムコレクション<第2巻> ジャーナリズムの実践

花田 達朗 著

彩流社

日本ジャーナリズムの分岐点で放つ、社会学者 40 年の渾身の軌跡。第 2 巻は、「ジャーナリズムの実践」に関して 2011 年から 2017 年までの間に書かれた論考を掲載する。解題、年譜も収録。

朝日新聞 2018/03/04

2018:2./ 510p

978-4-7791-2447-1

本体 ¥5,000+税



* 9 7 8 4 7 7 9 1 2 4 4 7 1 *



こんなに変わった!小中高・教科書の新常識(青春新書 PLAY BOOKS P-1106)

現代教育調査班 編

青春出版社

「土農工商」の記述が 2000 年から消えた、「哺乳類は爬虫類から進化した」は昔の常識…。昭和世代が意外に知らない新旧の教科書と学校生活の違いを明らかにする。大人が読んで面白いイマドキ教科書の最新事情が満載。

朝日新聞 2018/03/04

2018:1./ 188p

978-4-413-21106-2

本体 ¥1,000+税



アマゾンの料理人～世界一の“美味しい”を探して僕が行き着いた場所～

太田 哲雄 著

講談社

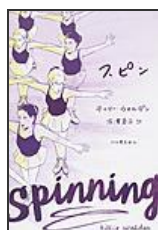
数々の三ツ星店で修業した料理人が、旅と出会いの末に南米アマゾンから教わった食べること、生きることの本質を綴る。web 雑誌に掲載された川手寛康との対談も収録。『IN★POCKET』連載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2018/03/04

2018:1./ 269p

978-4-06-220877-2

本体 ¥1,500+税



スピニング

ティリー・ウォルデン、有澤 真庭 著

河出書房新社

あの頃、わたしにはスケートの才能があった。それが煩わしかった。そして、ひそかに女の人に恋をした…。5 歳から 12 年間、アイススケーターだった著者が、練習と試合に明け暮れる日々を綴ったグラフィック・ノベル。

朝日新聞 2018/03/04

2018:2./ 396p

978-4-309-27918-3

本体 ¥1,600+税



Lily～日々のカケラ～

石田 ゆり子 著

文藝春秋

女優・石田ゆり子が大好きなもの、日々の暮らしを自身のエッセイと撮り下ろし写真で紹介する。ロングインタビュー、石田ゆり子への 103 の Q&A も収録。シールあり。

朝日新聞 2018/03/04

2018:1./ 157p

978-4-16-390742-0

本体 ¥1,800+税



ヒトごろし

京極 夏彦 著

新潮社

鬼と恐れられた新選組の副長・土方歳三。幼き日に目にしたある光景が、彼の運命を狂わせていく。胸に蠢く黒い衝動に駆られ、人でなしとして生きる道の先には…。新選組の闇に切り込む禁断の異聞。『週刊新潮』連載を単行本化。

朝日新聞 2018/03/04、産経新聞 2018/03/11

2018:1./ 1,083p

978-4-10-339612-3

本体 ¥2,700+税



そしてミランダを殺す(創元推理文庫 M ス 16-1)

ピーター・スワンソン、務台 夏子 著

東京創元社

空港のバーで見知らぬ美女に出会った実業家のテッド。彼は酔った勢いで、不貞を働いた妻を殺したいと言ってしまふ。彼女は協力を申し出るが…。男女 4 人のモノログで、殺す者と殺される者の策略と攻防を描くミステリ。

朝日新聞 2018/03/04、産経新聞 2018/03/17

2018:2./ 427p

978-4-488-17305-0

本体 ¥1,100+税





9.11 後の現代史(講談社現代新書 2459)

酒井 啓子 著

講談社

アメリカの陰り、移民・難民、テロ、宗派対立…。『犠牲者の座』を誰もが競うことで対立は泥沼化し、世界は不寛容になっていく。中東における 3 つの起点を中心に国際情勢を読み解き、不寛容な時代からどう脱するべきかを問う。

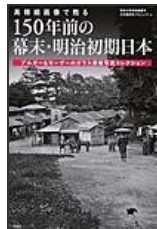
2018:1./ 221p

978-4-06-288459-4

本体 ¥800+税



朝日新聞 2018/03/04、東京・中日新聞 2018/03/25



高精細画像で甦る 150 年前の幕末・明治初期日本～ブルガー&モーザーのガラス原板写真コレクション～

東京大学史料編纂所古写真研究プロジェクト 編

洋泉社

150 年前に来日したオーストリア人写真家が撮影・収集したガラス原板写真 270 点を、8000 万画素で撮影・拡大した写真史料集。幕末・明治初期の江戸・東京、横浜、京都、長崎等の風景と日本人の姿を収録する。

2018:2./ 343p

978-4-8003-1407-9

本体 ¥5,500+税



朝日新聞 2018/03/04、読売新聞 2018/03/18



トレイルズ「道」と歩くことの哲学

ロバート・ムーア、岩崎 晋也 著

エイアンドエフ

「道」はどのようにできたのか？ 発展する道とすたれてしまう道の違いとは？ 根源的な疑問への答えを求めて、世界各地をめぐる遠い旅に出た…。歩くことを通じて、人間の存在と行動の起源に迫る。

2018:1./ 373p

978-4-909355-02-7

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/03/04、読売新聞 2018/03/25



燃えよ剣<上> 改版(新潮文庫 し 9-8)

司馬 遼太郎 著

新潮社

0

1972:5./ 576p

978-4-10-115208-0

本体 ¥790+税



朝日新聞 2018/03/04、日本経済新聞 2018/03/17



燃えよ剣<下> 改版(新潮文庫 し 9-9)

司馬 遼太郎 著

新潮社

0

2007:1./ 553p

978-4-10-115209-7

本体 ¥790+税



朝日新聞 2018/03/04、日本経済新聞 2018/03/17



炎と怒り～トランプ政権の内幕～

マイケル・ウォルフ、関根 光宏、藤田 美菜子 著

早川書房

2017 年 1 月の就任以来、世界を振り回してきたアメリカのトランプ大統領。1 年半にわたる 200 件以上の関係者取材をもとに、驚くほど政策を知らない大統領の姿と、政権の知られざる内情を描き出す。

2018:2./ 493p

978-4-15-209756-9

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/03/04、日本経済新聞 2018/03/24



ファミリー・ライフ(CREST BOOKS)

アキール・シャルマ、小野 正嗣 著

新潮社

インドからアメリカに渡り、ささやかな幸福を築いてきた移民一家の日常が、ある夏の水難事故で暗転する。意識が戻らない兄、介護の毎日に疲弊する両親、悲しみの中で成長していく弟…。痛切な愛情と祈りにあふれる自伝的長篇。

朝日新聞 2018/03/04、毎日新聞 2018/03/11、読売新聞 2018/03/18、日本経済新聞 2018/03/24

2018:1./ 213p

978-4-10-590143-1

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 1 0 5 9 0 1 4 3 1 *



戦争とトラウマ～不可視化された日本兵の戦争神経症～

中村 江里 著

吉川弘文館

アジア・太平洋戦争期に軍部の関心を集めた戦争神経症。恐怖を言語化することが憚られた社会で、患者はどのような処遇を受けたのか。様々な医療アーカイブズや医師への聞き取りから、忘却されたトラウマを浮かび上がらせる。

朝日新聞 2018/03/04、毎日新聞 2018/03/25

2017:12./ 8p,316p,4p

978-4-642-03869-0

本体 ¥4,600+税



* 9 7 8 4 6 4 2 0 3 8 6 9 0 *



妻に捧げた 1778 話(新潮新書)

眉村 卓 著

新潮社

0

朝日新聞 2018/03/11

2004:5./ 207p

978-4-10-610069-7

本体 ¥680+税



* 9 7 8 4 1 0 6 1 0 0 6 9 7 *



ちくま日本文学<001> 内田百閒(ちくま文庫)

内田 百閒 著

筑摩書房

0

朝日新聞 2018/03/11

2007:11./ 476p

978-4-480-42501-0

本体 ¥880+税



* 9 7 8 4 4 8 0 4 2 5 0 1 0 *



桃尻娘(ポプラ文庫)

橋本 治 著

ポプラ社

0

朝日新聞 2018/03/11

2010:6./ 445p

978-4-591-11755-2

本体 ¥680+税



* 9 7 8 4 5 9 1 1 1 7 5 5 2 *



異邦人 改版(新潮文庫 カ-2-1)

カミュ 著

新潮社

母の死の翌日海水浴に行き、女と関係を結び、映画を見て笑いころげ、人を殺害し、動機について「太陽のせい」と答える…。通常の論理的な一貫性が失われている男を主人公に、不条理の認識を極度に追求したカミュの代表作。

朝日新聞 2018/03/11

2014:6./ 179p

978-4-10-211401-8

本体 ¥460+税



* 9 7 8 4 1 0 2 1 1 4 0 1 8 *



福島第一原発収束作業日記～3・11からの700日間～(河出文庫 は18-1)

ハッピー 著

河出書房新社

あの時、何が起きていたのか？ 今、何が起きているのか？ 進まぬ汚染水処理、劣悪な労働環境、困難を極める廃炉作業…。福島第一原発現場作業員による、3・11からほぼ毎日ツイッター上で発信された「生」の手記。

2015:2./ 365p

978-4-309-41346-4

本体 ¥830+税



朝日新聞 2018/03/11



16歳の語り部

雁部 那由多、津田 穂乃果、相澤 朱音、佐藤 敏郎 著

ポプラ社

東日本大震災から5年。当時、東松島市立大曲小学校に通う小学5年生だった3人が“あの日”を語る。16歳になった彼らにしか語れない言葉の記録。話を聞いた、東京都の高校生、元・宮城県中学校教師の言葉も掲載。

2016:2./ 220p

978-4-591-14822-8

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/03/11



脳が壊れた(新潮新書 673)

鈴木 大介 著

新潮社

41歳の時、突然の脳梗塞に襲われ、その後は、外からは見えない障害「高次脳機能障害」と、怪現象に見舞われた…。ルポライターが持ち前の探求心で自身の身体を取材し綴った、深刻なのに笑える感動の闘病記。

2016:6./ 233p

978-4-10-610673-6

本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/03/11



水の音

宇津志 勇三 著

本の森

家を継ぐ者はいなかったが、やはりあの地は故郷だ。原発被災、除染で姿形は歪んだが、愛おしいことに変わりはない。表題作をはじめ、災後を生きる者の真情を描いた全4編を収録。

2016:5./ 242p

978-4-904184-83-7

本体 ¥1,389+税



朝日新聞 2018/03/11



土の記<上>

高村 薫 著

新潮社

東京の大学を出て関西の大手メーカーに就職し、奈良県は大宇陀の旧家の婿養子となった伊佐夫。妻を交通事故で失い、古希を迎えた伊佐夫は、残された棚田で黙々と米をつくる…。『新潮』連載を加筆修正。

2016:11./ 248p

978-4-10-378409-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/03/11



土の記<下>

高村 薫 著

新潮社

雨の下でにわか農夫はじっと息を殺し、晴れば嬉々として田んぼへ飛び出す。男は土を耕し、鯰と遊ぶ。始まりも終わりもない、果てしない人間の物思いと、天と地と、生命のポリフォニー。『新潮』連載を加筆修正。

2016:11./ 251p

978-4-10-378410-4

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/03/11



紙つなげ! 彼らが本の紙を造っている～再生・日本製紙石巻工場～(ハヤカワ文庫 NF 486)

佐々 涼子 著

早川書房

東日本大震災で被災した日本製紙・石巻工場。機能は全停止し、従業員でさえ復旧は無理だと考えた。しかし工場長は半年での復興を宣言。その日から、彼らの闘いは始まった…。奇跡の工場再生を描いたノンフィクション。

2017:2./ 319p
978-4-15-050486-1

本体 ¥740+税



* 9 7 8 4 1 5 0 5 0 4 8 6 1 *

朝日新聞 2018/03/11



原発災害と地元コミュニティ～福島県川内村奮闘記～(コミュニティ政策叢書 3)

鳥越 皓之 著

東信堂

福島第一原発事故の現場から 20?30km 圏内に位置し、多くの住民が避難を余儀なくされた福島県川内村。生業への影響や家族の分裂など、原発事故後の人々のライフ・ヒストリーから地元コミュニティに対する葛藤を描写する。

2018:1./ 20p,349p
978-4-7989-1425-1

本体 ¥3,600+税



* 9 7 8 4 7 9 8 9 1 4 2 5 1 *

朝日新聞 2018/03/11



おらおらでひとりいぐも

若竹 千佐子 著

河出書房新社

「この先一人でどうやって暮らす。こまったあどうすんべえ」捨てた故郷、疎遠な息子と娘、亡き夫への愛。震えるような悲しみの果てに、74歳の桃子さんが辿り着いた、圧倒的自由と賑やかな孤独とは。『文藝』掲載を単行本化。

2017:11./ 164p
978-4-309-02637-4

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 6 3 7 4 *

朝日新聞 2018/03/11



働く女子のキャリア格差(ちくま新書 1302)

国保 祥子 著

筑摩書房

女性が育児と両立しながら仕事で活躍するためには、どういった要素が必要なのか、そのために組織や個人が何をすべきなのか。職場の問題の根源を分析し、全体の生産性アップのための解決策を具体的に提案する。

2018:1./ 234p
978-4-480-07108-8

本体 ¥800+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 7 1 0 8 8 *

朝日新聞 2018/03/11



九十八歳になった私

橋本 治 著

講談社

時は 2046 年。東京大震災を生き延びた、独居老人で元小説家の「私」のもとを、ボランティアのバーさんや、ゆとり世代の編集者など、さまざまな人たちが訪れる…。『群像』掲載の短篇と連載を長篇小説として書籍化。

2018:1./ 205p
978-4-06-220914-4

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 0 6 2 2 0 9 1 4 4 *

朝日新聞 2018/03/11



磐座百選～日本人の「岩石崇拝」再発見の旅～

池田 清隆 著

出窓社

日本各地に伝わる、神が宿りし岩「磐座(いわくら)」。後世に伝えるべき 100 座を厳選し、その聖なる空間と訪れた者を癒す不思議な魅力を、美しい写真とともに紹介する。著者宿願の磐座案内書。見返しに地図あり。

2018:1./ 430p
978-4-931178-89-2

本体 ¥3,200+税



* 9 7 8 4 9 3 1 1 7 8 8 9 2 *

朝日新聞 2018/03/11



現代オリンピックの発展と危機 1940-2020～二度目の東京を目指すもの～

石坂 友司 著

人文書院

それは輝けるレガシーなのか、あるいは巨大なお荷物なのか？ オリンピックの歴史的展開を社会学的にたどりながら、オリンピックが身に付け、あるいは捨て去るに至った価値、そしてその社会的な力について考察する。

2018:1./ 272p

978-4-409-24120-2

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/03/11



トム・ウェイツが語るトム・ウェイツ～アルバム別インタビュー集成～

トム・ウェイツ、ポール・マー・ジュニア 編

トム・ウェイツ、村田 薫、武者小路 実昭、雨海 弘美 著

うから

1973 年から 2008 年までの間に行われたトム・ウェイツのインタビューから選んだものをアルバム別に集成。思索、洞察、ユーモア、反骨-。ひとりのアーティストとして、音楽、作品についてストレートに語る。

2018:1./ 397p

978-4-904668-02-3

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/03/11



ヲトメノイノリ

石田 千 著

筑摩書房

ピアノを習い始めた、76 歳の佃煮屋の女将。彼女の願いと挑戦を軽妙に語る表題作ほか、様々な年代の女性の日常と「イノリ」を描いた連作短篇集。『Web ちくま』『飛?』掲載に書下しを加え単行本化。

2018:1./ 219p

978-4-480-80475-4

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/03/11



バカのものさし(扶桑社文庫 よ 7-1)

養老 孟司 著

扶桑社

早く寝ないと、バカになりますか？「こころ」はどこにあるんですか？ どうしたらバカなおとなにならないのですみますか？ 養老孟司が、小・中・高校生からの切実な質問に、脳の仕組みを繙きつつ的確に答える。

2018:1./ 217p

978-4-594-07895-9

本体 ¥650+税



朝日新聞 2018/03/11



珈琲が呼ぶ

片岡 義男 著

光文社

作家・片岡義男が文芸的的角度からコーヒーを捉えたエッセイ集。コーヒー好きはもちろん、映画・音楽・サブカル愛好者にはたまらない、全 45 篇の書き下ろしを収録。

2018:1./ 347p

978-4-334-97976-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/03/11



娘たちの空返事～他一篇～(岩波文庫 32-732-1)

モラティン、佐竹 謙一 著

岩波書店

親の言いつけに従順にしたがい老人との結婚を承諾するも、愛する若者との未来を捨てきれない娘の葛藤を描く「娘たちの空返事」など、スペイン古典主義演劇を代表する劇作家モラティンの代表作 2 篇を収録。

2018:2./ 305p

978-4-00-377005-4

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/03/11



15 時 17 分、パリ行き(ハヤカワ文庫 NF 516)

アンソニー・サドラー、アレク・スカラトス、スペンサー・ストーン、ジェフリー・E. スターン、田口 俊樹、不二 淑子 著

早川書房

2015 年 8 月 21 日 15 時 17 分、アムステルダム発パリ行き的高速列車内で、突如イスラム過激派の男が自動小銃を発砲。乗り合わせた 3 人の若者が立ち上がった…。ノンフィクション。2018 年 3 月公開映画の原作。

朝日新聞 2018/03/11

2018:2./ 428p

978-4-15-050516-5

本体 ¥900+税



* 9 7 8 4 1 5 0 5 0 5 1 6 5 *



脳は回復する〜高次脳機能障害からの脱出〜(新潮新書 754)

鈴木 大介 著

新潮社

41 歳で脳梗塞になった後、僕は僕じゃなくなった!? 小銭が数えられない、電話できない、会話できないの「できないこと」だらけに加えて、号泣の日々。「脳が壊れた」から 2 年、リハビリ後の困難とその克服を当事者が描く。

朝日新聞 2018/03/11

2018:2./ 270p

978-4-10-610754-2

本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 1 0 6 1 0 7 5 4 2 *



ウェルス・マネジャー 富裕層の金庫番〜世界トップ 1%の資産防衛〜

ブルック・ハリントン、庭田 よう子 著

みすず書房

インタビューから明らかになったのは、大富豪の懐に入り、世界規模でマネーを操る、資産管理のプロたちの姿だった。ウェルス・マネジャー世界標準資格を取得した社会学者が、「富裕層の執事」たちの実態を学術的に分析する。

朝日新聞 2018/03/11

2018:2./ 273p,45p

978-4-622-08680-2

本体 ¥3,800+税



* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 6 8 0 2 *



福島第一廃炉の記録

西澤 丞 著

みすず書房

今も現場で一生懸命に働いている、数千の人がいる。福島第一原子力発電所の廃炉作業を撮影した記録写真集。現場の生の風景を伝える和英併記の解説付き。東京電力ホールディングスのウェブサイト掲載の作品を収録。

朝日新聞 2018/03/11

2018:3./ 115p

978-4-622-08684-0

本体 ¥3,200+税



* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 6 8 4 0 *



スナックバス江<1>(ヤングジャンプコミックス)

フォビドゥン澁川 著

集英社

北海道最大の繁華街すすきの一から 5 駅離れた北 24 条。この町の「スナックバス江」は、バス江ママと、チーママの明美さんの楽しいお店。彼女たちと珍妙な常連&一見さんが織りなす笑いで、あなたもきっと、いつしか笑顔。

朝日新聞 2018/03/11

2018:2./ 184p

978-4-08-890861-8

本体 ¥514+税



* 9 7 8 4 0 8 8 9 0 8 6 1 8 *



老いばれ記者魂〜青山学院春木教授事件四十五年目の結末〜

早瀬 圭一 著

幻戯書房

女子学生はなぜ「強姦」を訴えたのか。派閥争いや「地上げの帝王」が絡み、地位も名誉も信用も家庭も失った男は、死ぬまで「冤罪」を晴らそうとした。有罪か無実か。事件を約半世紀追究した元新聞記者が、その結末を綴る。

朝日新聞 2018/03/11

2018:2./ 273p

978-4-86488-141-8

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 8 6 4 8 8 1 4 1 8 *



誰もが嘘をついている～ビッグデータ分析が暴く人間のヤバい本性～

セス・スティーヴンズ=ダヴィドウィッツ、酒井 泰介 著

光文社

検索は口ほどに物を言う! 米国の隠れた人種差別、世界の男女の性的な悩みや願望、名門校入学の効果、景気と児童虐待の関係…。グーグルの元データサイエンティストが、ビッグデータを分析して人間と社会の真の姿を明かす。

2018:2./ 345p

978-4-334-96216-6

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/03/11



反共感論～社会はいかに判断を誤るか～

ポール・ブルーム、高橋 洋 著

白揚社

無条件に肯定されている共感にもとづく考え方が、実は公正を欠く政策から人種差別まで、社会のさまざまな問題を生み出している。心理学・脳科学・哲学の視点から、共感をもつ負の側面を明かす。

2018:2./ 318p

978-4-8269-0201-4

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2018/03/11



ルポ地域再生～なぜヨーロッパのまちは元気なのか?～(イースト新書 096)

志子田 徹 著

イースト・プレス

なぜ欧州では、地方の小さなまちでも満足しながら暮らすことができるのか。欧州各地で取材を重ねた著者が、人口減少、観光客減、農業の衰退などの危機的状況に立ち向かってきた現場の人たちの原動力と取り組みに迫る。

2018:2./ 255p

978-4-7816-5096-8

本体 ¥861+税



朝日新聞 2018/03/11



私が愛した映画たち(集英社新書 0922)

吉永 小百合 著

集英社

日本映画の最前線を走り続ける大女優が、「キューポラのある街」から「北の桜守」まで、全出演作 120 本から特に思い出深い作品を自選。知られざるエピソードや愛すべき映画人たちの素顔を語り尽くす。

2018:2./ 253p

978-4-08-721022-4

本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/03/11、産経新聞 2018/03/18



10万個の子宮～あの激しいけいれんは子宮頸がんワクチンの副反応なのか～

村中 璃子 著

平凡社

少女たちの身体の症状が、本当に訴えていたこととは? 現役の医師である著者が、子宮頸がんワクチン問題の背景と、この問題を追う中で見えてきた日本社会の闇に切り込む。

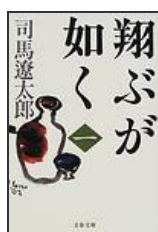
2018:2./ 269p

978-4-582-51335-6

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/03/11、読売新聞 2018/03/18、毎日新聞 2018/03/25



翔ぶが如く<1>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

0

朝日新聞 2018/03/18

2002:2./ 346p

978-4-16-710594-5

本体 ¥660+税





王の二つの身体～中世政治神学研究～<上>(ちくま学芸文庫)

エルンスト・H.カントーロヴィチ 著

筑摩書房

0

朝日新聞 2018/03/18

2003:5./ 626p

978-4-480-08764-5

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 8 7 6 4 5 *



王の二つの身体～中世政治神学研究～<下>(ちくま学芸文庫)

エルンスト・H.カントーロヴィチ 著

筑摩書房

0

朝日新聞 2018/03/18

2003:5./ 599p

978-4-480-08765-2

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 8 7 6 5 2 *



漂流教室～楳図 Perfection!8～<1>(ビッグコミックススペシャル)

楳図かずお 著

小学館

0

朝日新聞 2018/03/18

2007:10./ 741p

978-4-09-181498-2

本体 ¥1,714+税



* 9 7 8 4 0 9 1 8 1 4 9 8 2 *



失われた時を求めて<1> 第1篇「スワン家のほうへ(1)」(光文社古典新訳文庫 KAフ4-1)

ブルースト 著

光文社

0

朝日新聞 2018/03/18

2010:9./ 470p

978-4-334-75212-5

本体 ¥960+税



* 9 7 8 4 3 3 4 7 5 2 1 2 5 *



神々の乱心<上>(文春文庫)

松本 清張 著

文芸春秋

0

朝日新聞 2018/03/18

2000:1./ 469p

978-4-16-710685-0

本体 ¥720+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 6 8 5 0 *



神々の乱心<下>(文春文庫)

松本 清張 著

文芸春秋

0

朝日新聞 2018/03/18

2000:1./ 446p

978-4-16-710686-7

本体 ¥720+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 6 8 6 7 *



金子兜太の俳句入門(角川ソフィア文庫 SP D-112-1)

金子 兜太 著

角川学芸出版

誰もが気軽に楽しむようになった「俳句」。俳人・金子兜太が、俳句形式の不思議な表現力や、連歌から俳句にいたる歴史の中で育てられた「俳諧」の世界、そこに胎蔵される「情」などについて語る。

朝日新聞 2018/03/18

2012:5./ 242p

978-4-04-406509-6

本体 ¥629+税



* 9 7 8 4 0 4 4 0 6 5 0 9 6 *



小林一茶～句による評伝～(岩波現代文庫)

金子 兜太 著

岩波書店

小林一茶が詠んだ約 2 万句から、年次順に約 90 句を精選して、自由な口語訳と的確、精細な評釈を付す。あまりに人間的だった俳人一茶の情念と境涯を点描して、その生涯を浮かび上がらせる。

2014:3./ 12p,202p

978-4-00-602236-5

本体 ¥860+税



朝日新聞 2018/03/18



他界

金子 兜太 著

講談社

なにも怖がることはない。あの世には懐かしい人たちが待っている。戦争を体験し、死についてずっと考え続けてきた 95 歳の著者が、自身が辿りついた「他界説」という考え方について綴る。

2014:12./ 205p

978-4-06-219139-5

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/03/18



北一輝思想集成～国体論及び純正社会主義=自筆修正増補/日本改造法案大綱/二・二六事件調書/対外論策篇～ 増補新版

北 一輝 著

書肆心水

北一輝の三大著作のうち「国体論及び純正社会主義」「日本改造法案大綱」の二作全文を中心に、北一輝が自己と自作について語った「二・二六事件調書」(抄)、および、対外論策数篇、遺書・絶筆を収録する。

2015:5./ 599p

978-4-906917-41-9

本体 ¥6,900+税



朝日新聞 2018/03/18



他流試合 俳句入門真剣勝負!(講談社+α 文庫 B35-2)

金子 兜太、いとう せいこう 著

講談社

「俳句って何だろう」「俳句の面白さをもっと知りたい」俳句界の巨人・金子兜太に、作家・いとうせいこうが挑む!俳句を通して、「詩語論」「日本語論」「平和の俳句」を語り合う。

2017:2./ 379p

978-4-06-281697-7

本体 ¥890+税



朝日新聞 2018/03/18



存在者 金子兜太

金子 兜太、黒田 杏子 著

藤原書店

俳句界の最長老・金子兜太の作品を、近作を中心に収録するほか、第 12 回「みなづき賞」受賞記念ライブトークや俳句人生を語ったインタビューなどを集成。金子兜太の俳句に伊東乾が曲を付けた特別 CD 付き。

2017:3./ 301p 図版 32p

978-4-86578-119-9

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/03/18



どこか遠くの話をしよう<上>(BEAM COMIX)

須藤 真澄 著

KADOKAWA

不思議な“能力”を持つ少女チロ。彼女はこの世界が途方もなく広く、深く、優しいことを、まだ知らない。『庭先』シリーズ、『ゆず』、『長い長いさんぽ』の須藤真澄が、満を持して贈るファンタジー長編作、いよいよ開幕!!

2017:3./ 176p

978-4-04-734537-9

本体 ¥690+税



朝日新聞 2018/03/18



中国ジェンダー史研究入門

江上 幸子 編

京都大学学術出版会

「伝統中国社会=強い父系制」のイメージの実態は? 中国は LGBT が生きやすい社会だったのか? 先秦時代から社会主義、改革開放まで、中国のジェンダー秩序の変遷過程をダイナミックに描く。人名・事項・書名索引付き。

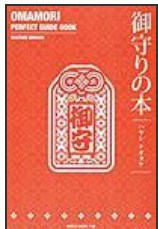
2018:2./ 486p

978-4-8140-0124-8

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2018/03/18



御守りの本(ワールド・ムック 1166)

ハヤシ ナオタケ 著

ワールドフォトプレス

日本全国の神社仏閣を巡り巡って拝受した数、なんと 3400 体! 御守りコーディネーターである著者が、御守りとの正しい付き合い方を伝授。さらに、全国から厳選した 100 の御守りを原寸大の写真で紹介する。

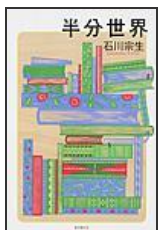
2017:12./ 207p

978-4-8465-3166-9

本体 ¥1,667+税



朝日新聞 2018/03/18



半分世界(創元日本 SF 叢書 07)

石川 宗生 著

東京創元社

ある朝突然、縦に半分になった家で、平然と暮らし続ける一家とその観察に没頭する人々を描く表題作をはじめ、会社から帰宅途中の吉田大輔氏が一瞬にして 19329 人となる「吉田同名」など、全 4 編を収録。

2018:1./ 307p

978-4-488-01825-2

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2018/03/18



どこか遠くの話をしよう<下>(BEAM COMIX)

須藤 真澄 著

KADOKAWA

チロの前に突然現れたプラティーノは、未来からの旅人であった。彼はなぜ、時空を超えてやってきたのか…。ふたりが出逢った意味とは…。“ここではないどこか”へ誘う渾身のファンタジー長編作、心震えるフィナーレ。

2018:1./ 173p

978-4-04-734967-4

本体 ¥720+税



朝日新聞 2018/03/18



西南戦争民衆の記～大義と破壊～

長野 浩典 著

弦書房

戦争が見世物化し、様々な商売が繁盛し、農民一揆が起こり、コレラが流行した。西南戦争とは一体何だったのか。民衆側の視点から戦場の凄惨な現実を追体験し、大義なき近代戦がもたらした村社会の分断と破壊の実相を描く。

2018:1./ 285p

978-4-86329-163-8

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/03/18



收容所のブルースト(境界の文学)

ジョゼフ・チャプスキ、岩津 航 著

共和国/editorial republica

テキストの所持も許されないソ連の強制收容所での「失われた時を求めて」講義のすべて。奇跡的に「カティンの森」を回避しえた著者による墮落に抗するためのブルースト論。カラー図版、年譜、訳者による解説も付す。

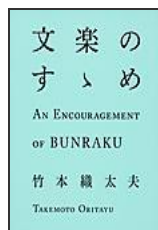
2018:1./ 193p 図版 28p

978-4-907986-42-1

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/03/18



文楽のすゝめ

竹本 織太夫 著

実業之日本社

豊竹咲甫太夫が六代目竹本織太夫を襲名するにあたり、文楽のおもしろさや、絶対に観ておきたい名作を紹介。文楽の舞台、観劇に役立つ江戸時代の常識なども解説。三浦しをんらの寄稿も収録。大阪を楽しむぶらあるきガイド付き。

2018:1./ 109p

978-4-408-53720-7

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/03/18



戦場から生きのびて～ぼくは少年兵士だった～(河出文庫 ヘ12-1)

I.ベア、忠平 美幸 著

河出書房新社

戦争はどんなものか。そしてそれは人間の魂、人間性にどんな影響を及ぼすのか。12歳から15歳まで激しい内戦を戦った少年兵士が、立ち直るまでの衝撃の体験をつづったノンフィクション。

2018:2./ 357p

978-4-309-46463-3

本体 ¥980+税



朝日新聞 2018/03/18



日本再興戦略(NewsPicks Book)

落合 陽一 著

幻冬舎

今後の世界の中で日本が再興するにはどんな戦略が必要なのか。今、注目の日本人科学者が、テクノロジー、政治、教育、会社・仕事・コミュニティなどの切り口から、この国のグランドデザインを描く。

2018:1./ 254p

978-4-344-03217-0

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/03/18



電力と政治～日本の原子力政策全史～<上>

上川 龍之進 著

勁草書房

「原子力ムラ」はどのように生まれ、どのように強化していったのか？電力会社設立から3・11直後まで、戦後政治の「暗黒面」を凝縮した国策を、迫真のドキュメントで写し出す。

2018:2./ 8p,353p,15p

978-4-326-35172-5

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2018/03/18



電力と政治～日本の原子力政策全史～<下>

上川 龍之進 著

勁草書房

安倍政権では電力自由化の改革は急速に進んだのに、なぜ脱原発は後退したのか？野田内閣から第三次安倍内閣まで、電力自由化と脱原発をめぐるせめぎ合いを描き出し、原発政策の「拘束性」を解き明かす。

2018:2./ 351p,15p

978-4-326-35173-2

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2018/03/18



私物化される国家～支配と服従の日本政治～(角川新書 K-191)

中野 晃一 著

KADOKAWA

主権者である国民を服従させることをもって政治と考える権力者が、グローバル社会の中で主導権を持つようになっている。なぜ「国家の私物化」が横行するようになったのか。現代日本政治、安倍政権に焦点を置いて論考する。

2018:2./ 245p

978-4-04-082084-2

本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/03/18



パパ1年目の金のお金の教科書(ちくま新書 1312)

岩瀬 大輔 著
筑摩書房

お金のことで困った時にどうすればよいか。困らないためにどんな準備をしておくべきか。1年先、10年先、そして老後を見据えて考えておくべきことは何か。これからパパになる人に向けて、お金の貯め方・使い方を解説する。

2018:3./ 198p
978-4-480-07129-3
本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/03/18



たまもの(ちくま文庫 か 72-1)

神藏 美子 著
筑摩書房

二人の男性への愛と思いに、揺れ動き、引き裂かれた5年間の自分の姿を、赤裸々に、しかし哀しみをたたえた写真と当時の日記で捉えた一冊。自分と二人の男との関係を見つめ続ける私的ドキュメンタリー。

2018:3./ 325p
978-4-480-43510-1
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/03/18



高齢ドライバー(文春新書 1157)

所 正文、小長谷 陽子、伊藤 安海 著
文藝春秋

逆走、踏み間違い…。高齢ドライバーの痛ましい事故はなぜ続くのか？ 高齢者が免許を返納すれば済む話なのか？ 高齢ドライバーの認知、身体、社会について、専門家が提言する。

2018:2./ 230p
978-4-16-661157-7
本体 ¥830+税



朝日新聞 2018/03/18



すしろ日記<3>

山口 晃 著
羽鳥書店

いつも通りテキトー、だけど楽しい! 『UP』すしろ日記」第101回?第150回のほか、「ワンだふるアートワールド」など、すしろ日記風の作品も多数収録した、エッセー漫画第3巻。

2018:2./ 151p
978-4-904702-69-7
本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2018/03/18



港の日本史(祥伝社新書 520)

吉田 秀樹、歴史とみなと研究会 著
祥伝社

三内丸山遺跡にあった海運の痕跡。平家一門や幕府将軍、戦国大名たちが描いた国際貿易の夢。海洋大国の礎となる幕末・明治の築港事業…。古代から近現代に至るまで、港湾の専門家が港と日本の歴史との関わりを見つめ直す。

2018:3./ 253p
978-4-396-11520-3
本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/03/18



貴族の階段(岩波現代文庫)

武田 泰淳 著
岩波書店
0

朝日新聞 2018/03/18、毎日新聞 2018/03/25

2000:9./ 312p
978-4-00-602019-4
本体 ¥1,000+税





雪の階

奥泉 光 著

中央公論新社

華族の娘・惟佐子は、親友・寿子の心中事件に疑問を抱き、新米カメラマンの千代子とともに謎を追いつめる。ふたりの前にさまざまな人物が現れ…。戦前昭和を舞台に描くミステリーロマン。『中央公論』連載を単行本化。

2018:2./ 587p

978-4-12-005046-6

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2018/03/18、毎日新聞 2018/03/25、日本経済新聞 2018/03/31



17音の青春～五七五で綴る高校生のメッセージ～<2018>

神奈川県大学広報委員会 編

KADOKAWA

17音の俳句に凝縮された高校生たちの青春の日々…。第20回神奈川県大学全国高校生俳句大賞の入選作品を紹介する。応募高校一覧、団体賞受賞校、一句入選作品、選考座談会なども収録。

2018:3./ 177p

978-4-04-884153-5

本体 ¥700+税



朝日新聞 2018/03/19



ぼくを探しに 新装版

S シルヴァスタイン 著

講談社

さあ、どうぞシルヴァスタインのふしぎの世界へ。倉橋由美子のご案内します!この魅力的で心にしみるイラスト物語が、地球の上で、花のように、風のように読まれ続けているわけを、あなたも見つけてください。

1979:4./ 1冊

978-4-06-112983-2

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/03/25



コミュニティを問いなおす～つながり・都市・日本社会の未来～(ちくま新書 800)

広井 良典 著

筑摩書房

「個人」がしっかりと独立しつつ、いかにして新たなコミュニティを創造するか。都市、グローバル化、社会保障、地域再生、ケア、科学、公共政策などの多様な観点から、新たな「つながり」の形を掘り下げる。

2009:8./ 292p

978-4-480-06501-8

本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/03/25



毎日が日曜日 改版(新潮文庫)

城山 三郎 著

新潮社

0

2002:5./ 652p

978-4-10-113310-2

本体 ¥890+税



朝日新聞 2018/03/25



どろんこハリー(世界傑作絵本シリーズ)

ジーン・ジオン 著

福音館書店

ハリーは、黒いぶちのある白いいぬです。なんでも好きだけど、おふろにはいることだけはだいきらいでした。ある日、おふろにお湯をいれる音がきこえてくると…。

1964:3./ 1冊

978-4-8340-0020-7

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/03/25

	ブータンいまなんじ? 和田義臣 著 ジュラ出版局 0 朝日新聞 2018/03/25	1991:10./ 1冊 978-4-88284-002-2 本体 ¥1,360+税 
	ケルト/装飾的思考(ちくま学芸文庫) 鶴岡 真弓 著 筑摩書房 0 朝日新聞 2018/03/25	1993:9./ 449p,21p 978-4-480-08094-3 本体 ¥1,400+税 
	生き上手死に上手(文春文庫) 遠藤 周作 著 文芸春秋 0 朝日新聞 2018/03/25	1994:4./ 316p 978-4-16-712012-2 本体 ¥650+税 
	死について考える(知恵の森文庫) 遠藤周作 著 光文社 0 朝日新聞 2018/03/25	1996:11./ 217p 978-4-334-72322-4 本体 ¥500+税 
	ゲームの規則<1> 抹消 ミシェル・レリス、岡谷 公二 著 平凡社 神話の偉大さに達した自伝文学の傑作、20 世紀文学の金字塔。完結まで 36 年を要したレリスの主著。1 は、未来が暗い穴でしかなかった幼年期の日々の記憶の重ね書き、<日常生活の中の聖なるもの>の探求。 朝日新聞 2018/03/25	2017:11./ 357p 978-4-582-33323-7 本体 ¥3,400+税 
	ゲームの規則<2> 軍装 ミシェル・レリス、岡谷 公二 著 平凡社 神話の偉大さに達した自伝文学の傑作、20 世紀文学の金字塔。完結まで 36 年を要したレリスの主著。2 は、従軍中のレリスに兆した死が主題の、終生のオブセッション。 朝日新聞 2018/03/25	2017:11./ 287p 978-4-582-33324-4 本体 ¥3,200+税 
	がん〜4000 年の歴史〜<上>(ハヤカワ文庫 NF 467) シッタータ・ムカジー 著 早川書房 紀元前から現代まで 4000 年にわたって人々を苦しめてきた病「がん」。古代エジプトの医師イムホテプは「治療法はない」と述べ、ヒポクラテスは「カルキノス」と名づけた。患者、医師の苦闘のドラマと病魔の真の姿を描く。 朝日新聞 2018/03/25	2016:6./ 501p 978-4-15-050467-0 本体 ¥920+税 



がん〜4000年の歴史〜<下>(ハヤカワ文庫 NF 468)

シッダールタ・ムカジー 著

早川書房

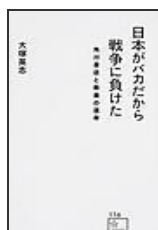
20世紀に入り、怪物「がん」と闘うには、治療だけでなく、予防という防御が必要になることが明らかになる。新薬をめぐる駆け引き、分子生物学の進歩が迫る根源的な原因…。人類と「がん」との壮絶な闘争史を描く。

朝日新聞 2018/03/25

2016:6./ 489p

978-4-15-050468-7

本体 ¥920+税



日本がバカだから戦争に負けた〜角川書店と教養の運命〜(星海社新書 116)

大塚 英志 著

星海社

日本がバカだったから戦争に負けたと考え、教養の復興をめざして角川文庫を創刊した角川源義から、4代目となるドワンゴ代表・川上量生まで、角川4代は教養をいかに変貌させたか。戦後日本の「知」の運命とその将来を見通す。

朝日新聞 2018/03/25

2017:10./ 264p

978-4-06-510553-5

本体 ¥1,000+税



西洋美術史〜世界のビジネスエリートが身につける教養〜

木村 泰司 著

ダイヤモンド社

古代の彫像から現代アートまで、約2500年分の西洋美術史が一気にわかる本。美術の裏側にある欧米の歴史、価値観、文化を読み解くことで、グローバルスタンダードの教養が身につく。折り込みの美術様式年表つき。

朝日新聞 2018/03/25

2017:10./ 255p

978-4-478-10394-4

本体 ¥1,600+税



ケルトの想像力〜歴史・神話・芸術〜<<ケルト:生と死をつなぐ螺旋:終末からの始まりより改題>>

鶴岡 真弓 著

青土社

ヨーロッパの古層文化を築いたケルトの強力な想像力。いにしえから現代までのヨーロッパを「ケルト」とおとして読み直し、これまで陰に隠れていた西洋文明の大元にもあった自然信仰や素朴な生命再生への祈りの様式を見いだす。

朝日新聞 2018/03/25

2018:2./ 548p,14p

978-4-7917-7029-8

本体 ¥3,600+税



猫はこうして地球を征服した〜人の脳からインターネット、生態系まで〜

アビゲイル・タッカー、西田 美緒子 著

合同出版

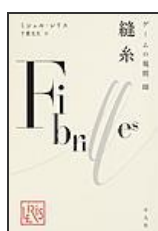
猫は多くの人びとを魅了し、世界中の都市・自然の生態系で増え続け、インターネットでも爆発的人気を獲得している。人を手なずけ、最強の王者となった猫の秘密を解き明かす。

朝日新聞 2018/03/25

2017:12./ 269p

978-4-7726-9558-9

本体 ¥2,200+税



ゲームの規則<3> 縫糸

ミシェル・レリス、千葉 文夫 著

平凡社

神話の偉大さに達した自伝文学の傑作、20世紀文学の金字塔。完結まで36年を要したレリスの主著。3は、自殺未遂事件をひき起こしたレリスが、夢と幻覚の中で記憶の縫合手術を試みる。

朝日新聞 2018/03/25

2018:2./ 386p

978-4-582-33325-1

本体 ¥3,600+税





ゲームの規則<4> 囁音

ミシェル・レリス、谷 昌親 著
平凡社

神話の偉大さに達した自伝文学の傑作、20 世紀文学の金字塔。完結まで 36 年を要したレリスの主著。4 は、80 歳を目前にした作家の生の余白というにはあまりに濃密・バロックなアラベスク的断章群。完結。

朝日新聞 2018/03/25

2018:2./ 477p
978-4-582-33326-8
本体 ¥3,800+税



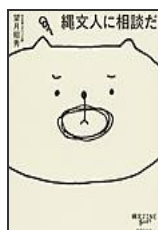
『ドラゴンマガジン』創刊物語～狼煙を上げた先駆者たち～

山中 智省 著
勉誠出版

『ドラゴンマガジン』等の文献資料から史實的側面を、同誌の編集者、作家、読者の証言から当事者の経験的側面をそれぞれ浮き彫りにし、双方の観点から『ドラゴンマガジン』周辺の状況とライトノベルが立ち上がる過程を捉える。

朝日新聞 2018/03/25

2018:1./ 277p
978-4-585-29149-7
本体 ¥1,800+税



縄文人に相談だ(縄文 ZINE Books)

望月 昭秀 著
国書刊行会

悩みなんて全部まとめて貝塚にポイ。お金が貯まらない、恋人ができない、将来が不安…。現代人のリアルな悩みに縄文的な価値観で答える。縄文時代の事だけしか載っていないマガジン『縄文 ZINE』から生まれた本。

朝日新聞 2018/03/25

2018:1./ 223p
978-4-336-06239-0
本体 ¥1,500+税



死を悼む動物たち(草思社文庫 キ 1-1)

バーバラ・J.キング、秋山 勝 著
草思社

死んだ子を離そうとしないイルカ、母親の死を追いかけるように衰弱し死んだチンパンジー…。大切な者の死を前にして、深い悲しみを示した動物たちの事例を数多く紹介する。

朝日新聞 2018/03/25

2018:2./ 388p
978-4-7942-2319-7
本体 ¥980+税



3つのゼロの世界～貧困 0・失業 0・CO2 排出 0 の新たな経済～

ムハマド・ユヌス、カール・ウェーバー、山田 文 著
早川書房

バングラデシュの貧困を大きく軽減した著者が、「ソーシャル・ビジネス」「起業家の精神」「効果的な金融制度」の 3 つを柱に、豊富な具体例を交え、課題解決の方策と新経済秩序の可能性を語る。

朝日新聞 2018/03/25

2018:2./ 270p
978-4-15-209744-6
本体 ¥1,900+税



須賀敦子の旅路～ミラノ・ヴェネツィア・ローマ、そして東京～(文春文庫 お 74-1)

大竹 昭子 著
文藝春秋

須賀敦子没後 20 年。親交の深かった著者が、ミラノ、ヴェネツィア、ローマと須賀の足跡をたどり、その起伏ある人生と作品の背景を探る。東京における「空白の 20 年」も綴った、清新な須賀敦子論。

朝日新聞 2018/03/25

2018:3./ 487p
978-4-16-791041-9
本体 ¥1,100+税





ミライミライ

古川 日出男 著
新潮社

その音はお前のため、お前はお前の仲間のため。北海道で抗ソ運動を率いたゲリラの物語と、世界を魅了したヒップホップグループの物語が交錯する、壮大な青春・音楽・歴史小説。『新潮』掲載を書籍化。

朝日新聞 2018/03/25

2018:2./ 366p
978-4-10-306077-2
本体 ¥2,300+税



僕たちが何者でもなかった頃の話<続>(文春新書 1158)

池田 理代子、平田 オリザ、彬子女王、大隅 良典、永田 和宏 著
文藝春秋

あの「一歩」からすべてが始まった。自分の可能性を信じ、大きな決断をした瞬間はどんな時だったのか。池田理代子、彬子女王らの講演と対談を収録する。京都産業大学の講演会の書籍化第2弾。

朝日新聞 2018/03/25

2018:2./ 212p
978-4-16-661158-4
本体 ¥730+税



青くて痛くて脆い

住野 よる 著
KADOKAWA

僕が、秋好が残した?を、本当に変える。それは僕にとって、世間への叛逆を意味していた。青春の煌きと残酷さを痛烈に描ききった“喪失”のその先の物語。『文芸カドカワ』連載に加筆し単行本化。

朝日新聞 2018/03/25

2018:3./ 309p
978-4-04-105206-8
本体 ¥1,400+税



埼玉県立浦和高校～人生力を伸ばす浦高の極意～(講談社現代新書 2470)

佐藤 優、杉山 剛士 著
講談社

高校時代の学習法、大学受験の奥義、社会人のサバイバル術。名門県立高校の優れた「総合知」教育を、OBの佐藤優と浦和高校校長が解説する。生徒の前で行われた講演、生徒との質疑応答、保護者対象の講演をもとに書籍化。

朝日新聞 2018/03/25

2018:3./ 205p
978-4-06-288470-9
本体 ¥760+税



上を向いてアルコール～「元アル中」コラムニストの告白～

小田嶋 隆 著
ミシマ社

「40 で酒乱、50 で人格崩壊、60 で死にますよ」と医者に宣告された著者。なぜ、自分だけが脱け出せたのか? 約 20 年の歳月を経て、自分がアル中であったこと、脱アル中への道がどんなものであったのかを綴る。

朝日新聞 2018/03/25

2018:3./ 206p
978-4-909394-03-3
本体 ¥1,500+税



遺伝子～親密なる人類史～<上>

シッタールタ・ムカジー、仲野 徹、田中 文 著
早川書房

遺伝子研究はどのような歴史を経て、今日の隆盛を迎えたのか? ピュリッツァー賞を受賞した医学者が、専門知識と自らの家系に潜む精神疾患の悲劇を織り交ぜて「遺伝子」の全てを語る科学ノンフィクション。

朝日新聞 2018/03/25、日本経済新聞 2018/03/31

2018:2./ 420p
978-4-15-209731-6
本体 ¥2,500+税





遺伝子～親密なる人類史～<下>

シグダールタ・ムカジー、仲野 徹、田中 文 著

早川書房

遺伝情報を読むだけでなく、書き換えることができるようになったとき、人間の条件はどう変わるのか？ 科学と倫理のせめぎ合いを通して、私たちの現在と未来を照らし出す。

2018:2./ 418p

978-4-15-209732-3

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/03/25、日本経済新聞 2018/03/31



たんじょう会はきょうりゅうをよんで(わくわくライブラリー)

如月 かずさ、石井 聖岳 著

講談社

ぼくのたんじょう会に、すぐくお行儀がいい“きょうりゅう”がやってきた！ でも、きょうりゅうがケーキを食べると大変なことが起こり…。きょうりゅうとぼくの「ほんかくてき」な友情物語。

2018:1./ 76p

978-4-06-195781-7

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/03/31



ヒトラーと暮らした少年

ジョン・ボイン、原田 勝 著

あすなろ書房

ドイツ人の父親とフランス人の母親との間に生まれ、パリで暮らしていた少年ピエロは、両親の死によりベルクホッフの叔母に引きとられる。ヒトラーと出会ったピエロは、彼の強いリーダーシップに惹かれ、変わりはじめた…。

2018:2./ 287p

978-4-7515-2877-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/03/31



奇跡の大地

ヤア・ジャン、峯村 利哉 著

集英社

18 世紀に奴隷貿易で栄えたアフリカの王国で生き別れた姉妹。その子孫たちのドラマティックな運命を、現代までのスケールで描いた長編小説。新進気鋭の若手作家による、「2017 アメリカン・ブック・アワード」受賞作。

2018:1./ 397p

978-4-08-773491-1

本体 ¥2,600+税



東京・中日新聞 2018/03/04



小村雪岱随筆集

小村 雪岱、真田 幸治 編

小村 雪岱 著

幻戯書房

大正?昭和初期に活躍した装幀家・挿絵画家・舞台装置家の小村雪岱が、消えゆく江戸情緒の世界を書き留めた随筆を集成。没後、昭和 18 年(1943)に刊行された随筆集「日本橋檜物町」に、新たに発掘された 44 篇を加える。

2018:1./ 269p

978-4-86488-140-1

本体 ¥3,500+税



東京・中日新聞 2018/03/04



「くらし」の時代～ファッションからライフスタイルへ～

米澤 泉 著

勁草書房

なぜ「ていねいなくらし」が流行しているのか。ファッション以外のものがファッション化した時代を見つめ、ファッションよりもライフスタイルを重視し、「くらし」にことさらにこだわるようになった理由を明らかにする。

2018:2./ 11p,237p,9p

978-4-326-65413-0

本体 ¥2,600+税



東京・中日新聞 2018/03/04



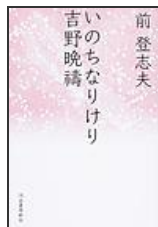
日報隠蔽～南スーダンで自衛隊は何を見たのか～

布施 祐仁、三浦 英之 著
集英社

南スーダンで何が起きていたのか。そこで起きた出来事がいかに日本政府によって隠蔽され、ねじ曲げられて日本国民に伝えられたのか。自衛隊日報の開示請求をしたジャーナリストと現地に潜入した特派員が日報問題の内実に挑む。

東京・中日新聞 2018/03/04

2018:2./ 285p
978-4-08-781652-5
本体 ¥1,700+税



いのちなりけり吉野晩?

前 登志夫 著
河出書房新社

吉野の樹下山人に徹し、「自然の中に再び人間を樹てる」ことを目指した著者が残した、豊穣なことば。晩年の静かな山住みの日々、生と死のコスモロジーを觀想して綴った散文集。『朝日新聞』『短歌現代』連載等を書籍化。

東京・中日新聞 2018/03/04、朝日新聞 2018/03/25

2018:1./ 238p
978-4-309-02648-0
本体 ¥2,000+税



外国人が熱狂するクールな田舎の作り方(新潮新書 748)

山田 拓 著
新潮社

なにもない飛?の里山を、毎年数千人の外国人旅行者が訪れる「宝の山」に変えた逆転の発想とは? 地域の課題にインバウンド・ツーリズムで解決を図った「逆張りの戦略ストーリー」を紹介する。

東京・中日新聞 2018/03/11

2018:1./ 198p
978-4-10-610748-1
本体 ¥740+税



その後の震災後文学論

木村 朗子 著
青土社

私たちは何を記憶し、忘れてしまったのか? 不安、崇高、憑在論(ホントロジー)で読み解く、未来への文学論。震災後の文学をどのように読むか、震災後文学が問題にしていることは何なのかをさまざまな角度から見極める。

東京・中日新聞 2018/03/11

2018:1./ 254p,4p
978-4-7917-7044-1
本体 ¥2,000+税



公文書問題～日本の「闇」の核心～(集英社新書 0920)

瀬畑 源 著
集英社

公文書が破棄、隠蔽される事態が行政の中枢で常態化している。この「無責任の体系」の背後にある情報公開と公文書管理体制の不備、その弊害を、最新情報を交えながら明快に解説する。『時の法令』連載に加筆し新書化。

東京・中日新聞 2018/03/11

2018:2./ 216p
978-4-08-721020-0
本体 ¥740+税



人形(ポーランド文学古典叢書 7)

ボレスワフ・プルス 著
未知谷

19世紀の社会史を一望に収めるリアリズムと、破滅的な情熱のロマンが交錯する。近代ポーランド語文学を代表する評論家・小説家ボレスワフ・プルスによる傑作小説。

東京・中日新聞 2018/03/18

2017:11./ 1,235p
978-4-89642-707-3
本体 ¥6,000+税





最後の漂海民～西海の家船と海女～

東 靖晋 著

弦書房

九州西北海域に海人の系譜(白水郎-海夫-家船)を探り、対馬・曲の海女の語りを通して、その漂泊移動の日々をたどる。海に生きた人々の漁法、交易方法、暮らしぶりから民俗学的考察まで、海からの視点でまとめた海洋文化論。

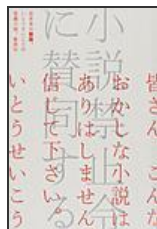
2018:2./ 215p

978-4-86329-167-6

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2018/03/18



小説禁止令に賛同する

いとう せいこう 著

集英社

「小説という作り物を、わたしは徹底的に否定したいのであります」2036年の日本。わたしが獄中で書いた随筆は、政府が発布した「小説禁止令」を礼讃する内容になるはずだったのだが…。『すばる』掲載を単行本化。

2018:2./ 170p

978-4-08-771134-9

本体 ¥1,400+税



東京・中日新聞 2018/03/25



スタア誕生

金井 美恵子 著

文藝春秋

<金魚の娘>はスタアになれるかしら-。モナミ美容室の女たちは噂する。50年代の映画の記憶を精緻に編みこんだ、切なく甘い長編小説。「噂の娘」の姉妹作。『群像』『文藝』掲載を単行本化。

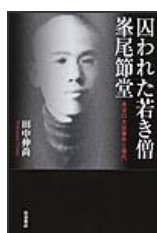
2018:2./ 253p

978-4-16-390800-7

本体 ¥1,850+税



東京・中日新聞 2018/03/25



囚われた若き僧 峯尾節堂～未決の大逆事件と現代～

田中 伸尚 著

岩波書店

「大逆事件」で検挙され、獄中死した僧侶・峯尾節堂。社会主義に近づいただけで、無期懲役刑を受けた青年僧の生と死、国家に人生を翻弄された苦悩を、新資料や丹念な取材によって鋭く描き出す。

2018:2./ 12p,199p,3p

978-4-00-061247-0

本体 ¥2,100+税



東京・中日新聞 2018/03/25



愚か者死すべし(ハヤカワ文庫 JA)

原 奈 著

早川書房

0

読売新聞 2018/03/04

2007:12./ 410p

978-4-15-030912-1

本体 ¥820+税



地図の想像力 増補(河出文庫)

若林 幹夫 著

河出書房新社

私たちはいかにして世界の全体をイメージすることができるのか。地図という表現の構造と歴史、そこに介在する想像力のあり様に寄り添い、人間が生きる社会のリアリティに迫る、社会学的思考のレッスン。

2009:2./ 337p

978-4-309-40945-0

本体 ¥950+税



読売新聞 2018/03/04



命売ります(ちくま文庫)

三島 由紀夫 著

筑摩書房

0

読売新聞 2018/03/04

1998:2./ 269p

978-4-480-03372-7

本体 ¥680+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 3 3 7 2 7 *



兵法家伝書〜新訳〜

柳生 宗矩、渡辺 誠 著

PHP研究所

とらわれのない心、しなやかな心、自由自在な心のはたらきとは。徳川將軍家の参謀が説いた大将の兵法を、口語訳と解説を交えながら紹介する。「兵法家伝書」に思想的な影響を与えた沢庵著「不動智神妙録」(抄訳)も収録。

読売新聞 2018/03/04

2012:3./ 235p

978-4-569-80223-7

本体 ¥950+税



* 9 7 8 4 5 6 9 8 0 2 2 3 7 *



インフォグラフィックスの潮流〜情報と図解の近代史〜

永原 康史 著

誠文堂新光社

人はどのようにしてさまざまな情報を視覚情報に変換してきたのか。ダイアグラム、チャート、グラフ、図解、ピクトグラムなど、インフォグラフィックスの形成とその潮流を豊富な資料とともに解説する。

読売新聞 2018/03/04

2016:2./ 174p

978-4-416-11549-7

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 4 1 6 1 1 5 4 9 7 *



空白を満たしなさい<上>(講談社文庫 ひ 39-3)

平野 啓一郎 著

講談社

ある夜、勤務先の会議室で目醒めた土屋徹生は、帰宅後、妻から「あなたは 3 年前に死んだはず」と告げられる。死因は自殺。しかし当時、自殺する理由などない徹生は、殺されたのではと疑う。そして犯人の記憶が浮かび上がり...

読売新聞 2018/03/04

2015:11./ 339p

978-4-06-293248-6

本体 ¥680+税



* 9 7 8 4 0 6 2 9 3 2 4 8 6 *



空白を満たしなさい<下>(講談社文庫 ひ 39-4)

平野 啓一郎 著

講談社

全国で生き返る「復生者」たち。その集会に参加した徹生は、自らの死についての衝撃的な真相を知る。すべての謎が解き明かされるが...。「自分とは何か?」という根源的な問いを追究し、「分人」という思想が結実する感動長編。

読売新聞 2018/03/04

2015:11./ 307p

978-4-06-293289-9

本体 ¥680+税



* 9 7 8 4 0 6 2 9 3 2 8 9 9 *



藤田嗣治 妻とみへの手紙 1913-1916<上> 大戦前のパリより

藤田 嗣治 著

人文書院

「お前を今までの十倍も百倍も愛して一生を幸福にくらさしてやる」無名時代の画家・藤田嗣治が、最初の妻とみへ宛てた 179 通の書簡を完全復刻。上は 1913-1914 年の書簡を、専門家の論考、コラムとともに収録。

読売新聞 2018/03/04

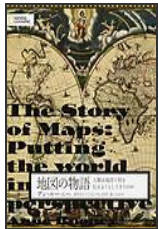
2016:7./ 299p

978-4-409-10036-3

本体 ¥8,500+税



* 9 7 8 4 4 0 9 1 0 0 3 6 3 *



地図の物語～人類は地図で何を伝えようとしてきたのか～(NATIONAL GEOGRAPHIC)

アン・ルーニー、高作 自子、井田 仁康 著

日経ナショナルジオグラフィック社

地図はどのように変遷し、どのように世界を写し出し、また何を目的にしてきたのか。ビーズや貝殻で王の旅路を示した地図、ココヤシの葉柄を組んだ水路図…。美しい地図 140 余点で読む、地図が伝えてきた「発見」の物語。

2016:7./ 191p
978-4-86313-358-7

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2018/03/04



藤田嗣治 妻とみへの手紙 1913-1916<下> 大戦下の欧州より

藤田 嗣治 著

人文書院

「お前を今までの十倍も百倍も愛して一生を幸福にくらさしてやる」無名時代の画家・藤田嗣治が、最初の妻とみへ宛てた 179 通の書簡を完全復刻。下は 1914-1916 年の書簡をコラム、父藤田嗣章の手紙等とともに収録。

2016:8./ 342p
978-4-409-10037-0

本体 ¥8,500+税



読売新聞 2018/03/04



デザインが楽しい!地図の本

サンドウー・パブリッシング 編

中村 亜希子 著

グラフィック社

コペンハーゲン地図、ソウル地下鉄マップ、石炭反対運動マップ…。グラフィックデザイナーやイラストレーターが、最先端のデザイン手法を駆使して生み出した地図を、世界中から選りすぐって紹介。その魅力に迫る。

2016:9./ 239p
978-4-7661-2966-3

本体 ¥3,800+税



読売新聞 2018/03/04



成功企業に潜むビジネスモデルのルール～見えないところに競争力の秘密がある～

山田 英夫 著

ダイヤモンド社

なぜ同じようなビジネスモデルなのに、儲かる会社と儲からない会社があるのか? 多数の成功企業のケースから、ビジネスモデルの競争力の秘密を解き明かし、利益が生まれるビジネスモデルの視点を解説する。

2017:11./ 5p,259p
978-4-478-02574-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/03/04



トマス・アキナス～理性と神秘～(岩波新書 新赤版 1691)

山本 芳久 著

岩波書店

西洋中世の最大の神学者であり哲学者でもあるトマス・アキナスの「神学大全」には、心に訴えかけてくる魅力的な言葉が詰まっている。生き生きとしたトマス哲学の根本精神の秘密を、理性と神秘の相互関係に着目して読み解く。

2017:12./ 8p,274p,2p
978-4-00-431691-6

本体 ¥860+税



読売新聞 2018/03/04



CREATIVE LOCAL～エリアリノベーション 海外編～

馬場 正尊、中江 研、加藤 優一、中橋 恵、菊地 マリエ、大谷 悠、ミンクス典子、阿部 大輔、漆原 弘、山道 拓人 著

学芸出版社

人口減少・縮退した海外の地方都市を劇的に変えた、エリアリノベーションを紹介。空き家・空き地のシェア、廃村の危機を救う観光、社会課題に挑む建築家など、衰退をポジティブに逆転するクリエイティブな実践が満載。

2017.12./ 253p

978-4-7615-2666-5

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/03/04



日本メディア史年表

土屋 礼子 編

吉川弘文館

1837 年の電信機発明から 2015 年まで、メディアの歴史を総合的にまとめた年表。メディアをめぐる事件、技術革新、映画・文学作品のほか、浅間山荘事件、ネット選挙活動など画期となった出来事も盛り込む。

2017.12./ 3p,359p

978-4-642-01477-9

本体 ¥6,500+税



読売新聞 2018/03/04



チャンミーグラー(集英社文庫 こ28-15)

今野 敏 著

集英社

琉球空手、伝説の流祖・喜屋武朝徳。琉球で名家に生まれながら、彼はなぜ一生を“手”に捧げたのか? 明治から太平洋戦争まで、激動の沖縄を生きた漢の一代記。史実をもとにしたフィクション。

2017.12./ 390p

978-4-08-745675-2

本体 ¥720+税



読売新聞 2018/03/04



落語登場人物事典

矢野 誠一 編

白水社

知ったかぶりのお調子者、遊び人、泥棒、女房などが繰り広げる、比類なき人間模様。東京や大阪の寄席・落語会で演じられる古典落語約 750 席のなかから、各演目に登場する主要人物約 2500 名を抽出・解説した事典。

2018.2./ 4p,634p,52p

978-4-560-09416-7

本体 ¥24,000+税



読売新聞 2018/03/04



猫だって...。～猫だって、十猫十色 猫だって、初恋の彼をわすれない 猫だって、愛をつないで生きていく～

佐竹 茉莉子 著

辰巳出版

青果店の営業部長、とら。ニンゲンが大好きなおっとりやんちゃ猫、ゆめ。美術館の通い猫、虎之介…。フェリシモ猫部で連載の著者のブログから選んだ猫たちが語る、22 の愛情物語。

2017.12./ 143p

978-4-7778-1991-1

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/03/04



羽生結弦は助走をしない～誰も書かなかったフィギュアの世界～(集英社新書 0917)

高山 真 著
集英社

絶対王者はもっと強くなる! 38 年間フィギュアスケートを見続けてきた生粋のファンである著者が、マニアックな視点で「羽生結弦の演技の何がどう素晴らしいか」を、表現・技術の両面から徹底的に分析する。

2018:1./ 253p
978-4-08-721017-0
本体 ¥760+税



読売新聞 2018/03/04



刑事の血筋

三羽 省吾 著
小学館

警察庁のキャリア官僚である高岡剣は、異動で故郷の津之神市に戻り、15 年前に殉職した父の死の謎を探る。そんな兄の帰郷を、津之神署の刑事である弟の守は歓迎できずにいた…。『STORY BOX』掲載を改題・改稿。

2018:2./ 286p
978-4-09-386477-0
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/03/04



脳には妙なクセがある(新潮文庫 い-101-5)

池谷 裕二 著
新潮社

楽しいから笑顔になるのではなく、笑顔を作ると楽しくなる。姿勢を正せば自信が持てる。身体行動に感情を後づけしているという、とても人間的な脳の本性の「クセ」を、気鋭の脳研究者が解説する。

2018:2./ 397p
978-4-10-132924-6
本体 ¥670+税



読売新聞 2018/03/04



にんげん蚤の市(河出文庫 た 35-4)

高峰 秀子 著
河出書房新社

宅急便のワタナベさん、「デコちゃんレター」の差出人、司馬遼太郎、三船敏郎、乙羽信子、梅原龍三郎…。人生の名手が、大好きな人、とっておきの人たちとのかけがえのない思い出を絶妙の筆で綴る傑作エッセイ集。

2018:2./ 228p
978-4-309-41592-5
本体 ¥660+税



読売新聞 2018/03/04



高校生ワーキングプア～「見えない貧困」の真実～

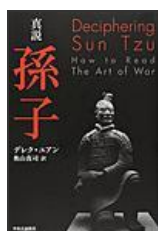
NHK スペシャル取材班 著
新潮社

進学・就職だけでなく、生きていくために働く高校生たち。最新ファッションにスマートフォンを持ち、一見すると“普通”の彼らが直面する「見えない貧困」の実態を炙り出す。NHK スペシャル放送をもとに書籍化。

2018:2./ 214p
978-4-10-405609-5
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/03/04



真説孫子

デレク・ユアン、奥山 真司 著
中央公論新社

気鋭の戦略思想家が、中国圏と英語圏の「孫子」の解釈の相違と継承の経緯を分析し、東洋思想の系譜からタオイズムとの相互関連を検証。中国戦略思想の成立と発展を読み解く。

2018:2./ 279p
978-4-12-005047-3
本体 ¥2,900+税



読売新聞 2018/03/04



琉球王権と太陽の王

吉成 直樹 著
七月社

琉球の初期王統は実在したのか。その王たちは「太陽の王」だったのか。英祖王統の実在性の問題、グスク時代開始期から琉球国形成にいたるまでの正史の記述の信憑性を、考古学の成果と対応させて検討する。

読売新聞 2018/03/04

2018:1./ 319p
978-4-909544-00-1
本体 ¥3,000+税



B.C.1177〜古代グローバル文明の崩壊〜

エリック・H.クライン、安原 和見 著
筑摩書房

ヒッタイト、ミタンニ、エジプト…。一時代を築いた高度な文明世界は、なぜ跡形もなく消滅したのか？ “海の民”によって滅ぼされたというのは事実なのか？ 最新の考古学史料をもとに、古代世界像を刷新する。

読売新聞 2018/03/04、日本経済新聞 2018/03/04、朝日新聞 2018/03/18

2018:1./ 280p,53p
978-4-480-85816-0
本体 ¥2,400+税



それまでの明日

原 奈 著
早川書房

探偵事務所の沢崎のもとに、消費者金融で支店長を務める望月が訪れた。融資が内定している赤坂の料亭の女将の身辺調査を依頼されるが、女将はすでに亡くなっていた。さらに望月が姿を消し、沢崎は金融絡みの事件の渦中に…。

読売新聞 2018/03/04、日本経済新聞 2018/03/17

2018:2./ 409p
978-4-15-209748-4
本体 ¥1,800+税



藤田嗣治手紙の森へ(集英社新書)

林 洋子 著
集英社

思いをこめて添えられたイラスト、行間から浮かぶ人生の転機…。いとおしき人たちへの手紙で藤田嗣治の内面世界をたどり、彼の多面的な魅力に迫る。貴重な手紙を含む図版も百余点収録。

読売新聞 2018/03/04、日本経済新聞 2018/03/31

2018:1./ 206p
978-4-08-721018-7
本体 ¥1,200+税



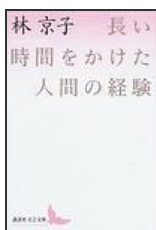
自民党秘史〜過ぎ去りし政治家の面影〜(講談社現代新書 2460)

岡崎 守恭 著
講談社

田中角栄、中曽根康弘、竹下登、金丸信、山中貞則…。一昔前の政治家たちは、良くも悪くも器が違った。自民党を見つめ続けた伝説の政治記者が、彼らの、驚愕と禁断と哀愁のエピソードを語る。

読売新聞 2018/03/04、毎日新聞 2018/03/04

2018:1./ 225p
978-4-06-288460-0
本体 ¥800+税



長い時間をかけた人間の経験(講談社文芸文庫)

林 京子 著
講談社

生の意味を問う表題作のほか、1945年7月世界最初の核実験が行われた場所・ニューメキシコ州トリニティ。グランド・ゼロの地点に立ち《人間の原点》を見た著者の苦渋に満ちた想いを刻す「トリニティからトリニティへ」を併録。

読売新聞 2018/03/11

2005:6./ 201p
978-4-06-198407-3
本体 ¥1,200+税





林京子全集<1> 祭りの場 ギヤマンビードロ

林 京子、井上 ひさし、河野 多恵子、黒古 一夫 著

日本図書センター

長崎での被爆体験と、今も終わらない核の悲劇を語り続ける作家、林京子の全集。第 1 巻は第 18 回群像新人文文学賞及び第 77 回芥川賞を受賞した「祭りの場」をはじめ、「被爆体験」を描いた初期の作品を中心に収録。

2005:6./ 485p

978-4-8205-9834-3

本体 ¥5,800+税



読売新聞 2018/03/11



クジャクの雄はなぜ美しい? 増補改訂版

長谷川 真理子 著

紀伊國屋書店

クジャクの雄はなぜ美しいのか。近年この方面の研究が急展開を見せた。選り好みの雌雄逆転、一夫一妻やハーレムでつがい外交尾を発見、配偶者防衛や毒の注入など、最前線の内容を紹介。92 年刊の増補改訂版。

2005:9./ 238p

978-4-314-00994-2

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/03/11



犬の系譜

椎名 誠 著

講談社

0

1988:1./ 279p

978-4-06-203780-8

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/03/11



泥棒日記 改訳版(新潮・現代世界の文学)

ジャン・ジュネ 著

新潮社

0

1990:7./ 426p

978-4-10-522801-9

本体 ¥2,136+税



読売新聞 2018/03/11



恋する虜〜パレスチナへの旅〜

ジャン・ジュネ 著

人文書院

0

1994:3./ 610p

978-4-409-13017-9

本体 ¥7,000+税



読売新聞 2018/03/11



雪国の春〜柳田国男が歩いた東北〜 新版(角川ソフィア文庫 SP J-102-2)

柳田 国男 著

角川学芸出版

0

2011:11./ 267p

978-4-04-408302-1

本体 ¥667+税



読売新聞 2018/03/11



ナニワ・モンスター(新潮文庫 か-57-3)

海堂 尊 著

新潮社

関西最大の都市・浪速府で新型インフルエンザ「キャメル」が発生! パニックの裏でうごめく司法の陰謀。ナニワの風雲児・村雨知事が目論む、未曾有の危機への“最後の処方箋”とは?

2014:4./ 417p

978-4-10-133313-7

本体 ¥670+税



読売新聞 2018/03/11



夕雲雀～句集～(角川俳句叢書)

柏原 眠雨 著

KADOKAWA

平成 19 年から 25 年までの 7 年間の作品を収める第 4 句集。平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災から 4 年経過しても「大津波の惨害はいまだ進行中である」罹災地で得た折々の句。

2015:9./ 205p

978-4-04-652992-3

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2018/03/11



半減期を祝って

津島 佑子 著

講談社

30 年後のニホンの未来像を描き絶筆となった表題作ほか、強くしなやかに生きる女性たちの姿を追った「ニューヨーク、ニューヨーク」「オートバイ、あるいは夢の手触り」を収録。『群像』掲載を単行本化。

2016:5./ 105p

978-4-06-220087-5

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/03/11



谷間/再びルイへ。(講談社文芸文庫 は A8)

林 京子 著

講談社

昭和 20 年、長崎の兵器工場学徒動員で被爆。結婚・出産・育児・離婚を経て、常に命と向き合い、凜として生きてきた、齢 80 余年の作家の回答。「再びルイへ。」ほか、全 4 篇を収録した中短篇集。

2016:12./ 272p

978-4-06-290332-5

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/03/11



ハムレット、東北に立つ～東北弁シェイクスピア劇団の冒険～

下館 和巳 著

国書刊行会

シェイクスピア劇を東北弁で演じる劇団「シェイクスピア・カンパニー」。日本各地での公演、イギリスへの挑戦、東日本大震災の被災地をめぐる旅…。劇団の今までとこれからを綴る。東北弁シェイクスピアの名場面集も収録。

2017:2./ 211p

978-4-336-06076-1

本体 ¥1,650+税



読売新聞 2018/03/11



ヤマネコ・ドーム(講談社文芸文庫 つ A9)

津島 佑子 著

講談社

米兵と日本人との間に生まれたミッチとカズは、ママに引き取られて暮らすことになる。ある日、オレンジ色のスカートをはいたミキちゃんが池で溺死。ミッチたちはある少年が殺したのではと疑っていた…。

2017:5./ 376p

978-4-06-290349-3

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/03/11



利己的な遺伝子 40 周年記念版

リチャード・ドーキンズ、日高 敏隆 著

紀伊國屋書店出版部

全ての生物は、遺伝子を運ぶための生存機械だ。動物や人間の社会で見られる親子間の対立やなわばり行動などがなぜ進化したかを遺伝子の視点から解明する。現代自然科学の古典的名著。「40 周年記念版へのあとがき」を追加。

2018:2./ 581p

978-4-314-01153-2

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2018/03/11



近衛秀麿～亡命オーケストラの真実～

菅野 冬樹 著

東京堂出版

ナチス占領下のヨーロッパで、音楽を通して行われた人道活動。戦前から戦中、終戦までの 20 余年、ベルリンを拠点に国際舞台で活躍した日本人指揮者・近衛秀麿の、歴史に埋もれた真実に迫ったドキュメント。

2017.12./ 382p

978-4-490-20976-1

本体 ¥3,800+税



読売新聞 2018/03/11



犬から聞いた話をしよう

椎名 誠 著

新潮社

何十年と世界中を旅しながら出会った、数え切れぬほどの犬たち。椎名誠が、人類が持った「一番古い友だち」である犬たちと紡いだ大切な「会話」を、モノクロ写真とともに綴った写真集。

2017.12./ 142p

978-4-10-345625-4

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/03/11



やっぱり友だちはいらない。(TOKYO NEWS BOOKS)

押井 守 著

東京ニュース通信社

友だちって本当に必要ですか？ 異才・押井守監督が、世間の価値観に「NO」を叩きつける刺激的で画期的な友だち論「友だちはいらない。」に、新たな 2 章を加筆。“本当に大切な人間関係とは何か”を改めて問う一冊。

2017.12./ 222p

978-4-19-864538-0

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/03/11



結論は出さなくていい(光文社新書 918)

丸山 俊一 著

光文社

「ニッポンのジレンマ」「英語でしゃべらナイト」等、NHK で異色番組を連発するプロデューサーによる、逆転の発想法。あえてジレンマを楽しみ、「結論」を出さない思考法で過剰適応社会を越えていくためのアイデアを伝える。

2017.12./ 292p

978-4-334-04324-7

本体 ¥840+税



読売新聞 2018/03/11



近代日本一五〇年～科学技術総力戦体制の破綻～(岩波新書 新赤版 1695)

山本 義隆 著

岩波書店

科学技術の破綻としての福島原発事故、経済成長の終焉を象徴する人口減少…。大国主義ナショナリズムに突き動かされて進められてきた日本の近代化を見直すべきときがきた。近代日本 150 年の歩みを捉え返す。

2018.1./ 14p,293p,5p

978-4-00-431695-4

本体 ¥940+税



読売新聞 2018/03/11



昼も夜も彷徨え～マイモニデス物語～(中公文庫 な 71-1)

中村 小夜 著

中央公論新社

イスラーム教徒とキリスト教徒が抗争する、12 世紀の地中海。マイモニデスは異郷を放浪しながら、言葉の力で迫害に抵抗し、人々に生きる勇気を与える。史実に基づき、中世最大のユダヤ思想家の波瀾の生涯を描く。

2018.1./ 492p

978-4-12-206525-3

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/03/11



理系という生き方～東工大講義～(ポプラ新書 144)

最相 葉月 著

ポプラ社

「常識」を打ち破る。科学者の生き方に見る、思考のヒント。禁断の進化論から大震災、生物模倣のテクノロジーまでを取り上げた、東京工業大学の人気講義を新書化。『日経ビジネスオンライン』掲載の池上彰との対談も収録。

2018:2./ 391p

978-4-591-15801-2

本体 ¥900+税



読売新聞 2018/03/11



コミュニティ・アーカイブをつくろう!～せんだいメディアテーク「3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター」奮闘記～

佐藤 知久、甲斐 賢治、北野 央 著

晶文社

市民、専門家らが協働し、東日本大震災の復旧・復興のプロセスを記録・発信するプラットフォーム「わすれん!」。立ち上げのプロセスやノウハウなどを紹介し、草の根・参加型「コミュニティ・アーカイブ」の方法論を伝える。

2018:1./ 370p

978-4-7949-6874-6

本体 ¥1,850+税



読売新聞 2018/03/11



イスラム教の論理(新潮新書 752)

飯山 陽 著

新潮社

コーランの教えに従えば、異教徒である日本人も殺すべき敵である。気鋭のイスラム思想研究者が、コーランを典拠に西側の倫理とはかけ離れた「イスラム教の本当の姿」を描き出す。

2018:2./ 238p

978-4-10-610752-8

本体 ¥780+税



読売新聞 2018/03/11



ジャッカ・ドフニ～海の記憶の物語～<上>(集英社文庫 つ 22-1)

津島 佑子 著

集英社

キリスト教迫害が進む 17 世紀。アイヌと和人の子チカップは、聖職者を志す少年ジュリアンと共に、故郷のマツマエから遠く離れたナガサキ、そしてマカウを目指す航海に出る。

2018:2./ 323p

978-4-08-745702-5

本体 ¥700+税



読売新聞 2018/03/11



ジャッカ・ドフニ～海の記憶の物語～<下>(集英社文庫 つ 22-2)

津島 佑子 著

集英社

母に聴かされたアイヌの歌を拠り所に生きるチカップは、キリスト教の信仰に惹かれつつも、故郷のえぞ地への思いを持ち続けていた。マカウも安住の地とはなり得ず、少女は再び航海に身をゆだねる。

2018:2./ 345p

978-4-08-745703-2

本体 ¥740+税



読売新聞 2018/03/11



天空の救命室～航空自衛隊航空機動衛生隊～(徳間文庫 ふ 34-2)

福田 和代 著

徳間書店

小牧基地にある航空機動衛生隊。チームを率いる内村彰吾は大型輸送機に積み込まれた“空飛ぶ ICU”を使って、重篤な患者を遠隔地の医療機関へ送り込む。航空自衛隊のプロフェッショナルを描いたヒューマン・サスペンス。

2018:2./ 343p

978-4-19-894312-7

本体 ¥670+税



読売新聞 2018/03/11



スカルムーシュ・ムーン(新潮文庫 か-57-5)

海堂 尊 著

新潮社

新型インフルエンザ騒動で激震した浪速の街で、「ワクチン戦争」が勃発しようとしていた。霞が関の陰謀を察知した異端の医師・彦根新吾はワクチン製造に必要な鶏卵を求めて加賀へ飛び、さらに資金調達のため欧州へと旅立つ…。

読売新聞 2018/03/11

2018:2./ 665p

978-4-10-133315-1

本体 ¥890+税



不当要求・クレーマー撃退のポイント 50～企業・行政によるコンプライアンスの実践～

深澤 直之 著

東京法令出版

企業・行政職員から個人商店主・店員まで使えるクレーマー撃退法を伝授。クレーム対応の基本や、顧客・市民とクレーマーの境界線、クレーム対応に役立つ素の心構えと具体的な対応方法などについて解説する。

読売新聞 2018/03/11

2018:3./ 13p,234p

978-4-8090-3184-7

本体 ¥1,300+税



林京子の文学～戦争と核の時代を生きる～

熊 芳 著

インパクト出版会

戦争と被爆の体験から 8 月 9 日の語り部となり、「フクシマ」をも経験した作家・林京子は、<戦争と核>の問題を書き続けてきた。主要作品を読み解きながら日本人の戦争・戦後責任、原爆と原発による加害と被害問題を考察する。

読売新聞 2018/03/11

2018:1./ 353p

978-4-7554-0283-8

本体 ¥2,800+税



蘇るサバ缶～震災と希望と人情商店街～

須田 泰成 著

廣済堂出版

東日本大震災で壊滅した、木の屋石巻水産の缶詰工場。その跡地に埋まっていた泥まみれの缶詰を掘り出し、磨き、販売したのは、以前からつながりのあった東京・経堂の商店街の人たちだった…。人のつながりと復興の足跡を綴る。

読売新聞 2018/03/11

2018:3./ 221p

978-4-331-52150-2

本体 ¥1,300+税



コンドルセと<光>の世紀～科学から政治へ～

永見 瑞木 著

白水社

「凡庸な進歩主義者」と誤認されるコンドルセを、科学・アメリカ革命・旧体制改革という観点から眺め、18 世紀思想史に位置づけた画期的論考。彼が漸進的な改革者という姿勢を保ち続けていたことを示す。

読売新聞 2018/03/11、朝日新聞 2018/03/18

2018:1./ 267p,41p

978-4-560-09596-6

本体 ¥3,400+税



昭和史の10大事件(文春文庫 み 17-51)

宮部 みゆき、半藤 一利 著

文藝春秋

日本の、そして私の運命を変えた重大事件とは何か。“歴史探偵”半藤一利と、その高校の後輩にあたる作家・宮部みゆきが昭和史上の 10 大事件を選び、語り合う、昭和の真実が浮かび上がる対談本。

読売新聞 2018/03/11、朝日新聞 2018/03/18

2018:3./ 233p

978-4-16-791039-6

本体 ¥670+税





辞書から消えたことわざ(角川ソフィア文庫 E110-1)

時田 昌瑞 著

KADOKAWA

「花の下より鼻の下」「心太の幽霊をこんにゃくの馬に乗せる」など、200 本のことわざを厳選。言葉の成り立ち、使われた文学作品、時代背景といったうんちくを記しながら解説する。ことわざを視覚化した絵画やカルタも掲示。

2018:2./ 269p

978-4-04-400346-3

本体 ¥880+税



読売新聞 2018/03/11、朝日新聞 2018/03/25



私の夢まで、会いに来てくれた〜3・11 亡き人とのそれから〜

東北学院大学震災の記録プロジェクト金菱清(ゼミナール) 編

朝日新聞出版

東日本大震災で大切な人を亡くした遺族は、どのような夢を見て、何を想い過ごしているのだろうか。東北の大学生たちが、「被災者遺族が見る亡き人の夢」をテーマに調査をした記録集。

2018:2./ 271p

978-4-02-251533-9

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/03/11、朝日新聞 2018/03/25



つきジュネ

タハール・ベン・ジェルーン、岑村 傑 著

インスクリプト

憤り、挑発し、消沈し、沈黙するジュネ。その姿や言葉が甦る。傍らで稀有な時間を過ごしたゴンクール賞作家が、幾多の人物像を点綴しながらジュネ晩年の十余余を描いた回想録。

2018:1./ 280p

978-4-900997-69-1

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2018/03/11、日本経済新聞 2018/03/17



1940 年体制～さらば戦時経済～ 新版

野口 悠紀雄 著

東洋経済新報社

日本人が創造能力で劣っているとは考えられない。それは個人の能力よりも、伝統的な企業に支配されている経済システムの問題だ。日本を経済敗戦に追いこむ真犯人は誰なのか?95 年刊の新版。

2002:12./ 248p

978-4-492-39395-6

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/03/18



「超」整理法<1> 押出しファイリング(中公文庫)

野口 悠紀雄 著

中央公論新社

0

2003:5./ 227p

978-4-12-204209-4

本体 ¥648+税



読売新聞 2018/03/18



ロシアの影～夏目漱石と魯迅～(平凡社選書)

藤井省三 著

平凡社

0

1985:4./ 242p

978-4-582-82287-8

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/03/18



茶色の眼(講談社文芸文庫)

林芙美子 著

講談社

0

読売新聞 2018/03/18

1994:1./ 330p

978-4-06-196258-3

本体 ¥951+税



挽歌 改版(新潮文庫 は-3-1)

原田 康子 著

新潮社

北海道の霧の街に生いたち、ロマンにあこがれる兵藤怜子は、知り合った中年建築家桂木の落着きとかすかな陰影に好奇心を抱く。美貌の桂木夫人と未知の青年との密会を目撃した彼女は、急速に夫妻の心の深みにふみこんでゆき...

読売新聞 2018/03/18

2013:11./ 476p

978-4-10-111401-9

本体 ¥710+税



放浪記(岩波文庫 31-169-3)

林 芙美子 著

岩波書店

第一次大戦後の東京。地方出身者の「私」は、震災を経て変わりゆく都市の底辺で、貧窮にあえぎ、職を転々としながらも、逆境におしつぶされることなくひたすらに文学に向かってまっすぐに生きる。全3部を収録。

読売新聞 2018/03/18

2014:3./ 572p

978-4-00-311693-7

本体 ¥960+税



魯迅と日本文学～漱石・?外から清張・春樹まで～

藤井 省三 著

東京大学出版会

魯迅と日本作家たちの影響関係とは? 作品群を精緻に読み解き、近代日本文学が魯迅に決定的な影響を与えた一方、1930年代以降には魯迅が日本作家に影響を与え始めた、複雑な日中関係の一面を繙く。

読売新聞 2018/03/18

2015:8./ 10p,262p,11p

978-4-13-083066-9

本体 ¥2,800+税



ウルフ、黒い湖

ヘラ・S.ハーセ、國森 由美子 著

作品社

オランダ領東インド。農園の支配人を務める植民者の息子である「ぼく」と、現地人の少年「ウルフ」の友情と別離、そしてインドネシア独立への機運を丹念に描く。訳者が著者の生涯と作品を解説したあとがきも収録。

読売新聞 2018/03/18

2017:11./ 196p

978-4-86182-668-9

本体 ¥2,000+税



日本現代怪異事典

朝里 樹 著

笠間書院

こっくりさん、口裂け女、トイレの花子さん…。戦後から2000年前後にネット上に登場する怪異まで、日本を舞台に語られた1000種類以上の怪異を紹介する。類似怪異、出没場所、都道府県別などの索引付き。

読売新聞 2018/03/18

2018:1./ 500p

978-4-305-70859-5

本体 ¥2,200+税





怖い女～怪談、ホラー、都市伝説の女の神話学～

沖田 瑞穂 著

原書房

口裂け女、コトリバコ、貞子、伽椰子、イザナミ、アルテミス…。都市伝説やホラー、怪談といった現代の「怖い女たち」と、神話の恐るべき女神について考察することで、古代から現代の「女」たちの恐るべき側面を明らかにする。

2018:1./ 293p

978-4-562-05472-5

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2018/03/18



忘れられない中国留学エピソード～日中対訳～

近藤 昭一、西田 実仁、段 躍中 編

近藤 昭一、西田 実仁 著

日本僑報社

日中国交正常化 45 周年を記念した第 1 回「忘れられない中国留学エピソード」コンクールの受賞作品集。心揺さぶる感動秘話や驚きの体験談など、リアルな中国留学の様子を綴った 1?3 等賞の 45 本のほか、特別寄稿等も収録。

2017:12./ 267p

978-4-86185-243-5

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2018/03/18



飛田ホテル(ちくま文庫 く29-1)

黒岩 重吾 著

筑摩書房

社会の落伍者が集まるアパート「飛田ホテル」。刑期を終えたヤクザ者の有池が戻ると、待っているはずの妻がいない。有池は妻の足取りを追うが…。表題作ほか、男女の愛憎を痛切に描く全 6 篇を収録したミステリ短篇集。

2018:2./ 361p

978-4-480-43497-5

本体 ¥820+税



読売新聞 2018/03/18



石を聴く～イサム・ノグチの芸術と生涯～

ヘイデン・ヘレーラ、北代 美和子 著

みすず書房

周囲の人々の新たな証言とともに資料を駆使して、イサム・ノグチの波瀾万丈の生涯をたどりつつ、変幻自在な彫刻群、庭園、舞台装置、家具・照明など、多ジャンルにわたる作品の誕生を克明に解き明かす。図版も多数収録。

2018:2./ 544p,8p

978-4-622-08675-8

本体 ¥6,800+税



読売新聞 2018/03/18



月下の蘭/殺人はちょっと面倒(創元推理文庫 M 7-1)

小泉 喜美子、日下 三蔵 編

小泉 喜美子 著

東京創元社

幻想的な復讐譚が意外性に満ちたミステリへと変貌する「月下の蘭」、過去・犯罪・愛憎を巡る物語をトリッキーに仕立て上げた「殺人はちょっと面倒」の 2 冊を合本。妖しく勁く美しい女たちの犯罪を描いた全 8 篇を収録する。

2018:2./ 491p

978-4-488-48611-2

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/03/18



言ひ訳だらけの人生(光文社文庫 た 31-4)

平 安寿子 著

光文社

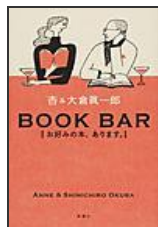
「バブル入社組」と言われる田中修司、49 歳。上司からは翻弄され、部下からは突き上げられ、家庭の実権は妻にある。ある日、幼なじみと集まると、楽しかった思い出が蘇り…。今を生き抜く「元・男子」に贈る人生の応援歌。

読売新聞 2018/03/18

2018:1./ 343p

978-4-334-77586-5

本体 ¥740+税



BOOK BAR〜お好みの本、あります。〜

杏、大倉 眞一郎 著

新潮社

読みたいくなる本に必ず出会える! 女優・杏と旅人・大倉眞一郎が選び抜いた 50 冊を紹介する。スペシャル対談、2008?2017 年に紹介した全作品リストも掲載。同名ラジオ番組を書籍化。

読売新聞 2018/03/18

2018:2./ 237p

978-4-10-351631-6

本体 ¥1,500+税



最新ウイスキーの科学〜熟成の香味を生む驚きのプロセス〜(ブルーバックス B-2047)

古賀 邦正 著

講談社

近年、ウイスキーの熟成プロセスの不思議さに注目が集まり、新たな知見や意外な発見が加えられてきている。知ればさらに旨くなる、熟成香味の驚くべきなりたちを解説する。ウイスキーの基礎知識やウイスキー造りの工程も掲載。

読売新聞 2018/03/18

2018:2./ 286p

978-4-06-502047-0

本体 ¥1,000+税



アーバン・アウトドア・ライフ(中公文庫 あ 86-1)

芦澤 紗知子 編

芦澤 一洋 著

中央公論新社

庭や公園の自然の楽しみ方、都会から足を運ぶハイキング案内…。日本にアウトドアの概念を持ち込んだ芦澤一洋が、自然を愛する眼と心さえ持っていれば、都会でもアウトドア・ライフを送れることを提唱したガイド・エッセイ。

読売新聞 2018/03/18

2018:2./ 230p

978-4-12-206544-4

本体 ¥740+税



五七五の向こう側〜神奈川大学全国高校生俳句大賞 20 回記念〜

神奈川大学広報委員会 編

KADOKAWA

神奈川大学全国高校生俳句大賞授賞式で行われた過去 6 回分のシンポジウムを書籍化。「俳句にとって季語とはなにか」「俳句における笑い」「一茶と井月」などをテーマに、金子兜太、宇多喜代子、大串章らが舌戦を繰り広げる。

読売新聞 2018/03/18

2018:2./ 159p

978-4-04-884160-3

本体 ¥1,000+税



臆病な詩人、街へ出る。

文月 悠光 著

リットーミュージック

「早熟」「天才」と騒がれた女子高生も、今や臆病で夢見がちな冴えない女。ないない尽くしの私は、現実に向き合うことができるのか。JK 詩人からの脱却を図った体当たりエッセイ集。『cakes』連載に加筆し単行本化。

読売新聞 2018/03/18

2018:2./ 270p

978-4-8456-3179-7

本体 ¥1,600+税





映画の中にある如く

川本 三郎 著

キネマ旬報社

エストニアの美しい女優のこと、「君の名は。」の小さな町のこと、台湾映画「若葉のころ」のこと…。川本三郎が、面白く見た映画について綴る。『キネマ旬報』連載「映画を見ればわかること」の書籍化第5弾。

2018:2./ 382p

978-4-87376-458-0

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2018/03/18



微隕石探索図鑑～あなたの身近の美しい宇宙のかけら～

ヨン・ラーセン、野口 高明、米田 成一、武井 摩利 著

創元社

宇宙からやって来た小さな粒、微隕石は、太陽系の生成過程でできた古い時代の情報をつめこんだタイムカプセル。著者が新しく発見した微隕石と、微隕石とまちがえやすい地球由来の物質の写真を多数掲載したヴィジュアルガイド。

2018:2./ 152p

978-4-422-45003-2

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/03/18、産経新聞 2018/03/25



夏と花火と私の死体(集英社文庫)

乙一 著

集英社

0

2000:5./ 223p

978-4-08-747198-4

本体 ¥420+税



読売新聞 2018/03/25



トリエステの坂道～須賀敦子コレクション～(白水 U ブックス)

須賀 敦子 著

白水社

ジェイムズ・ジョイス、ウンベルト・サバなど多くの文学者の記憶を秘めた町、トリエステ。このアドリア海沿いの辺境の町への旅立ちにはじまる思い出の記。亡き夫、なつかしき人々との交流を綴る。みすず書房 95 年刊の再刊。

2001:11./ 235p

978-4-560-07355-1

本体 ¥880+税



読売新聞 2018/03/25



ユルスナールの靴～須賀敦子コレクション～(白水 U ブックス)

須賀 敦子 著

白水社

「きっちり足に合った靴さえあれば、じぶんはどこまでも歩いていけるはずだ」との思いにとらわれていた著者は、やがてユルスナール巡礼の旅に出る。河出書房新社 96 年刊の再刊。

2001:11./ 254p

978-4-560-07356-8

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/03/25



OUT<上>(講談社文庫)

桐野 夏生 著

講談社

0

2002:6./ 446p

978-4-06-273447-9

本体 ¥667+税



読売新聞 2018/03/25



OUT<下>(講談社文庫)

桐野 夏生 著
講談社
0

読売新聞 2018/03/25

2002:6./ 340p
978-4-06-273448-6
本体 ¥619+税



* 9 7 8 4 0 6 2 7 3 4 4 8 6 *



GOTH<夜の章>(角川文庫)

乙一 著
角川書店
0

読売新聞 2018/03/25

2005:6./ 190p
978-4-04-425304-2
本体 ¥440+税



* 9 7 8 4 0 4 4 2 5 3 0 4 2 *



須賀敦子全集<第1巻> ミラノ霧の風景 コルシア書店の仲間たち 旅のあいまに(河出文庫)

須賀 敦子 著
河出書房新社
0

読売新聞 2018/03/25

2006:10./ 453p
978-4-309-42051-6
本体 ¥950+税



* 9 7 8 4 3 0 9 4 2 0 5 1 6 *



須賀敦子全集<第2巻> ヴェネツィアの宿 トリエステの坂道 エッセイ/1957-1992(河出文庫)

須賀 敦子 著
河出書房新社

遠い日の父の思い出、留学時代などを綴った「ヴェネツィアの宿」、亡夫が愛した詩人の故郷トリエステの記憶と共に懐かしいイタリアの家族の肖像が甦る「トリエステの坂道」、およびエッセイ 24 本を収録。

読売新聞 2018/03/25

2006:12./ 606p
978-4-309-42052-3
本体 ¥1,000+税



* 9 7 8 4 3 0 9 4 2 0 5 2 3 *



須賀敦子全集<第3巻> ユルスナールの靴 時のかけらたち 地図のない道 エッセイ/1993-1996(河出文庫)

須賀 敦子 著
河出書房新社

2 人の文学者の魂の二重奏『ユルスナールの靴』、西欧の建築や美術を巡る思索の軌跡『時のかけらたち』、愛するヴェネツィアの記憶『地図のない道』、及び画期的論考「古いハスのタネ」などエッセイ 18 篇。

読売新聞 2018/03/25

2007:11./ 639p
978-4-309-42053-0
本体 ¥1,100+税



* 9 7 8 4 3 0 9 4 2 0 5 3 0 *



思い出トランプ(新潮文庫)

向田 邦子 著
新潮社

日常生活の中で、誰もがひとつやふたつは持っている弱さや、狡さ、後ろめたさを、人間の愛しさとして捉えた 13 編。直木賞受賞作「花の名前」「犬小屋」「かわうそ」を収録。

読売新聞 2018/03/25

1983:5./ 225p
978-4-10-129402-5
本体 ¥460+税



* 9 7 8 4 1 0 1 2 9 4 0 2 5 *



向田邦子の手料理

講談社 著
講談社
0

読売新聞 2018/03/25

1989:6./ 131p
978-4-06-204317-5
本体 ¥1,600+税



愛という字(文春文庫)

向田 邦子 著
文芸春秋
0

読売新聞 2018/03/25

1996:9./ 235p
978-4-16-727712-3
本体 ¥510+税



森繁の重役読本(文春文庫 む 1-25)

向田 邦子 著
文芸春秋

森繁久彌が“手品”と絶賛した向田邦子の会話術と視点から、昭和の豊かな人間模様が甦る! 作・向田邦子、朗読・森繁久彌の名コンビで 2448 回も続いたラジオエッセイの台本から選りすぐりを再編集して収録。

読売新聞 2018/03/25

2012:5./ 218p
978-4-16-727724-6
本体 ¥533+税



眠る盃(講談社文庫 む 5-3)

向田 邦子 著
講談社

「荒城の月」の「めぐる盃かげさして」の一節を「眠る盃」と覚えてしまった少女時代の回想の表題作をはじめ、なにげない日常から鮮やかな人生を切りとる珠玉の随筆集。

読売新聞 2018/03/25

2016:1./ 308p
978-4-06-293295-0
本体 ¥640+税



コンゴ共和国 マルミミゾウとホテルの行き交う森から

西原 智昭 著
現代書館

中部アフリカのコンゴ共和国で、いま何が起きているのか。熱帯林に生息するゾウやゴリラなどの生態調査、環境保全に携わる中での内戦や森林伐採業との対峙、貨幣経済の浸透が先住民に与える影響など現場のリアルを伝える。

読売新聞 2018/03/25

2018:1./ 254p
978-4-7684-5823-5
本体 ¥2,200+税



告白~あるPKO 隊員の死・23 年目の真実~

旗手 啓介 著
講談社

日本が参加した PKO の地・カンボジアで、ひとりの隊員が亡くなった。だが、その死の真相は封印され、遺族にも知らされていなかった…。NHK スペシャル「ある文民警察官の死」をもとに書籍化。見返しに地図あり。

読売新聞 2018/03/25

2018:1./ 381p
978-4-06-220519-1
本体 ¥1,800+税





文字に美はありや。

伊集院 静 著

文藝春秋

美しい文字とは何か。鑑真、空海、織田信長から夏目漱石、太宰治、ビートたけしまで、文人や作家の名筆、名跡をたどりながら考える。写真も満載。『文藝春秋』連載に加筆し単行本化。

2018:1./ 253p

978-4-16-390777-2

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/03/25



あかつき球団事務所へようこそ(ポプラ文庫 あ 10-1)

青井 夏海 著

ポプラ社

会社が倒産し、やさぐれていた美咲は、シニアの女子草野球軍団の「あかつき球団事務所」に転がり込む。しぶしぶ練習を手伝うはめになる美咲だが、それぞれの事情や思いを知るうちに、閉じ込めていた自分の夢に向き合い始め...

2017:12./ 379p

978-4-591-15710-7

本体 ¥700+税



読売新聞 2018/03/25



世界は終わりそうにない(中公文庫 か 61-5)

角田 光代 著

中央公論新社

「恋愛」に対する疑問から、書く女の孤独まで。すぐには役に立たないけれど愛おしい人生の凸凹を味わって、膝を打ちたくなるエッセイ集。船戸与一、三浦しをん、吉本ばなな他との爆笑対談も収録。

2018:1./ 279p

978-4-12-206512-3

本体 ¥600+税



読売新聞 2018/03/25



議院内閣制～変貌する英国モデル～(中公新書 2469)

高安 健将 著

中央公論新社

EU 離脱の混乱、政治不信...。危機に直面した英国は、国家構造を改革し、議院内閣制を変貌させる道を選んだ。議院内閣制の象徴である英国政治の根源を探求し、そこに生じている変化を解き明かす。

2018:1./ 5p,288p

978-4-12-102469-5

本体 ¥900+税



読売新聞 2018/03/25



?

星野 智幸 著

新潮社

炎天下の公園で、涙が止まらない人で溢れかえる世界で、人間が貨幣となり自らを売買する社会で。自分ではない何かになりたいと切望する人々が、自らの物語を語り始め...。連環する9つの物語。『新潮』他掲載に加筆し単行本化。

2018:1./ 265p

978-4-10-437204-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/03/25



イップス～魔病を乗り越えたアスリートたち～

澤宮 優 著

KADOKAWA

大事な場面で手が動かない...。その地獄から彼らはどうやって這い上がったのか? 原因不明の病「イップス」を体験したプロ野球選手やプロゴルファーが、どう症状に立ち向かい、そこからどう人生を切り開いていったかを記す。

2018:1./ 224p

978-4-04-105928-9

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/03/25



私の頭が正常であったなら(幽 BOOKS)

山白 朝子 著

KADOKAWA

元夫によって愛する娘を目の前で亡くした私は、心身のバランスを崩していた。ある日の散歩中、助けを求める小さな声を拾う。おそろしくうつくしい 8 つの“喪失”の物語。『幽』他掲載を単行本化。

2018:2./ 246p

978-4-04-106435-1

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/03/25



デラシネの時代(角川新書 K-193)

五木 寛之 著

KADOKAWA

当たり前が日々変わる時代に生きる私たちに必要なのは、自らをデラシネ(漂流者)と自覚すること。作家・五木寛之が、朝鮮半島からの引き揚げ体験を交えつつ、今を生き抜くヒントを提示する。『日刊ゲンダイ』連載等を再構成。

2018:2./ 251p

978-4-04-102191-0

本体 ¥800+税



読売新聞 2018/03/25



欲望の民主主義～分断を越える哲学～(幻冬舎新書 ま-12-1)

丸山 俊一、NHK「欲望の民主主義」制作班 著

幻冬舎

アメリカのトランプ現象、イギリスの EU 離脱、フランス極右政党の台頭…。社会心理学者や哲学者など 6 人が、政治変動の深層と、民主主義の混迷について考察する。NHK・BS1 スペシャルを書籍化。

2018:1./ 245p

978-4-344-98488-2

本体 ¥800+税



読売新聞 2018/03/25



姉妹都市の挑戦～国際交流は外交を超えるか～

毛受 敏浩 著

明石書店

人々はなぜ姉妹都市交流を行おうと思ったのか。また実際、どのような交流が行われたのか。60 年以上の歴史を持つ姉妹都市交流の変遷を掘り起こし、その交流が地域社会や世界に与えた影響を現状・事例とあわせて描き出す。

2018:1./ 242p

978-4-7503-4625-0

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/03/25



須賀敦子の本棚～没後 20 年～(KAWADE 夢ムック)

河出書房新社

没後 20 年を迎える須賀敦子を、若島正、藤谷道夫、北代美和子ら、彼女が愛した作家からとらええすほか、「ダンテの人ごみ」など未刊行の文章と翻訳、池澤夏樹、松山巖、湯川豊、若松英輔らの寄稿等を収録。

2018:3./ 221p

978-4-309-97939-7

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/03/25



トウモロコシの種蒔き～S・アンダーソン短編集～(シリーズ世界の文豪)

S.アンダーソン、後藤 健治 著

柏艸舎

アメリカ文学史上極めて重要な位置づけをされている作家、シャーウッド・アンダーソンの傑作短編集。表題作ほか、「妹」「不意打ち」「二人の恋人たち」「誰も笑わなかった」など、単行本未収録の短編全 15 編を収録する。

2018:3./ 174p

978-4-434-24337-0

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/03/25



世界で一番美しい病気(ハルキ文庫 な 18-1)

中島 らも、小堀 純 編

中島 らも 著

角川春樹事務所

恋におちるたびに、僕はいつもボロボロになってしまう。作家として、ミュージシャンとして、数々の名作と伝説を残した中島らもの、恋愛にまつわるエッセイ集。詩と小説も収録。

2018:2./ 205p

978-4-7584-4150-6

本体 ¥580+税



読売新聞 2018/03/25



山熊田

亀山 亮 著

夕書房

新潟県村上市山熊田。新潟と山形の県境に位置するこの小さな集落にあるのは、山と熊と田んぼだけ。山焼き、熊狩り、シナ織…。山とともに生きる人々の暮らしを写し撮ったモノクロ写真集。

2018:2./ 128p

978-4-909179-01-2

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2018/03/25



まず、ルールを破れ～すぐれたマネジャーはここが違う～

マーカス・バックキンガム、カート・コフマン 著

日本経済新聞出版社

マネジャーとして革命的な考え方とは、そしてそれらを実践するためには部下とどう接すればよいのか。8万人のマネジャーと100万人の従業員インタビューから導き出した世界中のマネジャーに共通する常識破りの考え方を提供。

2000:10./ 397p

978-4-532-14867-6

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/03/04



ビジョナリー・カンパニー<2> 飛躍の法則

ジェームズ・C.コリンズ 著

日経BP社

95年刊のベストセラー「ビジョナリーカンパニー」の著者による、徹底的なデータ分析に裏付けられた超優良企業の条件。「どうすればグッド・カンパニーはグレート・カンパニーになれるのか」という問いを追求する。

2001:12./ 420p

978-4-8222-4263-3

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/03/04



ザ・スタンド<5>(文春文庫)

スティーヴン・キング 著

文芸春秋

0

2004:8./ 499p

978-4-16-766172-4

本体 ¥857+税



日本経済新聞 2018/03/04



冷血(新潮文庫)

カポーティ 著

新潮社

0

2006:6./ 623p

978-4-10-209506-5

本体 ¥940+税



日本経済新聞 2018/03/04



ソロモンの犬(文春文庫)

道尾 秀介 著
文芸春秋
0

日本経済新聞 2018/03/04

2010:3./ 388p
978-4-16-777350-2
本体 ¥600+税



風立ちぬ・美しい村 改版(新潮文庫 ほ-1-2)

堀 辰雄 著
新潮社
0

日本経済新聞 2018/03/04

2011:10./ 233p
978-4-10-100402-0
本体 ¥430+税



英語文章ルールブック

ウィリアム・ストラング、E.B.ホワイト 著
荒竹出版
0

日本経済新聞 2018/03/04

1985:1./ 231p
978-4-87043-012-9
本体 ¥1,200+税



超越瞑想癒しと変容～精神科医が驚いた効果と回復～

ノーマン・ローゼンタール、原田 稔久 著
さくら舎

生命の本質である意識へのアプローチであり、心と身体のストレスを取り除き、行動の質の改善や向上などに役立つ「超越瞑想」。精神科医としての豊富な経験と多数の症例を通して、超越瞑想の価値と有効性、効果を解説する。

日本経済新聞 2018/03/04

2013:6./ 285p
978-4-906732-44-9
本体 ¥1,600+税



世界をつくった6つの革命の物語～新・人類進化史～

スティーブン・ジョンソン 著
朝日新聞出版

ガリレオは祭壇ランプに何を見たか? 古代洞窟に歌は響いたか? イヌイットの瞬間冷凍とは? 「ガラス」「冷たさ」「音」「清潔」「時間」「光」という、文明を変えた 6 つの大発明を切り口に、人類進化の歴史をひもとく。

日本経済新聞 2018/03/04

2016:8./ 339p
978-4-02-331530-3
本体 ¥1,900+税



5分後に禁断のラスト(5分シリーズ)

エブリスタ 編
河出書房新社

5分で心を動かす超短編小説をテーマごとにまとめたシリーズ。「7歳の君を、殺すということ」「振れた復讐」など、止められるからこそ読みたくなる 8 作を収録。小説投稿サイト『エブリスタ』掲載に加筆・修正して書籍化。

日本経済新聞 2018/03/04

2017:10./ 181p
978-4-309-61217-1
本体 ¥980+税





ブランド戦略論

田中 洋 著

有斐閣

理論、戦略、実践、事例と包括的にブランドをとらえつつ、具体的なポイントも示し、実践的な知見を豊富に蓄積してまとめた体系書。有名企業のケースも多数収録。

2017:12./ 12p,524p

978-4-641-16510-6

本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2018/03/04



アート鑑賞 BOOK～この 1 冊で《見る、知る、深まる》～(知的生きかた文庫 み 31-1)

三井 一弘 著

三笠書房

西洋絵画から浮世絵、彫刻、現代美術まで、アートをより深く、楽しく鑑賞するためのポイントを、カラー図版をまじえてたっぷり解説。アートディーラーならではの鋭い考察、作家秘話も満載。

2017:11./ 310p

978-4-8379-8508-2

本体 ¥980+税



日本経済新聞 2018/03/04



1933 年を聴く～戦前日本の音風景～

齋藤 桂 著

NTT出版

音は雨のように人々の上に降り、流れていく。1933 年という 1 年に注目し、そこで降り注いだ音楽や音、それらに関わった人々を論じることで、当時の社会を取り巻く大気=雰囲気をも明らかにする。見返しに年表あり。

2017:12./ 220p

978-4-7571-4353-1

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/03/04



消費資本主義!～見せびらかしの進化心理学～

ジェフリー・ミラー、片岡 宏仁 著

勁草書房

多くの人が自らの資質・適応度を見せびらかそうと消費し、マーケティングは、その欲求を商品やサービスで満たせるように思わせている。見せびらかし消費から抜け出るために個人でできることや社会全体でとれる方策を提案する。

2017:12./ 4p,469p,5p

978-4-326-29925-6

本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2018/03/04



テクノロジー・スタートアップが未来を創る～テック起業家をめざせ～

鎌田 富久 著

東京大学出版会

東京大学の人気講座・アントレプレナー道場の講師であり、エンジェル投資家でもある著者が、豊富な経験をもとに、大学発イノベーションの創出、スタートアップ流モノづくり、起業家への道などを指南する。

2017:12./ 12p,252p

978-4-13-043040-1

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/03/04



オリンピック秘史～120 年の覇権と利権～

ジュールズ・ボイコフ、中島 由華 著

早川書房

オリンピックが、真の「平和の祭典」にいたる道は? 各国の為政者、IOC、テロ組織、地元住民らの思惑が複雑に絡み合う「覇権闘争」の全貌を描き出す。運営費や利権構造など昨今の課題を論じる「日本語版増補」も収録。

2018:1./ 333p

978-4-15-209741-5

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/03/04



読むパンダ

黒柳 徹子、日本ペンクラブ 編

黒柳 徹子 著

白水社

浅田次郎、ヒガアロハ、高畑勲…。各界のパンダファン&歴代の飼育担当者による、パンダを知り、楽しむエッセイ 22 篇を収録する。シャンシャン出産秘話を語った黒柳徹子×土居利光×廣田敦司の座談会も掲載。

2018:1./ 246p

978-4-560-09595-9

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/03/04



イサム・ノグチ庭の芸術への旅

新見 隆 著

武蔵野美術大学出版局

20 世紀きっての現代彫刻家イサム・ノグチ。彼の生涯と作品を考えるうえで、「庭」というキーワードは、特権的でもっとも深い意味をもっている。彼の庭の作品群をめぐり、その思いを今日の芸術状況に位置づける。

2017:12./ 327p

978-4-86463-064-1

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2018/03/04



夏フェス革命～音楽が変わる、社会が変わる～

レジー 著

垣内出版

ロック・イン・ジャパン・フェスティバルの仕組みを分析して見えてきたユーザー主導の消費スタイルは、社会の未来をどう映しているのか。長年、フェスに通い続ける著者が、最新のエンタメビジネスを論じる。

2017:12./ 252p

978-4-7734-0505-7

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/03/04



倭の五王～王位継承と五世紀の東アジア～(中公新書 2470)

河内 春人 著

中央公論新社

中国へ使者を派遣した倭の五王。中国への“接近”の意図や状況、倭国内の不安定な王権や文化レベル、「古事記」「日本書紀」における天皇との関係などを中国史書から解説。5 世紀の倭や東アジアの実態を描く。

2018:1./ 5p,246p

978-4-12-102470-1

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2018/03/04



夜ふかしするほど面白い「月の話」(PHP 文庫 て 13-1)

寺菌 淳也 著

PHP研究所

地球から最も近い天体にもかかわらず、未解明な部分も多く、謎が尽きない「月」。日食と月の関係、表側と裏側の違い、月に行く費用など、月に関する疑問に Q&A で答える。最新研究も紹介する。

2018:1./ 251p

978-4-569-76775-8

本体 ¥680+税



日本経済新聞 2018/03/04



日本経済入門(日経文庫 1385)

藤井 彰夫 著

日本経済新聞出版社

取材歴 30 年以上のベテラン記者が、平成の 30 年間における日本経済のダイナミックな変化を、難しい数式や経済理論を用いず、平易な言葉で解説。金融、産業、財政、国際関係など経済の仕組みをバランスよく学べる。

2018:1./ 209p

978-4-532-11385-8

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2018/03/04



君主論 新版(中公文庫 マ2-4)

マキアヴェリ 著

中央公論新社

「人はただ結果だけで見てしまう」「愛されるより恐れられるほうが、はるかに安全である」…。目的のためには手段を選ばない権謀術数の書とレッテルを貼られ、「マキアヴェリズム」という言葉を生んだ古典的名著。

日本経済新聞 2018/03/04

2018:2./ 267p

978-4-12-206546-8

本体 ¥800+税



竹林精舎

玄侑 宗久 著

朝日新聞出版

恋の悩みを抱えたまま、被災地の寺に入った新米僧侶の懊悩と逡巡。ブッダの弟子になった気弱で明るい青年は、仲間と共にフクシマでどう生きるのか。福島県に住む僧侶作家が7年を経て放つ書き下ろし長篇。

日本経済新聞 2018/03/04、読売新聞 2018/03/11

2018:1./ 309p

978-4-02-251513-1

本体 ¥1,800+税



伴走者

浅生 鴨 著

講談社

「速いが勝てない」と言われ続けた淡島は伴走者として、勝利に食欲で傲慢な視覚障害者ランナーの内田と組むことになり…。自分ではなく他人のために勝利を目指す伴走者の戦いを描く。『群像』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

日本経済新聞 2018/03/04、読売新聞 2018/03/18

2018:2./ 250p

978-4-06-220954-0

本体 ¥1,400+税



宮本武蔵<8>(新潮文庫 よ-3-18)

吉川 英治 著

新潮社

己の剣の道を必死に磨き続けてきた武蔵がお通との思いを確かめ合ったのは、因縁の相手・佐々木小次郎との決戦間際だった。待ち受けるは勝利か死の府か。武蔵は小次郎の待つ巖流島へ向かう! 最終巻。

日本経済新聞 2018/03/04、日本経済新聞 2018/03/17

2013:9./ 474p

978-4-10-115468-8

本体 ¥590+税



イスラーム主義～もう一つの近代を構想する～(岩波新書 新赤版 1698)

末近 浩太 著

岩波書店

イスラームの教えを政治に反映させようとするイスラーム主義。オスマン帝国崩壊後「あるべき秩序」の模索が今も続く中東で、イスラーム主義が果たしてきた役割とは。その実像に迫る。

日本経済新聞 2018/03/04、毎日新聞 2018/03/11

2018:1./ 16p,222p,12p

978-4-00-431698-5

本体 ¥840+税



AI vs.教科書が読めない子どもたち

新井 紀子 著

東洋経済新報社

気鋭の数学者が AI の誤解や限界を示す一方で、大規模な調査の結果わかった日本人の読解力の低下を指摘。AI 化が進んだ未来の行き着く先の最悪のシナリオと教育への提言を導き出す。

日本経済新聞 2018/03/04、毎日新聞 2018/03/18

2018:2./ 287p

978-4-492-76239-4

本体 ¥1,500+税





オリエンタリズム<上>(平凡社ライブラリー)

エドワード・W. サイド 著

平凡社

0

日本経済新聞 2018/03/10

1993:6./ 456p

978-4-582-76011-8

本体 ¥1,553+税



* 9 7 8 4 5 8 2 7 6 0 1 1 8 *



オリエンタリズム<下>(平凡社ライブラリー)

エドワード・W. サイド 著

平凡社

0

日本経済新聞 2018/03/10

1993:6./ 474p

978-4-582-76012-5

本体 ¥1,553+税



* 9 7 8 4 5 8 2 7 6 0 1 2 5 *



美術の物語

E.H. ゴンブリッチ 著

ファイドン

原始の洞窟壁画から現代の実験的な芸術にいたる、美術の全体を論じた入門書。色々な名前や時代や様式がわかりやすく整理できるように工夫し、物語としての美術史を目に見えるように描き出す。

日本経済新聞 2018/03/10

2011:10./ 1,046p

978-4-86441-006-9

本体 ¥2,100+税



* 9 7 8 4 8 6 4 4 1 0 0 6 9 *



日本語笑いの技法辞典

中村 明 著

岩波書店

笑いを誘発する日本語の発想と表現の全体像をとらえ、それを 12 類 287 種に分類整理した笑辞典。文学作品、読み物、落語や漫才、笑話集などから例を採集・分析し、言語表現における<おかしみ>のありかを探る。

日本経済新聞 2018/03/10

2017:11./

13p,630p,21p

978-4-00-080320-5

本体 ¥3,400+税



* 9 7 8 4 0 0 0 8 0 3 2 0 5 *



年金制度の展望～改革への課題と論点～

坪野 剛司、年金総合研究所 編

坪野 剛司 著

東洋経済新報社

信頼性が著しく低い状況が続く年金制度は、どこに誤解があるのか。経済学・財政学・法学・年金数理・会計学・運用理論などの知識を融合し、日本の公的年金・企業年金の課題を分析し、将来を展望する。

日本経済新聞 2018/03/10

2017:12./ 15p,310p

978-4-492-70147-8

本体 ¥3,800+税



* 9 7 8 4 4 9 2 7 0 1 4 7 8 *



ポスト・オリエンタリズム～テロの時代における知と権力～

ハミッド・ダバシ、早尾 貴紀、本橋 哲也、洪 貴義、本山 謙二 著

作品社

サイドが「オリエンタリズム」で提起した思想や“ポストコロニアリズム”を超えて、混迷を深めるイスラーム世界と欧米の関係を、新たな歴史的視座で分析する。

日本経済新聞 2018/03/10

2017:12./ 376p

978-4-86182-675-7

本体 ¥3,400+税



* 9 7 8 4 8 6 1 8 2 6 7 5 7 *



ファンダム・レボリューション～SNS 時代の新たな熱狂～

ゾーイ・ブラード＝ブラナー、アーロン・M.グレイザー、関 美和 著

早川書房

ビジネスの成功は、いまやファンダム(熱狂者たち)といかに良好な関係を築けるかにかかっている。炎上を回避し、彼らが求める「最高の体験」を生み出すための戦略を、あらゆる業界・業種で活かせる具体例とともに紹介する。

日本経済新聞 2018/03/10

2017:12./ 296p

978-4-15-209733-0

本体 ¥1,700+税



ミレニアム<5[上]> 復讐の炎を吐く女

ダヴィド・ラーゲルクラント、ヘレンハルメ美穂、久山 葉子 著

早川書房

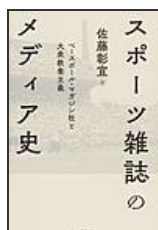
人工知能研究の世界的権威バルデルの息子の命を救ったときに取った行動が違法行為にあたり、女子刑務所に収容されたリスベット。そこで彼女は、囚人はおろか看守までも支配するベニートとの対決を決意して…。

日本経済新聞 2018/03/10

2017:12./ 299p

978-4-15-209734-7

本体 ¥1,500+税



スポーツ雑誌のメディア史～ベースボール・マガジン社と大衆教養主義～

佐藤 彰宣 著

勉誠出版

戦後初期のスポーツ雑誌には、「高尚さ」や「教養」を語る編集者や読者の声が少ないから存在する。1970 年までのベースボール・マガジン社の雑誌出版を事例に、スポーツ雑誌と「教養」が結びついた社会のあり様を解明する。

日本経済新聞 2018/03/10

2018:1./ 296p,7p

978-4-585-23060-1

本体 ¥3,200+税



「未解」のアフリカ～欺瞞のヨーロッパ史観～

石川 薫、小浜 裕久 著

勁草書房

私たちは「アフリカ」を知っているのか。従来のヨーロッパ史観に慣れ親しんだ日本人のアフリカ観を根底からひっくり返し、国家や奴隷、宗教、言語、教育、病、女性、農業など、本物のアフリカを語る。

日本経済新聞 2018/03/10

2018:1./ 12p,343p,35p

978-4-326-24847-6

本体 ¥3,200+税



AIに心は宿るのか(インターナショナル新書 022)

松原 仁 著

集英社インターナショナル

独創的な物語を紡ぎ、絵を描き、プロ棋士を凌駕する知能すら獲得した AI が、アトムのように「心」を宿す日は来るのか? 長年に渡り汎用人工知能の研究を続ける著者が、AI と人類の未来を予見する。羽生善治との対談も収録。

日本経済新聞 2018/03/10

2018:2./ 168p

978-4-7976-8022-5

本体 ¥700+税



世界を変えた暦の歴史(PHP 文庫 た 105-1)

谷岡 一郎 著

PHP研究所

暦がいかに社会と知を構築し、変化させ、発展させてきたのか。社会誕生のプロセスに焦点を当てて、暦の影響力を考察する。暦を出発点とする「ゲームボード」の話を経ったコラムも収録。

日本経済新聞 2018/03/10

2018:1./ 253p

978-4-569-76782-6

本体 ¥680+税





ファンベース～支持され、愛され、長く売れ続けるために～(ちくま新書 1305)

佐藤 尚之 著
筑摩書房

「ファンベース」とは、ファンを大切に、ファンをベースにして、中長期的に売上や価値を上げていくマーケティングの考え方。その重要性和効果的な運用方法を、豊富なデータや事例を挙げて具体的に紹介する。

日本経済新聞 2018/03/10

2018:2./ 278p
978-4-480-07127-9
本体 ¥880+税



映画のキャッチコピー学(映画秘宝セレクション)

樋口 尚文 著
洋泉社

手を変え品を変え、常に新鮮な衝撃を求め続ける、映画特有のキャッチコピー。1920 年前後から現在にいたるまでの映画宣伝の惹句、キャッチフレーズをその手法や切り口でまとめ、映画の本質や時代背景に迫る。

日本経済新聞 2018/03/10

2018:1./ 303p
978-4-8003-1405-5
本体 ¥1,600+税



創造&老年～横尾忠則と9人の生涯現役クリエイターによる対談集～

横尾 忠則、瀬戸内 寂聴 著
SBクリエイティブ

絵を描くことと、生命というものが、どこかでひとつながりになっている。その感覚を確かめるために、80 歳以上の現役クリエイターを訪ね歩いた。瀬戸内寂聴、磯崎新、佐藤愛子、山田洋次ら 9 人のクリエイターとの対話集。

日本経済新聞 2018/03/10

2018:1./ 361p
978-4-7973-8464-2
本体 ¥2,000+税



家と庭と犬とねこ(河出文庫 い 41-1)

石井 桃子 著
河出書房新社

季節のうつろい、子ども時代の思い出、戦後すぐの東北での開墾生活、一緒に暮らした犬やねこのこと…。日々のできごとを生き活きと、女性らしい細やかな筆致で綴る、作家・翻訳家、石井桃子の生活随筆集。

日本経済新聞 2018/03/10

2018:2./ 250p
978-4-309-41591-8
本体 ¥680+税



応援される会社～熱いファンがつく仕組みづくり～(光文社新書 926)

新井 範子、山川 悟 著
光文社

単なる消費者ではなく能動的な「応援者」を増やすことが、生涯顧客価値を高めていく。費用 4000 万円をファンが集めた SMAP 応援広告など、熱いファンによって支えられる国内外の事例をもとに、「応援経済」をひもとく。

日本経済新聞 2018/03/10

2018:1./ 209p
978-4-334-04332-2
本体 ¥780+税



プロ野球と鉄道～新幹線開業で大きく変わったプロ野球～(交通新聞社新書 121)

田中 正恭 著
交通新聞社

黎明期から現在までのプロ野球と鉄道の関わりについて、各種資料を検証・考察。往時のスター選手たちが語るエピソード、昭和の遠征事情、鉄道会社のプロ野球チームなど、さまざまな視点から、その深いつながりを紹介する。

日本経済新聞 2018/03/10

2018:2./ 255p
978-4-330-86318-4
本体 ¥800+税





大予測 次に来るキーテクノロジー<2018-2019>

城田 真琴 著

日本経済新聞出版社

AI はホワイトカラー業務をこなせるのか? 自動運転は自動車と社会をどう変えるのか? 「次に来るキーテクノロジー」として、8 つの技術や技術発のソリューションを、国内外の先行事例とともに解説する。

日本経済新聞 2018/03/10

2018:1./ 349p

978-4-532-32194-9

本体 ¥1,600+税



ウルフ・ボーイズ～二人のアメリカ人少年とメキシコで最も危険な麻薬カルテル～

ダン・スレーター、堀江 里美 著

青土社

成績優秀で人気者だった 15 歳のガブリエルと幼馴染のバートは、なぜか冷酷な暗殺者になったのか。貧困と暴力が蔓延するアメリカとメキシコ国境地帯の闇を、徹底的な調査によって活写した犯罪ドキュメント。

日本経済新聞 2018/03/10

2018:2./ 405p

978-4-7917-7050-2

本体 ¥2,400+税



遠ざけの法則～万人受けを狙わない熱狂的なファンのつくり方～

中山 マコト 著

プレジデント社

辛さを売りにしている「蒙古タンメン中本」の看板はなぜ、真っ赤なのか…。万人受けを狙わず、本当に選ばれたい顧客にだけ選んでもらえるビジネスモデルを確立するための、発想転換のヒントが満載。

日本経済新聞 2018/03/10

2018:2./ 213p

978-4-8334-2263-5

本体 ¥1,300+税



津波の霊たち～3・11 死と生の物語～

リチャード・ロイド・パリー、濱野 大道 著

早川書房

在日 20 年の英国人ジャーナリストは、東日本大震災発生直後から被災地に通い続け、宮城県石巻市立大川小学校の事故の遺族たちと出会う。取材は相次ぐ「幽霊」の目撃情報と重なり。「黒い迷宮」の著者による迫真のルポ。

日本経済新聞 2018/03/10、東京・中日新聞 2018/03/11、朝日新聞 2018/03/11、読売新聞 2018/03/11

2018:1./ 328p

978-4-15-209742-2

本体 ¥1,800+税



消えたベラスケス

ローラ・カミング、五十嵐 加奈子 著

柏書房

19 世紀、英国の書店主が出会ったのは、スペインの宮廷画家ベラスケスによる幻の一枚の絵。たった数ポンドのキャンバスが、男の人生をくるわせてゆき…。絵とともに流浪した、ひとりの男のノンフィクション・ストーリー。

日本経済新聞 2018/03/10、読売新聞 2018/03/18、産経新聞 2018/03/25

2018:1./ 368p

978-4-7601-4973-5

本体 ¥2,500+税



「親米」日本の誕生(角川選書 597)

森 正人 著

KADOKAWA

第二次世界大戦で敗戦国となった日本は、アメリカへの憧れと反発を同時に抱いて発展してきた。雑誌の記事や広告、教科書、歌、テレビ CD、ドラマなどを読み解き、象徴的な表象文化の分析から対米感情の歴史をたどる。

日本経済新聞 2018/03/10、読売新聞 2018/03/25

2018:1./ 250p

978-4-04-703609-3

本体 ¥1,700+税





新選組血風録(角川文庫)

司馬 遼太郎 著

角川書店

0

日本経済新聞 2018/03/17

2003:11./ 635p

978-4-04-129007-1

本体 ¥880+税



* 9 7 8 4 0 4 1 2 9 0 0 7 1 *



課長島耕作<vol.17> 新装版(モーニング KC)

弘兼憲史 著

講談社

0

日本経済新聞 2018/03/17

2008:6./ 221p

978-4-06-372705-0

本体 ¥552+税



* 9 7 8 4 0 6 3 7 2 7 0 5 0 *



ロミオとジュリエット(白水 U ブックス)

ウィリアム・シェークスピア 著

白水社

0

日本経済新聞 2018/03/17

1983:10./ 226p

978-4-560-07010-9

本体 ¥900+税



* 9 7 8 4 5 6 0 0 7 0 1 0 9 *



砂の子ども

タハール・ベン・ジェルーン 著

紀伊國屋書店

0

日本経済新聞 2018/03/17

1996:6./ 214p

978-4-314-00730-6

本体 ¥2,136+税



* 9 7 8 4 3 1 4 0 0 7 3 0 6 *



気狂いモハ、賢人モハ(シリーズ<越境の文学/文学の越境>)

タハール・ベン・ジェルーン 著

現代企画室

0

日本経済新聞 2018/03/17

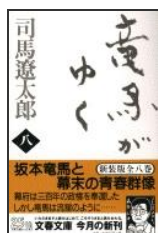
1996:7./ 196p

978-4-7738-9606-0

本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 7 7 3 8 9 6 0 6 0 *



竜馬がゆく<8>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

0

日本経済新聞 2018/03/17

1998:10./ 441p

978-4-16-710574-7

本体 ¥700+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 7 4 7 *



古寺巡礼 初版(ちくま学芸文庫 W 15-1)

和辻 哲郎 著

筑摩書房

法華寺十一面観音や、薬師寺吉祥天女、法隆寺金堂壁画など、仏教美術の至宝を紹介し、読者を魅了し続ける「古寺巡礼」。生な感動と純粋な情熱があふれるオリジナルの初版を復刻。現行版との異同を詳しく検証した解説も収録。

日本経済新聞 2018/03/17

2012:4./ 316p

978-4-480-09454-4

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 9 4 5 4 4 *



武士道～侍社会の文化と倫理～

笠谷 和比古 著

NTT出版

武士が現実に活動していた社会に存在していた人々が「武士道」という言葉によって表現されるものをどのように認識し、またその言葉によってどのような行動様態がその社会に現出していたかを分析。武士道概念の実態を究明する。

日本経済新聞 2018/03/17

2014:2./ 9p,174p

978-4-7571-4322-7

本体 ¥2,800+税



指導者の条件(PHP ビジネス新書 松下幸之助ライブラリー M02)

松下 幸之助 著

PHP研究所

松下幸之助が自らの姿勢を正すために著し、常に座右に置いた一冊。歴史上の名君、英雄、思想家、政治家らの言行から、組織やチームを率いる者のあるべき姿を、102 カ条で具体的に説く。

日本経済新聞 2018/03/17

2014:4./ 247p

978-4-569-81857-3

本体 ¥880+税



実践経営哲学～経営のコツここと気づいた価値は百万両～(PHP ビジネス新書 M05)

松下 幸之助 著

PHP研究所

対立しつつ調和すること、経営も“腹八分目”が大事…。実際の経営において経営者が身につけるべき基本の考え方や、判断のよりどころとなる経営の勘所を、松下幸之助が的確に説き明かす。

日本経済新聞 2018/03/17

2014:7./ 241p

978-4-569-82005-7

本体 ¥860+税



武士道の精神史(ちくま新書 1257)

笠谷 和比古 著

筑摩書房

侍の気構えと行動を規定してきた「武士道」は、中世に自然発生し、やがて一般の生活経済倫理にまで影響を及ぼした。「武士道」の豊かな実態の歴史を、実証主義史学の方法を用い、鮮やかに描き出し、その本質に迫る。

日本経済新聞 2018/03/17

2017:5./ 236p

978-4-480-06960-3

本体 ¥800+税



元禄六花撰

野口 武彦 著

講談社

浮世草子の創始者・井原西鶴に才能の勝負を挑んで、挑み続けてついに及ばなかった男の物語。しがたの裏長屋に住み、ひたすら観音さまを信仰して済度される男女の応報譚…。元禄の江戸を舞台にした6つの物語。

日本経済新聞 2018/03/17

2018:1./ 254p

978-4-06-220840-6

本体 ¥2,000+税



会長島耕作<9>(モーニング KC 2781)

弘兼 憲史 著

講談社

人類の進化の鍵を握る「ゲノム編集」の現状を探るべくアメリカへ飛んだ島。視察後、忘れられない女・パメラに会いに行くが残酷な現実が待ち受けていた…。TBSでドラマ化された「ハロー張りネズミ」も同時収録!

日本経済新聞 2018/03/17

2017:10./ 175p

978-4-06-510287-9

本体 ¥570+税





アマゾンが描く 2022 年の世界～すべての業界を震撼させる「ベゾスの大戦略」～(PHP ビジネス新書 387)

田中 道昭 著

PHP研究所

小売り・流通に変革をもたらしてきたアマゾン。リアル店舗への進出にとどまらず、クラウド、宇宙事業、AI、ビッグデータなどの分野へも展開するほど、勢いを増すアマゾンの戦略を、膨大な資料と独自のメソッドで読み解く。

2017.12./ 301p
978-4-569-83733-8

本体 ¥910+税



* 9 7 8 4 5 6 9 8 3 7 3 3 8 *

日本経済新聞 2018/03/17



絶滅危惧種ビジネス～量産される高級観賞魚「アロワナ」の闇～

エミリー・ボイト、矢沢 聖子 著

原書房

絶滅危惧種アロワナは、貴重な伝説の魚か、大量生産された商品か、それとも危険な外来種なのか？ 業界が口を閉ざす世界屈指の高級観賞魚の謎に著者が命をかけて迫るルポルタージュ。

2018.1./ 334p
978-4-562-05466-4

本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 5 6 2 0 5 4 6 6 4 *

日本経済新聞 2018/03/17



外地巡礼～「越境的」日本語文学論～

西 成彦 著

みすず書房

佐藤春夫からリービ英雄、温又柔へ。旧植民地・占領地のみならず北海道・沖縄から海外移住地まで、「日本語使用者が非日本語との不断の接触・隣接関係を生きるなかから成立した文学=外地の日本語文学」の問題を論じる。

2018.1./ 303p
978-4-622-08632-1

本体 ¥4,200+税



* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 6 3 2 1 *

日本経済新聞 2018/03/17



勘定奉行の江戸時代(ちくま新書 1309)

藤田 覚 著

筑摩書房

江戸幕府のもっとも重要な役人だった勘定奉行。実力があれば、内部昇進でノンキャリアでも奉行になることができた。社会・文化の変化・成熟、幕藩体制の揺らぎなど、江戸幕府の盛衰を、勘定奉行の業績や素顔から解明する。

2018.2./ 213p
978-4-480-07113-2

本体 ¥780+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 7 1 1 3 2 *

日本経済新聞 2018/03/17



海峡を渡る幽霊～李昂短篇集～

李 昂、藤井 省三 著

白水社

台湾の近代化と社会の問題を女性の視点から描いたオリジナル短篇集。実験的心理小説、二・二八事件の後日談としての政治とセックスの物語、台湾の歴史を描く幽霊物語、政治的グルメ小説など全8篇を収録する。

2018.2./ 267p
978-4-560-09599-7

本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 5 9 9 7 *

日本経済新聞 2018/03/17



物事のなぜ～原因を探る道に正解はあるか～

ピーター・ラビンズ、依田 光江 著

英治出版

古代から現代にいたるまで、人は「因果関係」をどう考えてきたのか？ 古代哲学から物理科学、カオス理論まで、先人の軌跡をたどりながら、私たちの思考の可能性と限界を問いかける。

2017.12./ 379p
978-4-86276-189-7

本体 ¥2,700+税



* 9 7 8 4 8 6 2 7 6 1 8 9 7 *

日本経済新聞 2018/03/17



リーマン・ショック～元財務官の回想録～

篠原 尚之 著

毎日新聞出版

「100 年に 1 度の金融危機」から学ぶべき教訓とは。財務省で国際関係を統括する責任者であった著者は、如何に各国政府と協調し、世界規模の金融危機に対応したのか。主に為替政策を中心にその実体験を明かす。

日本経済新聞 2018/03/17

2018:2./ 301p

978-4-620-32501-9

本体 ¥2,000+税



ロンドン・デイズ(小学館文庫 こ1-1)

鴻上 尚史 著

小学館

イギリスでの俳優教育の基本、技術を学ぶためロンドンの演劇学校に留学した 39 歳の鴻上尚史。準備は万全、のはずだったが、そこは想像を超える“英語の戦場”だった! 泣き笑い奮闘記。片桐仁との対談も収録。

日本経済新聞 2018/03/17

2018:2./ 397p

978-4-09-406490-2

本体 ¥690+税



子規居士の周囲(岩波文庫 31-106-6)

柴田 宵曲 著

岩波書店

子規に深く傾倒した著者が、子規とその門人、知人との交流を誠意を込めてまとめた「子規居士の周囲」を収録。さらに「子規居士の周囲」に採り上げなかった八家に及んだ「明治俳壇の人々」も併載。

日本経済新聞 2018/03/17

2018:2./ 434p

978-4-00-311066-9

本体 ¥950+税



ダダイズム～世界をつなぐ芸術運動～(岩波現代全書 112)

塚原 史 著

岩波書店

第一次大戦の最中チューリッヒで始まった芸術運動「ダダ」。パリ、ニューヨーク、東欧、日本へと展開していくダダイズムの広がりをつなぐをグローバルな視点で捉えなおし、その多様性と越境性、現代性を再考する。

日本経済新聞 2018/03/17

2018:2./ 13p,272p,8p

978-4-00-029212-2

本体 ¥2,300+税



平和をつくるを仕事にする(ちくまプリマー新書 295)

鬼丸 昌也 著

筑摩書房

世界の平和を目指すとはどういうことか。テラ・ルネッサンスという NGO を設立した著者が、地雷や子ども兵といった紛争によっておこる悲しい現実から、それらの課題を生み出している背景までを紹介する。

日本経済新聞 2018/03/17

2018:3./ 167p

978-4-480-68320-5

本体 ¥780+税



気象で見直す日本史の合戦(歴史新書)

松嶋 憲昭 著

洋泉社

雨が降らなければ信長は負けていた? 天気を手掛かりに、桶狭間の戦いや関ヶ原の戦いを検証。当日の気象データと歴史資料を合わせることで、合戦の意外な真相を解き明かす。

日本経済新聞 2018/03/17

2018:3./ 267p

978-4-8003-1439-0

本体 ¥950+税





ドーナツ経済学が世界を救う～人類と地球のためのパラダイムシフト～

ケイト・ラワース、黒輪 篤嗣 著

河出書房新社

従来の経済学では世界を救えない！国内総生産(GDP)の成長に依存せずに、貧困問題や環境問題を解決しつつ、豊かで幸福な社会を構築するためには。21世紀の経済学者にふさわしい7つの思考法を提案する。

2018:2./ 390p

978-4-309-24848-6

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/03/17、朝日新聞 2018/03/18



日本人は知らない中国セブ消費(日経プレミアシリーズ 365)

袁 静 著

日本経済新聞出版社

洗練された服装で、静かに旅する中国人訪日客が増えている。日本人と同等かそれ以上の収入がある彼ら「プチ富裕層」はどんな商品、サービスを求めているのか。中国の新階層の実態と消費のツボに迫る。

2018:2./ 254p

978-4-532-26365-2

本体 ¥850+税



日本経済新聞 2018/03/17、朝日新聞 2018/03/18、毎日新聞 2018/03/25



『蝶々夫人』と日露戦争～大山久子の知られざる生涯～

萩谷 由喜子 著

中央公論新社

プッチーニに日本の心を教えた妻と、日露戦争情報戦を操る夫。近代日本の発展を導いた外交官・大山綱介とその妻・久子の功績を、ヴィヴィッドな筆致で紹介する。

2018:2./ 254p

978-4-12-005052-7

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/03/17、読売新聞 2018/03/25



春にして君を離れ(ハヤカワ文庫)

アガサ・クリスティー 著

早川書房

0

2004:4./ 331p

978-4-15-130081-3

本体 ¥680+税



日本経済新聞 2018/03/24



沈黙 改版(新潮文庫)

遠藤 周作 著

新潮社

神の存在、背教の心理、西洋と日本の思想的断絶など、キリスト信仰の根源的な問題を衝き、〈神の沈黙〉という永遠の主題に切実な問いを投げかける長編。

2003:5./ 312p

978-4-10-112315-8

本体 ¥550+税



日本経済新聞 2018/03/24



言葉の海へ(新潮文庫 た-27-1)

高田 宏 著

新潮社

0

1984:2./ 346p

978-4-10-133301-4

本体 ¥590+税



日本経済新聞 2018/03/24



茶色の服の男 新訳版(ハヤカワ文庫 72)

アガサ・クリスティー 著

早川書房

0

2011:5./ 518p

978-4-15-131072-0

本体 ¥940+税



日本経済新聞 2018/03/24



結婚と家族のこれから～共働き社会の限界～(光文社新書 824)

筒井 淳也 著

光文社

結婚と家族はこれからどうなっていくのか。「家」の成立過程と歩みを振り返りながら、経済、雇用、家事・育児、世帯所得格差といった現代の諸問題を社会学の視点で分析し、＜結婚と家族の未来のかたち＞について考察する。

2016:6./ 260p

978-4-334-03927-1

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2018/03/24



男ともだち(文春文庫 ち 8-1)

千早 茜 著

文藝春秋

関係のさめた恋人と同棲しながら医者 の 彼氏 と 危険な逢引。仕事は順調、でも何か足りない。そのとき、京都在住イラストレーター 神名 葵 29 歳の日常に、軽快な懐かしい 闊入者 が 現れた...

2017:3./ 317p

978-4-16-790807-2

本体 ¥680+税



日本経済新聞 2018/03/24



働き方の男女不平等 理論と実証分析

山口 一男 著

日本経済新聞出版社

日本では女性の高学歴化や社会進出でかえって不平等が拡大するパラドックスを、ルービンの因果推論など最新分析手法で解明。男女の所得や管理職割合の格差、統計的差別の不合理性などを分析する。

2017:5./ 269p

978-4-532-13471-6

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2018/03/24



全体主義の起原<1> 新版 反ユダヤ主義

ハンナ・アーレント、大久保 和郎 著

みすず書房

国家や法という伝統、さらには人間の本質まで破壊した全体主義への道筋とシステムを描いた 20 世紀の記念碑的大著。最新の研究を反映させた新版。原著初版刊行時の著者の「初版まえがき」を新たに収録。

2017:8./ 31p,295p,27p

978-4-622-08625-3

本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2018/03/24



砂上

桜木 紫乃 著

KADOKAWA

北海道で暮らす令央は、作家になる夢を持ちながら、数万円の月収と元夫からの慰謝料で細々と暮らしていた。40 代に突入したある日、冷徹な編集者が現れ、令央は母のある秘密を書く決意をする。『本の旅人』掲載を加筆し書籍化。

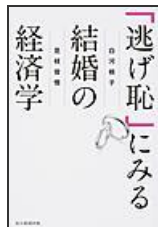
2017:9./ 220p

978-4-04-104600-5

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/03/24



「逃げ恥」にみる結婚の経済学

白河 桃子、是枝 俊悟 著

毎日新聞出版

年収 600 万円未満の夫は専業主婦の妻に「好きの搾取」をしている!? 婚活ブームの生みの親とイクメン・エコノミストが、ドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」を通して、現代日本の結婚・お金・夫婦の形を語る。

2017:10./ 235p

978-4-620-32477-7

本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2018/03/24



小水力発電が地域を救う～日本を明るくする広大なフロンティア～

中島 大 著

東洋経済新報社

小水力発電の可能性のある場所を開発すれば、山間地は電力の面で自立できる。山村を活性化し、人々を元気にする小水力発電について解説するとともに、その具体的なイメージや成功のコツがわかる様々な実例を紹介する。

2018:1./ 189p

978-4-492-76238-7

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/03/24



ゲイカップルのワークライフバランス～男性同性愛者のパートナー関係・親密性・生活～

神谷 悠介 著

新曜社

同居するゲイカップルのパートナー関係、親密性、仕事と生活に注目し、インタビュー調査からゲイカップルの語りをていねいに記述。セクシュアル・マイノリティの婚姻に基づかない多様な関係性を探求する。

2017:11./ 5p,206p

978-4-7885-1538-3

本体 ¥2,900+税



日本経済新聞 2018/03/24



「家事のしすぎ」が日本を滅ぼす(光文社新書 917)

佐光 紀子 著

光文社

「手づくりの食卓」「片付いた部屋」...。「きちんと家事」への憧れと呪縛が日本人を苦しめる。多くの聞き取りや国際比較を参照しながら、気楽な家事とのつきあいを提案する。

2017:11./ 242p

978-4-334-04323-0

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2018/03/24



ガンディー～平和を紡ぐ人～(岩波新書 新赤版 1699)

竹中 千春 著

岩波書店

誰が平和をつくるのか。その人はどこから来るのか。非暴力不服従により社会を民衆の側から変革しようとしたガンディーの人生を辿り、その答えを探す。マハートマ(偉大なる魂)と呼ばれた人の熱き評伝。

2018:1./ 11p,226p,4p

978-4-00-431699-2

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2018/03/24



ナイルパーチの女子会(文春文庫 ゆ 9-3)

柚木 麻子 著

文藝春秋

商社で働く栄利子は、主婦ブロガーの翔子と意気投合。だが他人との距離感をうまくつかめない栄利子はやがて翔子に拒否され、悩みを相談した同僚の男と寝たことが彼の婚約者にばれてしまう。一方、翔子も実家に問題を抱え...

2018:2./ 403p

978-4-16-791012-9

本体 ¥750+税



日本経済新聞 2018/03/24



潜伏キリシタンは何を信じていたのか

宮崎 賢太郎 著

KADOKAWA

江戸初期から明治国家誕生まで、命がけで信仰を守り通したとされる潜伏キリシタン。しかし彼らはキリスト教の三位一体の意味を理解できたのだろうか。キリシタン=「夢とロマン」の幻想を覆し、日本民衆の宗教観を紐解く。

日本経済新聞 2018/03/24

2018:2./ 293p

978-4-04-400345-6

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 0 4 4 0 0 3 4 5 6 *



多様化する日本人の働き方～非正規・女性・高齢者の活躍の場を探る～

山本 勲 編

慶應義塾大学出版会

ダイバーシティ経営は日本の労働市場で実践されているか、また実践するためには何を改善するべきなのか。「非正規雇用・貧困」「女性の就業・出産・育児」「定年・引退前後の高齢者の就業・健康」を切り口に多角的に分析する。

日本経済新聞 2018/03/24

2018:1./ 11p,266p

978-4-7664-2494-2

本体 ¥4,200+税



* 9 7 8 4 7 6 6 4 2 4 9 4 2 *



オリンピックと万博～巨大イベントのデザイン史～(ちくま新書 1308)

暮沢 剛巳 著

筑摩書房

デザインは国家戦略なのか。戦後に「デザイン」という概念が定着していく過程から説き起こし、五輪と万博という巨大国家プロジェクトのデザインと、そこに貢献した丹下健三、亀倉雄策らの群像を追う。

日本経済新聞 2018/03/24

2018:2./ 270p

978-4-480-07116-3

本体 ¥860+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 7 1 1 6 3 *



童謡の百年～なぜ「心のふるさと」になったのか～(筑摩選書 0157)

井手口 彰典 著

筑摩書房

童謡や唱歌は、誕生した当初からずっと「日本人の心のふるさと」であり続けてきたのか？ 時代や社会の変化で、童謡がどう歌われ消費されてきたのかを辿り、童謡がまとう権威の正体を明らかにする。

日本経済新聞 2018/03/24

2018:2./ 309p

978-4-480-01664-5

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 1 6 6 4 5 *



未完の巡礼～冒険者たちへのオマージュ～

神長 幹雄 著

山と溪谷社

長い編集者生活で会った、忘れがたい冒険者たち。植村直己、長谷川恒男、星野道夫ら志半ばでヒマラヤや極地に逝った 6 人の登山家や冒険家、写真家の実績を、現地に訪ねて綴った邂逅の記録。『山と溪谷』掲載を大幅加筆。

日本経済新聞 2018/03/24

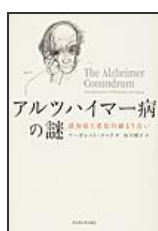
2018:2./ 301p

978-4-635-17822-8

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 6 3 5 1 7 8 2 2 8 *



アルツハイマー病の謎～認知症と老化の絡まり合い～

マーガレット・ロック、坂川 雅子 著

名古屋大学出版会

認知症になった身内の世話をする家族に課せられる負担を、社会的負担という側面から明らかにし、世界中の認知症患者に対応する際の政治的・文化的問題を提示する。社会の高齢化にともなう不可避の謎と向き合う視座を与える書。

日本経済新聞 2018/03/24

2018:2./ 7p,376p,75p

978-4-8158-0897-6

本体 ¥4,500+税



* 9 7 8 4 8 1 5 8 0 8 9 7 6 *



政治の約束(ちくま学芸文庫 ア 7-5)

ジェローム・コーン 編

ハンナ・アレント 著

筑摩書房

ソクラテスからマルクスにいたるまでの政治思想の変遷を検証。絶滅戦争がリアルな可能性の問題となり始めた 1950 年代の時代状況を背景に、政治の意味を論じる。「全体主義の起原」以降の思索の全軌跡。

2018:3./ 412p

978-4-480-09849-8

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 9 8 4 9 8 *

日本経済新聞 2018/03/24



ハリウッド映画と聖書

アデル・ラインハルト、栗原 詩子 著

みすず書房

戦争、公民権運動、テロ攻撃、環境問題...ハリウッド映画は聖書を使いながら、様々な時と場所の中に時代の関心や恐れ、希望を投影してきた。聖書学者が聖書学と映画学を統合し、アメリカ文化の底流にあるものを読み解く。

2018:2./ 430p,29p

978-4-622-08677-2

本体 ¥4,800+税



* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 6 7 7 2 *

日本経済新聞 2018/03/24



定年入門～イキイキしなくちゃダメですか～

高橋 秀実 著

ポプラ社

定年とは無縁なノンフィクション作家が、定年を迎えた人々に会いに行ってみたら...。彼ら取材し、「定年のナゾ」を解き明かす。『WEB asta*』連載に加筆し単行本化。

2018:3./ 284p

978-4-591-15837-1

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 5 9 1 1 5 8 3 7 1 *

日本経済新聞 2018/03/24



世界最先端のマーケティング～顧客とつながる企業のチャネルシフト戦略～

奥谷 孝司、岩井 琢磨 著

日経BP社

アマゾンとはなゼリアル店舗を展開するのか? チャネルシフトという戦い方について、実践的かつ多角的に解説し、3 つのフレームワークと最新理論で、これからの戦い方を捉える。

2018:2./ 254p

978-4-8222-5558-9

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 8 2 2 2 5 5 5 8 9 *

日本経済新聞 2018/03/24



英国公文書の世界史～一次資料の宝石箱～(中公新書ラクレ 613)

小林 恭子 著

中央公論新社

米国独立宣言のポスター、シェイクスピアの遺言書、チャーチルの手書きメモ、ビートルズの来日報告書...。中世から現代までの膨大な歴史資料を網羅する英国国立公文書館に収蔵されている文書の、誕生経緯を解き明かす。

2018:3./ 284p

978-4-12-150613-9

本体 ¥880+税



* 9 7 8 4 1 2 1 5 0 6 1 3 9 *

日本経済新聞 2018/03/24



理科系の読書術～インプットからアウトプットまでの 28 のヒント～(中公新書 2480)

鎌田 浩毅 著

中央公論新社

「最後まで読まなくていい」「アウトプットを優先し不要な本は読まない」...。読書が苦手な人でも仕事や勉強を効率よく進めることができるヒントが満載。文系の人にもおすすめの、理科系の合理的な読書術を伝授する。

2018:3./ 8p,203p

978-4-12-102480-0

本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 4 8 0 0 *

日本経済新聞 2018/03/24



薔薇の名前<上>

ウンベルト・エーコ 著
東京創元社
0

日本経済新聞 2018/03/31

1990:1./ 413p
978-4-488-01351-6
本体 ¥2,300+税



* 9 7 8 4 4 8 8 0 1 3 5 1 6 *



薔薇の名前<下>

ウンベルト・エーコ 著
東京創元社
0

日本経済新聞 2018/03/31

1990:1./ 426p
978-4-488-01352-3
本体 ¥2,300+税



* 9 7 8 4 4 8 8 0 1 3 5 2 3 *



古文書返却の旅～戦後史学史の一齣～(中公新書)

網野 善彦 著
中央公論新社
0

日本経済新聞 2018/03/31

1999:10./ 199p
978-4-12-101503-7
本体 ¥720+税



* 9 7 8 4 1 2 1 0 1 5 0 3 7 *



女王ロアーナ、神秘の炎<上>

ウンベルト・エーコ、和田 忠彦 著
岩波書店

「あなたお名前は?」記憶喪失から自分を取り戻せるのか。取り戻したとしてそれは本当に自分なのか? エーコの赤裸々な妄想と姿態を晒す超・小説。戦中戦後のイタリア文化史を回顧するかのように図版を満載した異色の本。

日本経済新聞 2018/03/31

2018:1./ 286p
978-4-00-025930-9
本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 0 0 0 2 5 9 3 0 9 *



女王ロアーナ、神秘の炎<下>

ウンベルト・エーコ、和田 忠彦 著
岩波書店

霧に隠された「流れた時間」を奪取すべく、僕は子ども時代を過ごした田舎の家の屋根裏に潜入するが…。エーコの赤裸々な妄想と姿態を晒す超・小説。戦中戦後のイタリア文化史を回顧するかのように図版を満載した異色の本。

日本経済新聞 2018/03/31

2018:1./ 281p
978-4-00-025931-6
本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 0 0 0 2 5 9 3 1 6 *



核戦争の瀬戸際で

ウィリアム・J.ペリー、松谷 基和 著
東京堂出版

核戦争の危機は、冷戦終結とともに消滅したわけではない。60年代のキューバ危機、90年代の北朝鮮危機に深く関与した元アメリカ国防長官が、安穩と暮らす我々へ警鐘を鳴らす。

日本経済新聞 2018/03/31

2018:1./ 318p
978-4-490-20978-5
本体 ¥2,500+税



* 9 7 8 4 4 9 0 2 0 9 7 8 5 *





復興の空間経済学～人口減少時代の地域再生～

藤田 昌久、浜口 伸明、亀山 嘉大 著

日本経済新聞出版社

三陸沿岸部の復興には、どのようなメカニズムが必要なのか？ 人口減少時代における国土づくりと大規模災害からの被災地の復興政策を中心テーマに、日本の重要課題を最先端経済学「空間経済学」で分析する。

日本経済新聞 2018/03/31

2018:2./ 281p

978-4-532-13478-5

本体 ¥3,600+税



メルケルと右傾化するドイツ(光文社新書 930)

三好 範英 著

光文社

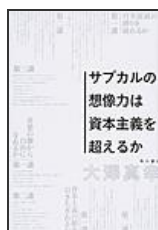
メルケルは世界の救世主か？ それとも破壊者か？ 4 選を確実にしたメルケルの生涯と業績を客観的にたどり、その強さの秘密を分析。彼女の合理主義と理想主義が結びついた振る舞いが世界の行方に与える影響を解明する。

日本経済新聞 2018/03/31

2018:2./ 316p

978-4-334-04336-0

本体 ¥840+税



サブカルは想像力は資本主義を超えるか

大澤 真幸 著

KADOKAWA

私たちは、資本主義「後」の世界を構想できるか？ 「君の名は。」 「シン・ゴジラ」等、社会現象を起こした有名作品を手がかりに現実を抉り、未来を描く。早稲田大学「近・現代ジャーナリズム論 1」の講義録に加筆し単行本化。

日本経済新聞 2018/03/31

2018:3./ 339p

978-4-04-105672-1

本体 ¥1,700+税



オスマン帝国の解体～文化世界と国民国家～(講談社学術文庫 2493)

鈴木 董 著

講談社

民族・言語・宗教を統合し、多様な人々が数世紀にわたり共存したオスマン帝国の形成と繁栄、そして解体-。イスラム世界の伝統を世界史的視点から位置づけ、現代にまでつながる民族紛争の淵源を探る。

日本経済新聞 2018/03/31

2018:3./ 249p

978-4-06-292493-1

本体 ¥950+税



庭

小山田 浩子 著

新潮社

ままならない日々を生きる人間のすぐそばで、虫や草花や動物たちが織り成す、息をのむような不可思議な世界。風景が静かに決定的に姿を変える瞬間を克明に描き出す、15 の物語を収録する。

日本経済新聞 2018/03/31

2018:3./ 235p

978-4-10-333643-3

本体 ¥1,700+税



路上のX

桐野 夏生 著

朝日新聞出版

幸せな日常を絶ち切れ、親に棄てられた女子高生たち。ネグレクト、虐待、DV、レイプ、JK ビジネス…。3 人の少女は酷薄な大人たちの世界を、しなやかに踏み越えていく。『週刊朝日』連載を単行本化。

毎日新聞 2018/03/03

2018:2./ 462p

978-4-02-251530-8

本体 ¥1,700+税





岩波現代経済学事典

伊東 光晴 著

岩波書店

経済学の基本概念、最新理論を網羅し、経済用語、政策課題を厳選収録。会計学、経営学、金融工学などの関連分野項目も積極的に採用した経済学事典。混乱する現代の経済を読み解き、現実問題を考えるための、確かな知識の宝庫。

2004:9./ 904p

978-4-00-080210-9

本体 ¥6,000+税



毎日新聞 2018/03/04



コクと旨味の秘密(新潮新書)

伏木 亨 著

新潮社

「ネズミはビールにキレよりコクを求める」「赤ワイン+醤油=コク」「男性生殖器と口内の関連」など、科学者の目で探ることで見えてきた美味しさの秘密。「コク」とは一体何なのかを明らかにする。

2005:9./ 207p

978-4-10-610135-9

本体 ¥680+税



毎日新聞 2018/03/04



フレイム王国興亡記<1>(オーバーラップ文庫 そ-02-01)

疎陀 陽 著

オーバーラップ

通勤途中、異世界にトリップしてしまった、普通の銀行員・松代浩太。勇者として召喚されたはずが、そこはごくごく平和な国。しかしモンスターより恐ろしい魔の手、赤字国債が襲いかかり…。『小説家になろう』掲載を文庫化。

2014:4./ 351p

978-4-906866-76-2

本体 ¥660+税



毎日新聞 2018/03/04



モンスターのご主人様<1>(モンスター文庫 M ひ 01-01)

日暮 眠都 著

双葉社

とある高校の学生たちが異世界に転移。それによって学生たちはチートな能力を得た。モンスターを眷族にする能力を与えられた真島孝弘は、学校イチの美少女に擬態したスライムたちとともに、異世界を生き抜くことに…。

2014:9./ 349p

978-4-575-75003-4

本体 ¥648+税



毎日新聞 2018/03/04



ラーメン大好き!(このマンガがすごい!comics)

久住 昌之、水沢 悦子、うえやま とち、魚乃目 三太、土山 しげる、ボブ吉村、吉田 健二、イシヤマ アズサ、藤子 不二雄 A、松本 零士、柳沢 きみお、石ノ森 章太郎 著

宝島社

「このマンガがすごい!2012」第1位の「花のズボラ飯」などの読みきりを収録したラーメンマンガアンソロジーです。

2015:9./ 249p

978-4-8002-4555-7

本体 ¥590+税



毎日新聞 2018/03/04



フレイム王国興亡記<6>(オーバーラップ文庫 そ-02-06)

疎陀 陽 著

オーバーラップ

ホテル・ラルキアを訪れた浩太は、シオンの旧友たちからある相談を受ける。一方、浩太の過去を知る“ラルキアの聖女”がついに動き出す!『小説家になろう』発、異世界エコミックファンタジー第6幕。番外編も収録。

2017:1./ 413p

978-4-86554-193-9

本体 ¥780+税



毎日新聞 2018/03/04



誰が日本の労働力を支えるのか?

寺田 知太、上田 恵陶奈、岸 浩稔、森井 愛子 著

東洋経済新報社

700 万人超の働き手を失う 2030 年の日本が選ぶのは外国人か? 人工知能か? 英オックスフォード大学と野村総合研究所の共同研究による衝撃の近未来シミュレーション。職業別代替可能確率一覧も収録。

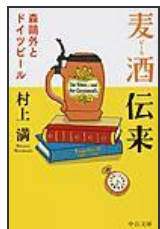
2017:4./ 209p,18p

978-4-492-76231-8

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/03/04



麦酒(ビール)伝来～森?外とドイツビール～(中公文庫 29-1)

村上 満 著

中央公論新社

日本人はどのようにビールを受け入れ、発展させてきたか。森?外「独逸日記」に見る当時のオクトーバーフェスト、乃木希典が一気飲みのルーツなどのエピソードを交え、ビール生産に専従してきた著者が日本ビールの歴史を語る。

2017:11./ 296p

978-4-12-206479-9

本体 ¥920+税



毎日新聞 2018/03/04



兼好法師～徒然草に記されなかった真実～(中公新書 2463)

小川 剛生 著

中央公論新社

現在広く知られる吉田兼好の出自や経歴は、没後に捏造されたものである。同時代史料をつぶさに調べて兼好の足跡を辿り、「徒然草」の再解釈を試みる。自らの才知で中世社会を渡り歩いた「都市の隠者」の正体を明らかにする。

2017:11./ 4p,244p

978-4-12-102463-3

本体 ¥820+税



毎日新聞 2018/03/04



ゲーム理論はアート～社会のしきみを思いつための繊細な哲学～

松島 斉 著

日本評論社

ゲーム理論家が示す、生きづらい社会で生きる人のための道標。複雑な社会や日常の暮らしがどのようなしくみで成り立っているのかを、ゲーム理論を使って解き明かす。ゲーム理論の面白さがわかる入門書。

2018:1./ 8p,280p,14p

978-4-535-55892-2

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/03/04



ラーメンを科学する～年間消費量 60 億食超!～

川口 友万 著

カンゼン

世界で 5 番目の新たな味覚「うま味」とはどんな味なのか? おいしい「だし」「?」はいかにして生まれるのか? ラーメンにまつわる様々な「なぜ?」を、科学の力で徹底解明する。

2017:12./ 295p

978-4-86255-442-0

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/03/04



保守の真髓～老酔狂で語る文明の素乱～(講談社現代新書 2455)

西部 邁 著

講談社

世界恐慌や戦争の危機が見込まれる現在、政治や文化に関する能力を国民は身につける必要がある。歴史と国家のコモンセンスが問われているいま、大思想家・ニシベが、保守の真実を語り尽くす。

2017:12./ 265p

978-4-06-288455-6

本体 ¥840+税



毎日新聞 2018/03/04



モノに心はあるのか～動物行動学から考える「世界の仕組み」～(新潮選書)

森山 徹 著
新潮社

石にも心はある! 「心」は、ヒト以外の生物はもちろん、無生物にさえもあると説くダンゴムシ研究者が、私たちが「何かをしたいと思う気持ち」にも、話す言葉にも「隠れた存在」はあるのだという新たな世界の見方を提示する。

2017:12./ 217p
978-4-10-603821-1
本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/03/04



モンスターのご主人様<11>(モンスター文庫 M ひ 01-11)

日暮 眠都 著
双葉社

孝弘たちはシランの故郷を守り切るが、それは聖堂騎士団本隊を敵に回しかねない行為だった。事態を收拾するため孝弘は…。『小説家になろう』発、異世界サバイバルファンタジー第 11 弾。書き下ろし番外編も収録。

2018:1./ 342p
978-4-575-75186-4
本体 ¥639+税



毎日新聞 2018/03/04



草莽論～その精神史的自己検証～(ちくま学芸文庫 ム 9-1)

村上 一郎 著
筑摩書房

天下危急の時、大義のために立ち上がる壮士、「草莽」は、明治維新を語るうえで外せない。蒲生君平、高山彦九郎といった「草莽の処士」のさがけから、文化・文政の文人、水戸学、吉田松陰までを系譜的に論じる。

2018:2./ 322p
978-4-480-09846-7
本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/03/04



母の家がごみ屋敷～高齢者セルフネグレクト問題～

工藤 哲 著
毎日新聞出版

離れて住む父や母の住まいが、なぜ「ごみ屋敷」になってしまうのか。その背景を探り、高齢者のセルフネグレクト(自己放任)の現状や行政の取り組み、課題を紹介する。『毎日新聞』掲載に追加取材を加え書籍化。

2018:2./ 206p
978-4-620-32467-8
本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/03/04



官僚たちのアベノミクス～異形の経済政策はいかに作られたか～(岩波新書 新赤版 1703)

軽部 謙介 著
岩波書店

アベノミクスは、いつ、どこで、誰によって形成されていったのか。圧倒的な取材力を誇る著者が、延べ約 120 人へのインタビュー、公文書、議事録など様々なソースによって、異例の政策の生成過程をつぶさに再現する。

2018:2./ 10p,252p,5p
978-4-00-431703-6
本体 ¥860+税



毎日新聞 2018/03/04



保守の遺言～JAP.COM 衰滅の状況～(平凡社新書 872)

西部 邁 著
平凡社

自裁に込められた真意とは。今此処における我が国の素乱状況、瀕死の世相における人間群像、社会を衰滅に向かわせるマスの妄動、抜け道のない近代の危機…。稀代の思想家、絶筆の書。

2018:2./ 301p
978-4-582-85872-3
本体 ¥880+税



毎日新聞 2018/03/04



ラーメン超進化論〜「ミシュラン一つ星」への道〜(光文社新書 920)

田中 一明 著

光文社

近年、ラーメン店主たちの調理技術は飛躍的に向上し、ついにミシュランの星を獲得する店も誕生した。1 杯 1000 円に満たない値段で体験できるその奥深き世界を、「ラーメン官僚」がレポートする。

2017:12./ 203p

978-4-334-04326-1

本体 ¥780+税



毎日新聞 2018/03/04、産経新聞 2018/03/25



定点観測・釜ヶ崎 増補版

中島 敏 編

東方出版

労働者のまち釜ヶ崎の変貌と今を伝えるモノクロ写真集。61 の同一ポイントで、3 つの時代に撮影した 3 枚の写真を並べ解説する。資料と年表も掲載。著者の約 50 年におよぶ釜ヶ崎における写真活動の集大成。

2018:2./ 286p

978-4-86249-298-2

本体 ¥7,000+税



毎日新聞 2018/03/04、朝日新聞 2018/03/18



津島佑子 光と水は地を覆えり

川村 湊 著

インスクリプト

津島佑子の作品には、初期から後期に至るまで、一貫して光輝く華やかさと明るさがあった。作家・津島佑子を最もよく知る著者による読書案内。1997 年に行われた対談も収録。『群像』等掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2018:1./ 261p

978-4-900997-70-7

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2018/03/04、読売新聞 2018/03/11



大いなる西部劇

逢坂 剛、川本 三郎 著

新書館

西部劇を愛する 2 人が、名作から B 級作品の細部までたっぷり語り合う。貴重図版多数、データも充実。戦後日本で公開された西部劇映画の作品リスト・作品名索引付き。

2001:5./ 285p

978-4-403-21075-4

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2018/03/11



アメリカは歌う。〜歌に秘められた、アメリカの謎〜

東 理夫 著

作品社

アメリカ人は、なぜかくも多くの殺人をテーマとする歌を生み出したのか? 黒人霊歌には、なぜ同じような歌詞が繰り返されているのか? 歌詞に秘められた謎を読み解き、知られざるアメリカをあぶり出す。

2010:2./ 291p

978-4-86182-275-9

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/03/11



小田実全集<評論第1巻> 何でも見てやろう

小田 実 著

講談社

小田実の全小説 32 作品と、評論・エッセイ選 32 作品を集成。原則として初刊年順に配列し、特に短い作品は刊行年の近いものに併載。評論第 1 巻は、1961 年刊「何でも見てやろう」を収録。

2010:6./ 457p

978-4-8354-4452-9

本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2018/03/11



屋根の上のバイオリン弾き(ハヤカワ文庫)

シャロム・アレイヘム 著
早川書房
0

1986:2./ 257p
978-4-15-040044-6
本体 ¥560+税

* 9 7 8 4 1 5 0 4 0 0 4 4 6 *

毎日新聞 2018/03/11



捜索者～西部劇の金字塔とアメリカ神話の創生～

グレン・フランクル、高見 浩 著
新潮社

19 世紀に起きたインディアンによる白人少女の拉致事件。西部開拓史における「神話悲劇」として語り継がれる事件の真相を追い、名匠ジョン・フォード監督がこの物語を西部劇屈指の作品へと昇華するまでを克明に描く。

2015:8./ 525p
978-4-10-506931-5
本体 ¥3,400+税

* 9 7 8 4 1 0 5 0 6 9 3 1 5 *

毎日新聞 2018/03/11



「招待所」という名の収容所～北朝鮮による拉致の真実～

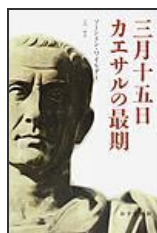
ロバート・S.ポイントン、山岡 由美 著
柏書房

最初の拉致から 40 年、被害者 5 人の返還から 15 年…。そこには、鉄条網と監視員に囲まれた「招待所」と呼ばれる地区があった！北朝鮮による日本人拉致事件の全貌を伝えるノンフィクション。

2017:9./ 274p
978-4-7601-4886-8
本体 ¥2,700+税

* 9 7 8 4 7 6 0 1 4 8 8 6 8 *

毎日新聞 2018/03/11



三月十五日カエサルの最期

ソーントン・ワイルダー、志内 一興 著
みすず書房

男と女、友情と嫉妬、そして孤独。世界の頂上に立ったカエサルの暗殺までの 8 ヶ月を手紙のやりとりで描き出した、米文学の巨星ソーントン・ワイルダーの渾身作を邦訳。

2018:1./ 410p
978-4-622-08612-3
本体 ¥3,700+税

* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 6 1 2 3 *

毎日新聞 2018/03/11



世界の暦文化事典

中牧 弘允 編
丸善出版

世界のさまざまな暦法やカレンダーを国別に取り上げ、国家や民族の祝祭日や行事・儀礼が人々の生活文化とどう関係しているかをわかりやすく解説する。アート・カレンダーの魅力やカレンダー業界の動向がわかるコラムも掲載。

2017:11./ 10p,437p
978-4-621-30192-0
本体 ¥12,000+税

* 9 7 8 4 6 2 1 3 0 1 9 2 0 *

毎日新聞 2018/03/11



隠れナチを探し出せ～忘却に抗ったナチ・ハンターたちの戦い～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 3-2)

アンドリュー・ナゴルスキ、島村 浩子 著
亜紀書房

記憶の風化にあらがうため、戦争犯罪を犯した者たちを捕らえ、裁判を受けさせようとするナチ・ハンターたち。世界を股にかけた追跡は困難を極め、ハンター同士の思惑もぶつかりあう…。今なお続けられる追跡劇の詳細を描く。

2017:12./ 480p
978-4-7505-1526-7
本体 ¥3,200+税

* 9 7 8 4 7 5 0 5 1 5 2 6 7 *

毎日新聞 2018/03/11



いぬパリ〜Bonne Promenade!〜(madame FIGARO BOOKS)

吉田 パンダ 著

CCCメディアハウス

ラブラドル・レトリバーのネオくん、ジャックラッセルテリアのドリーちゃん…。パリ在住 17 年の写真家が自由に自然体な犬たちを写した、思わず笑顔になるフォトエッセイ。『madame FIGARO.jp』連載を再編集。

2017:12./ 104p

978-4-484-17221-7

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2018/03/11



この世佳し〜桂信子の百句〜

宇多 喜代子 著

ふらんす堂

少女期に大正モダニズムの波を受けて成人し、自らの俳句をつくり続けて、生きにくい時代を真っ直ぐに生きた桂信子。残されたおびただしい数の句の中から、90 年の生涯を語るにふさわしい句を選び、事跡を付してまとめる。

2017:12./ 101p

978-4-7814-1009-8

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/03/11



世界イディッシュ短篇選(岩波文庫 37-771-1)

西 成彦 著

岩波書店

東欧系ユダヤ人の日常言語「イディッシュ」を創作言語として選び取った作家たちが、生まれ故郷を離れて世界各地で書き残した作品を集成。「みつつの贈物」「兄と弟」など、全 13 編の短篇を収録する。

2018:1./ 345p

978-4-00-377004-7

本体 ¥920+税



毎日新聞 2018/03/11



奇岩の世界

山田 英春 編

創元社

水と風と熱と大地の運動が作り上げた自然の造形作品、危ういバランスでとどまっている岩、大きな岩が住居に、要塞に、墓に加工された不思議な風景…。北極圏から南極の島まで、全 88 箇所の驚きに満ちた奇岩の世界を紹介する。

2018:2./ 124p

978-4-422-44013-2

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/03/11



阿弗利加から旅して来た日本の楽器たち〜音の図書館をめざして〜

及川 尊雄 著

アルテスパブリッシング

日本の楽器の遠い祖先は、アフリカと関係があると考えている著者が、和楽器を中心に 48 年間かけて蒐集した楽器を「管楽器」「弦楽器」「打楽器」「明治から昭和(戦前)までの和楽器の世界」に分類し、カラー写真で紹介する。

2018:1./ 239p

978-4-86559-178-1

本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2018/03/11



高機能アルコール依存症を理解する〜お酒で人生を棒に振る有能な人たち〜

セイラ・アレン・ベントン、水澤 都加佐、伊藤 真理、会津 亘、水澤 寧子 著

星和書店

女性アルコール依存症者だった著者が、自分の回復のプロセスや、専門家・当事者・回復者へのインタビューとともに、高機能アルコール依存症の特徴と対応について述べた書。治療の選択肢や、依存症者が直面する障害もわかる。

2018:1./ 13p,301p

978-4-7911-0972-2

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/03/11



記者襲撃～赤報隊事件 30 年目の真実～

樋田 毅 著

岩波書店

1987 年 5 月 3 日に朝日新聞記者 2 人が何者かに散弾銃で殺傷された阪神支局襲撃事件。この事件を含めた「赤報隊」による襲撃・脅迫事件を追い続けてきた著者が、30 年にわたる取材経過を辿り、事件の意味を改めて問い直す。

2018:2./ 12p,226p

978-4-00-061248-7

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/03/11



自分を傷つけてしまう人のためのレスキューガイド～自傷行為、摂食障害、物質乱用・依存に悩む人の回復と支援のために～

松本 俊彦 著

法研

リストカットのように自分のからだを自分で傷つけるような自傷行為、また摂食障害、物質乱用・依存に悩む人と、その家族、支援者に向けて、知識と回復のための考え方をわかりやすく解説。

2018:2./ 175p

978-4-86513-437-7

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/03/11



俳句歳時記<春> 第5版(角川ソフィア文庫 D109-6)

角川書店 編

KADOKAWA

和歌以来の伝統の季語から近年の新しい季語まで、1965 語を収録。上級者でも間違いやすい作句のポイントを追加し、例句を大幅に見直し、新しく 600 余句を収録した第5版。実作に役立つ付録付き。

2018:2./ 269p

978-4-04-400271-8

本体 ¥560+税



毎日新聞 2018/03/12



イニシエーション・ラブ(文春文庫)

乾 くるみ 著

文芸春秋

0

2007:4./ 271p

978-4-16-773201-1

本体 ¥630+税



毎日新聞 2018/03/18



メーテルランクとドビュッシー～『ペレアスとメリザンド』テキスト分析から見たメリザンドの多義性～

村山 則子 著

作品社

メーテルランクの戯曲の考察から見えてくる新しい視点に立つてドビュッシーのオペラを再検討し、メーテルランクとドビュッシーの、それぞれの作品における作劇概念とテキスト分析の両面から、互いの共通点や相違点を論考する。

2011:3./ 258p

978-4-86182-321-3

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/03/18



フランスの詩と歌の愉しみ～近代詩と音楽～

大森 晋輔 著

東京藝術大学出版会

19 世紀前半から 20 世紀半ばにかけて作られたフランス語の詩を、付属 CD に収録された朗読と歌曲を通じて楽しむための入門書。詩の味わい方を丁寧に解説し、「詩の音楽性」がどの辺りにあるのかを探る。歌曲の対訳も付す。

2012:9./ 91p

978-4-904049-33-4

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2018/03/18



ロック豪快伝説(立東舎文庫 お 2-1)

大森 庸雄 著

リットーミュージック

フレディ・マーキュリーのど派手な女装パーティ、ジミヘンの“ペニスの石膏”、全身の血液を入れ替えたキース・リチャーズ…。誰もが知る世界のミュージシャンたちの“豪快すぎる”エピソードを収録。

2017:1./ 361p

978-4-8456-2983-1

本体 ¥800+税



毎日新聞 2018/03/18



演技する道化サダキチ・ハートマン伝～東と西の精神誌～(人と文化の探究 14)

田野 勲 著

ミネルヴァ書房

幕末出島で生まれたサダキチ・ハートマン。14歳でアメリカに移住後、渡欧を繰り返し、芸術家と交流。その後ニューヨークを拠点として日本文化を紹介する。20世紀初頭「ボヘミアンの王」として名を馳せた人物の生涯を追う。

2018:1./ 11p,387p,10p

978-4-623-08105-9

本体 ¥7,000+税



毎日新聞 2018/03/18



狸の匣

マーサ・ナカムラ 著

思潮社

私の手で包めるほどの大きさの箱の中には、小さな青い海が波打っている。海底にへばりついていて白い海獣は、僧侶がのぞきこんで陰ができると泣きながらその場を移動してしまった。(「石橋」より) 詩集。

2017:11./ 102p

978-4-7837-3595-3

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/03/18



ビザンツ帝国生存戦略の一千年

ジョナサン・ハリス、井上 浩一 著

白水社

なぜビザンツ帝国は、さまざまな変動や侵入に脅かされつつも、あれほど長く存続したのか。なぜ最後にはみごとに跡形もなく消えてしまったのか。おもな皇帝と印象的なエピソードを軸に、対外関係からビザンツ史を語る。

2018:1./ 355p,22p 図

版 16p

978-4-560-09590-4

本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2018/03/18



西郷隆盛はなぜ犬を連れているのか～西郷どん愛犬史～

仁科 邦男 著

草思社

日本史上最大の愛犬家、西郷隆盛。幕末京都では芸者には目もくれず、犬と鰻飯。維新後は政局から離れ、犬を引き連れて狩り、温泉ざんまい。そして、西南戦争には犬連れ出陣…。謎多き男の胸の内を、犬関連史料から探る。

2017:12./ 287p

978-4-7942-2312-8

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/03/18



宇宙に命はあるのか～人類が旅した一千億分の八～(SB 新書 426)

小野 雅裕 著

SBクリエイティブ

「悪魔」に魂を売った天才技術者。太陽系探査の驚くべき発見。永遠の問い「我々はどこからきたのか」の答え-。NASA 日本人技術者が、宇宙の謎と人類の起源に挑む。宇宙探査の最前線がわかる一冊。web 連載を基に書籍化。

2018:2./ 267p

978-4-7973-8850-3

本体 ¥800+税



毎日新聞 2018/03/18



1ミリの後悔もない、はずがない

一木 けい 著

新潮社

ひりひりと肌を刺す恋の記憶。出口の見えない家族関係。抑えきれない欲望と想いを描く究極の恋愛小説。「西国疾走少女」「潮時」など全 5 編を収録する。『yomyom』『小説新潮』掲載に書き下ろしを追加。

毎日新聞 2018/03/18

2018:1./ 222p

978-4-10-351441-1

本体 ¥1,400+税



銀座カフェー興亡史

野口 孝一 著

平凡社

銀座史研究の第一人者が、銀座のカフェー(喫茶店)に焦点をあて、太平洋戦争終結までの歓楽街の歴史をたどる。さらに、その時代を共にした多彩な文化人たちの臨場感溢れるエピソードの数々を紹介する。

毎日新聞 2018/03/18

2018:2./ 279p

978-4-582-54461-9

本体 ¥2,400+税



不確かな医学(TED ブックス)

シッダールタ・ムカジー、野中 大輔 著

朝日出版社

いかに「不確かなもの」を確かにコントロールしつつ判断するか。がん研究の歴史を描いてピュリツァー賞を受賞した医師が、具体的症例をもとに、「医学の法則」を語る。どんな学問にも必要な情報との向き合い方がわかる一冊。

毎日新聞 2018/03/18

2018:1./ 133p

978-4-255-01036-6

本体 ¥1,350+税



学年誌が伝えた子ども文化史<昭和 40?49 年編>(ワンダーライフスペシャル)

小学館

昭和のニュースと流行と人物を、学年誌とともに振り返る。昭和 40?49 年編では、日本万国博覧会、アポロ 11 号の月面着陸、三億円事件、怪獣ブーム、長嶋茂雄引退等を取り上げる。組立てふろく「万国博大パノラマ」付き。

毎日新聞 2018/03/18

2018:2./ 95p

978-4-09-106610-7

本体 ¥1,200+税



真実

梶 芽衣子 著

文藝春秋

厳しい世界だからこそ「やってやろう」「やらなきゃ女じゃない」と思った-。時代を超えて愛される女優、梶芽衣子が半生を振り返る。深作欣二、勝新太郎らとの撮影秘話やプライベートも公開。『オール讀物』掲載を書籍化。

毎日新聞 2018/03/18

2018:3./ 190p

978-4-16-390809-0

本体 ¥1,350+税



金正恩〜狂気と孤独の独裁者のすべて〜

五味 洋治 著

文藝春秋

大阪生まれの母、スイス留学時代の素顔から年 3 億ドルをつぎ込む核開発まで。20 年以上の朝鮮半島取材から、独裁者・金正恩の素顔と、世界をかき回す“巧みな交渉術”のルーツを解き明かす。

毎日新聞 2018/03/18

2018:3./ 245p

978-4-16-390815-1

本体 ¥1,500+税





名画のなかの猫

アンガス・ハイランド、キャロライン・ロバーツ、喜多 直子 著

エクスナレッジ

アンディ・ウォーホル、フランシスコ・デ・ゴヤ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、歌川国芳...。誇り高く、自由に生きる猫の姿は、古今東西のアーティストたちを魅了してきた。名画に描かれた猫を、オールカラーで紹介する。

2018:3./ 159p

978-4-7678-2447-5

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/03/18



遠野物語 新版(角川ソフィア文庫)

柳田 国男 著

角川書店

雪女・天狗・河童の話、正月行事や狼たちの生態。遠野郷(岩手県)には、怪異や伝説、古くからの習俗が、なぜかたくさん眠っていた。日本の原風景を描く日本民俗学の金字塔。年譜・索引・地図付き。

2004:5./ 268p

978-4-04-308320-6

本体 ¥520+税



毎日新聞 2018/03/25



裸の大將一代記～山下清の見た夢～(ちくま文庫)

小沢 信男 著

筑摩書房

0

2008:4./ 435p

978-4-480-42434-1

本体 ¥820+税



毎日新聞 2018/03/25



こころ/坊ちゃん(文春文庫)

夏目漱石 著

文藝春秋

0

1996:3./ 478p

978-4-16-715802-6

本体 ¥580+税



毎日新聞 2018/03/25



風のうまれるところ

すずかけ作業所のアーティストたち、はた よしこ 著

小学館

知的障害者の授産施設、西宮市のすずかけ作業所の絵画クラブから、つぎつぎと強烈なアートが生み出されている。私たちに理解し難い不思議の国のアーティストたちの作品が、私たちの心を捉えて離さない。

1998:6./ 1冊

978-4-09-681091-0

本体 ¥2,190+税



毎日新聞 2018/03/25



アグルーカの行方～129 人全員死亡、フランクリン隊が見た北極～

角幡 唯介 著

集英社

19 世紀の極地探検史上最大の謎、129 人全員が行方を絶ったフランクリン探検隊。彼らにはアグルーカと呼ばれる生き残りがいた!?伝説を追う、生と死の力強い物語。『すばる』連載に加筆し単行本化。

2012:9./ 401p

978-4-08-781506-1

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/03/25



空白の五マイル～チベット、世界最大のツアンポー峡谷に挑む～(集英社文庫 か 60-1)

角幡 唯介 著

集英社

世界最大の規模を誇るチベットのツアンポー峡谷。その空白地帯に挑んだ探険家たちの旅を追い、著者も谷を踏破。7 年後、再び挑むが、想定外の出来事の連続で旅は脱出行と化し…。命をかけた単独行の記録。

2012:9./ 318p

978-4-08-746882-3

本体 ¥600+税



毎日新聞 2018/03/25



山の人生(角川ソフィア文庫 SP J-102-5)

柳田 国男 著

角川学芸出版

山で暮らす人々に起こった悲劇や不条理、山の神の嫁入りや神隠しなどの怪奇談、天狗や山男にまつわる人々の宗教生活…。山間に埋もれた人生の記録や伝承の起源などを、実地を持って精細に例証し、透徹した視点でつづる。

2013:1./ 217p

978-4-04-408310-6

本体 ¥560+税



毎日新聞 2018/03/25



海上の道(角川ソフィア文庫 SP J-102-6)

柳田 国男 著

角川学芸出版

日本民族の祖先たちは、どのような経路をたどってこの列島に移り住み、いかなる技術・宗教・習俗を運んできたのか。表題作を含め、海や琉球にまつわる柳田国男の論考全 9 篇を収載。

2013:1./ 345p

978-4-04-408311-3

本体 ¥743+税



毎日新聞 2018/03/25



雪男は向こうからやって来た(集英社文庫 か 60-2)

角幡 唯介 著

集英社

2008 年 10 月の新聞に掲載された、雪男のものとされる足跡の写真。雪男を目撃したという人々取材した著者が、現場でえぐり取った雪男探しをめぐる一点の鋭い真実とは? 謎の生き物とそれを追う人間たちのドキュメント。

2013:11./ 358p

978-4-08-745140-5

本体 ¥620+税



毎日新聞 2018/03/25



アール・ブリュット～野生芸術の真髄～

ミシェル・デヴォー、杉村 昌昭 著

人文書院

マージナルな人々が自然発生的かつ個人的発明から生み出した<生の芸術>アール・ブリュット。作家たちの溢れる創造力の秘密を解き明かし、芸術界のみならず思想界にも影響を与えたアール・ブリュット論の古典的名著。

2017:5./ 243p 図版 16p

978-4-409-10038-7

本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2018/03/25



本棚の歴史

ヘンリー・ペトロスキー、池田 栄一 著

白水社

かつて本は鎖で本棚につながれていた! 巻物、写本、印刷術の発明…。古代ギリシアから現代まで、本の進化と肩を並べて発展してきた本棚という道具と収納法の知られざる歴史をたどる。

2017:5./ 287p,11p

978-4-560-09549-2

本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2018/03/25



三木武夫秘書回顧録～三角大福中時代を語る～

岩野 美代治、竹内 桂 編

岩野 美代治 著

吉田書店

政治家・三木武夫を秘書として支えた岩野美代治のインタビュー記録を再編集した回顧録。時々の政局に三木武夫はいかなる意図でどのように対応したのか。保守合同前から50年以上にわたる政治家の裏方としての見聞をまとめる。

2017:11./ 8p,501p

978-4-905497-56-1

本体 ¥4,000+税



* 9 7 8 4 9 0 5 4 9 7 5 6 1 *

毎日新聞 2018/03/25



テツ語辞典～鉄道にまつわる言葉をイラストと豆知識でファン!と読み解く～

栗原 景、池田 邦彦 著

誠文堂新光社

鉄道趣味と鉄道業界の用語から約900語を厳選し、イラストや豆知識と共に解説。初心者から自称マニアまで、多くのファンが楽しめる情報満載の一冊。右ページ端にパラパラ漫画あり。綴じ込みの「JR 乗りつぶし記録帳」付き。

2018:2./ 199p

978-4-416-51813-7

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 4 1 6 5 1 8 1 3 7 *

毎日新聞 2018/03/25



紀貫之(ちくま学芸文庫 オ 5-2)

大岡 信 著

筑摩書房

正岡子規によって痛罵されて以来、正当な評価が妨げられてきた紀貫之。詩人である著者が繊細な鑑賞によって「子規以来」のイメージを覆し、貫之が「フィクション」として豊かな才能に恵まれていたことなどを論証する。

2018:2./ 275p

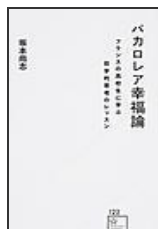
978-4-480-09845-0

本体 ¥1,100+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 9 8 4 5 0 *

毎日新聞 2018/03/25



バカロレア幸福論～フランスの高校生に学ぶ哲学的思考のレッスン～(星海社新書 122)

坂本 尚志 著

星海社

日本人が不幸なのは、哲学をやっていないから。日本より幸福度が高いフランスの高校生は偉大な哲学者から学び、自分で考え、答えを出している。バカロレア(フランスの大学入試問題)をもとに、幸せについて考える方法を学ぶ。

2018:2./ 190p

978-4-06-511232-8

本体 ¥920+税



* 9 7 8 4 0 6 5 1 1 2 3 2 8 *

毎日新聞 2018/03/25



絶景本棚

本の雑誌編集部 編

本の雑誌社

スタイリッシュ、すっきり整然、床積み、魔窟に野放し系…。趣味も専門もバラバラな34人の本棚模様を、オールカラーの写真で紹介し、『本の雑誌』連載を再構成し、書き下ろしを加えて単行本化。

2018:2./ 221p

978-4-86011-411-4

本体 ¥2,300+税



* 9 7 8 4 8 6 0 1 1 4 1 1 4 *

毎日新聞 2018/03/25



トコヤ・ロード

林 朋彦 著

風人社

ちょっと中山道を歩いてみたり、以前旅先で見つけた床屋さんを再訪してみたり。
気分次第でマイ「トコヤ・ロード」を旅して撮った、昔懐かしい床屋さん、94 枚。「東
海道中床屋ぞめき」に続く床屋写真集、第2弾。

2018:3./ 92p

978-4-938643-78-2

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 9 3 8 6 4 3 7 8 2 *

毎日新聞 2018/03/25